

まちづくりのDXの推進に向けたユースケース開発実証事業

都市構造評価ツールを用いた 立地適正化計画策定支援

【都市構造評価ツール 操作マニュアル】

2026年5月27日更新

一般財団法人計量計画研究所／株式会社福山コンサルタント／エアロトヨタ株式会社

1. 本ツールの概要	3	5. 本ツールの応用操作手順	56
(1) 本ツールの機能と効果	4	(1) スタイル変更保持機能	58
(2) UI (画面仕様)	5	(2) 隣接自治体データ表示機能	61
(3) 本ツールの特徴	6	(3) 独自都市機能誘導施設 の可視化機能	62
(4) 操作フロー	11	(4) 居住誘導区域見直し後 の指標化機能	63
2. 事前準備	12	(5) 都市計画基礎調査 に基づく指標化機能	64
(1) QGISのインストール	13	6. 本ツールの業務への活用	66
(2) 3D都市モデルのデータ形式変換	22	(0) まちづくりの健康診断と本ツールの活用	67
3. 本ツールの基本操作手順	27	(1) 居住誘導区域関連	69
(1) 評価指標算出プラグインのインストール	28	(2) 都市機能誘導区域関連	72
(2) 評価指標算出プラグインの起動	32	(3) 公共交通関連	76
(3) フォルダ生成とデータ格納	34	(4) 防災関連	78
(4) 評価指標算出機能の実行	39	(5) 土地利用関連	80
(5) 可視化機能の実行	42	(6) 財政関連	82
(6) データ出力機能の実行	48	参考. インputデータの収集・格納方法	84
4. 本ツールの表示イメージ	50		

1. 本ツールの概要

【利用環境】

- 3D都市モデルをはじめとする**オープンデータのみ**を使用した分析アルゴリズム開発
- 可視化ツールとして、**オープンソース**であるGISソフト「**QGIS**」を活用
 - >>> **誰でも無償での利用が可能**

【インプットデータの収集・整理】

- 都市構造の分析・評価のために必要となる**各種データを格納するフォルダを自動生成**
 - >>> **データ取り込みのための整理作業が不要で効率的なデータ収集が可能**

【インプットデータの取り込み・加工】

- 収集データを**QGISで読み込み可能なデータ形式「Geopackage」に自動変換して取り込み**
- 取り込んだデータからその後の**集計・可視化に必要なデータ（圏域データ等）を新たに自動生成**
 - >>> **可視化に必要なデータを外部発注せずとも作成可能**

【評価指標の算出】

- 「まちづくりの健康診断」で示される**各種評価指標を自動算出**
- 算出根拠も含めて**二次利用しやすいcsv形式で出力**
 - >>> **評価指標や根拠を外部発注せずとも算出・整理可能**

【可視化】

- インプットデータや評価指標を、**マップやグラフを用いて、各評価指標毎に可視化**
- 選択した評価指標に**関連性の高いデータのみを表示**
 - >>> **効率的な分析作業を支援**

① 本開発プラグインアイコン
押下すると本開発プラグインが起動し、機能実行ボタンが表示されます。

② 機能実行パネル
ボタン押下で各機能が実行されます。

③ レイヤパネル
QGISに取り込まれたデータと凡例が表示されます。

④ データ選択パネル
グラフやマップ表示したい指標種別や年次を選択します。

⑤ グラフ表示パネル
④で選択した指標種別に関連するグラフ（評価指標）が表示されます。

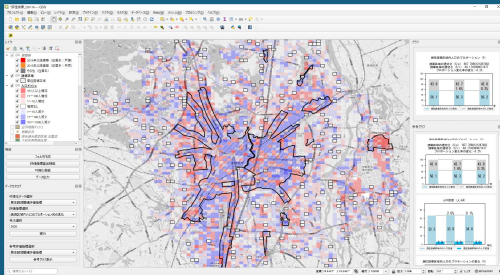
⑥ 主題マップ
④で選択した指標種別に対応したレイヤがマップ表示されます。

年	割合 [%]
2010	56.1%
2015	56.3%
2020	56.2%

年	密度 [人/ha]
2010	33.3
2015	33.9
2020	34.0

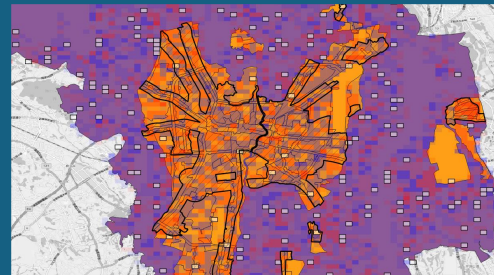
■3D都市モデルを活用した都市構造評価ツールの開発

①立地適正化計画の策定・見直しを支援



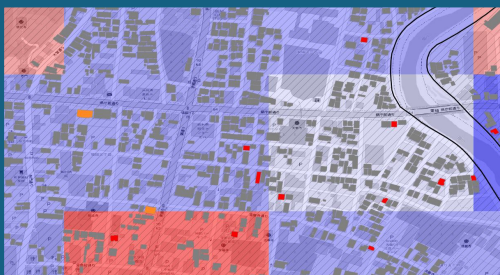
- ✓ 都市構造評価プロセスの効率化と、分析・評価・計画の精度向上を実現。
- ✓ 「まちづくりの健康診断」指標の算出・可視化を自動化。

②情報を重ねて多様な視点での分析が可能



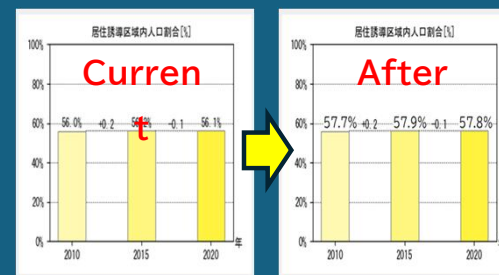
- ✓ 多様な観点での課題抽出により、理解の深化と議論の活性化を実現。
- ✓ 関連データをマップ上に重畳表示。地方公共団体保有データにも柔軟に対応。

③築年数表示により分析の深掘りが可能



- ✓ 評価指標と新築動向の関連分析により、説明性の高い評価を実現。
- ✓ マップを拡大することで築年数で区分された建築物を表示。

④居住誘導区域の変更シミュレーションが可能



- ✓ 妥当性・説明性のある居住誘導区域の見直しを実現。
- ✓ 区域変更後の評価指標を算出。定量的な比較検証が可能。

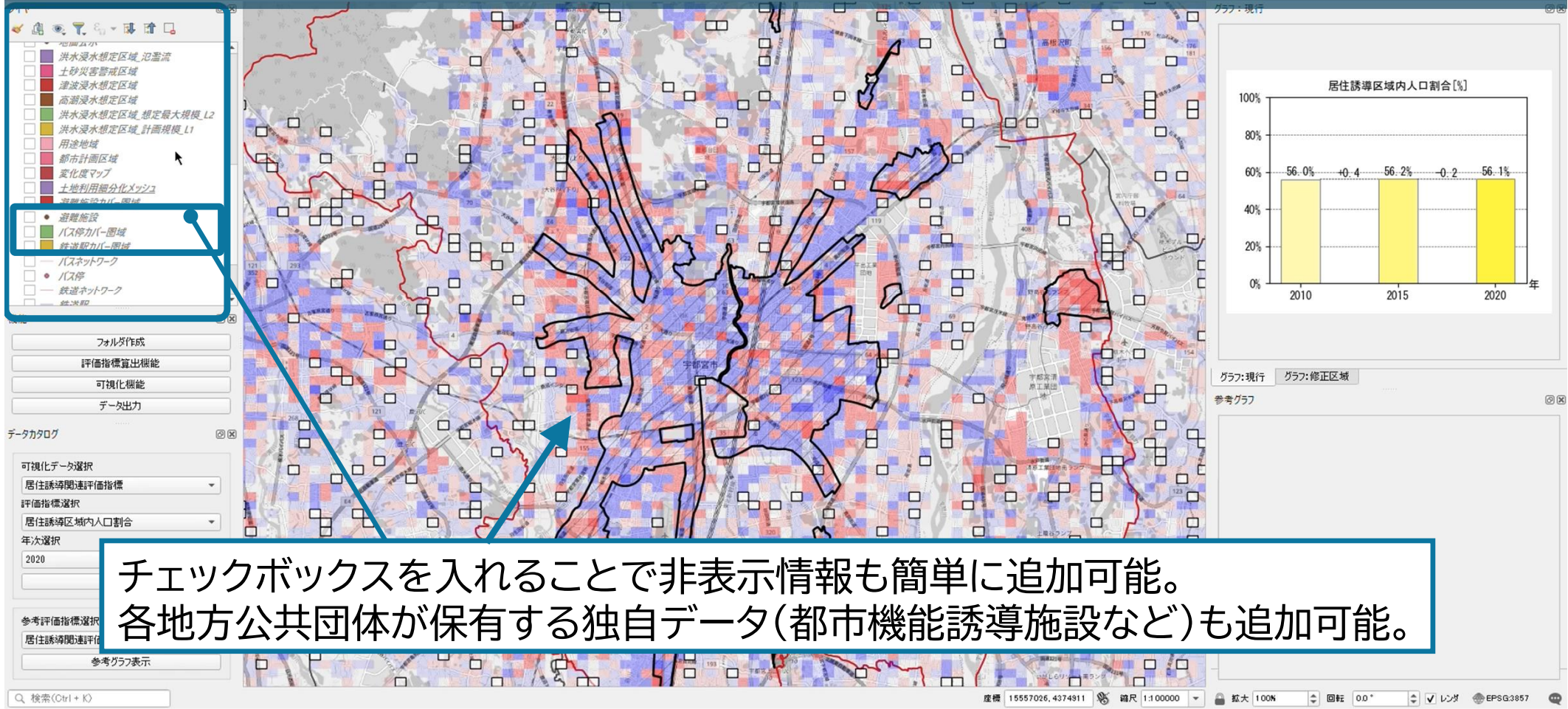
①立地適正化計画の策定・見直しを支援

高度な知識・技能が無くても、立地適正化計画の適切な見直しに関する分析が可能。
国が推進する「まちづくりの健康診断」と連動した評価指標も算出。

「まちづくりの健康診断」の評価指標を「データカタログ」で選択可能。
選択した評価指標と関連情報が、それぞれグラフとマップ上に可視化。

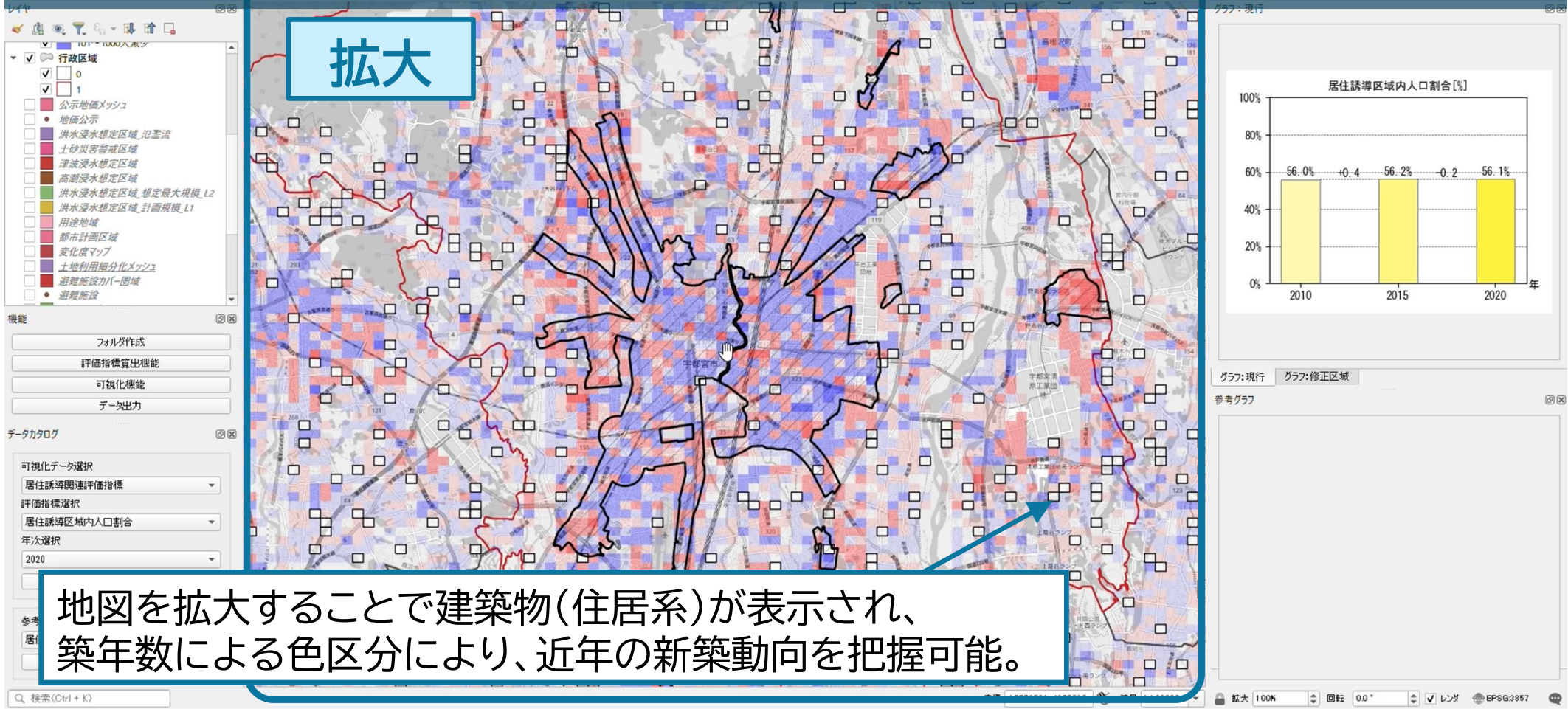
②情報を重ねて多様な視点での分析が可能

地図上にデータを重畳表示することで、都市の現状や課題を直感的に把握可能。
 独自データを含む多様なデータを一元管理でき、様々な観点から可視化・分析を実現。



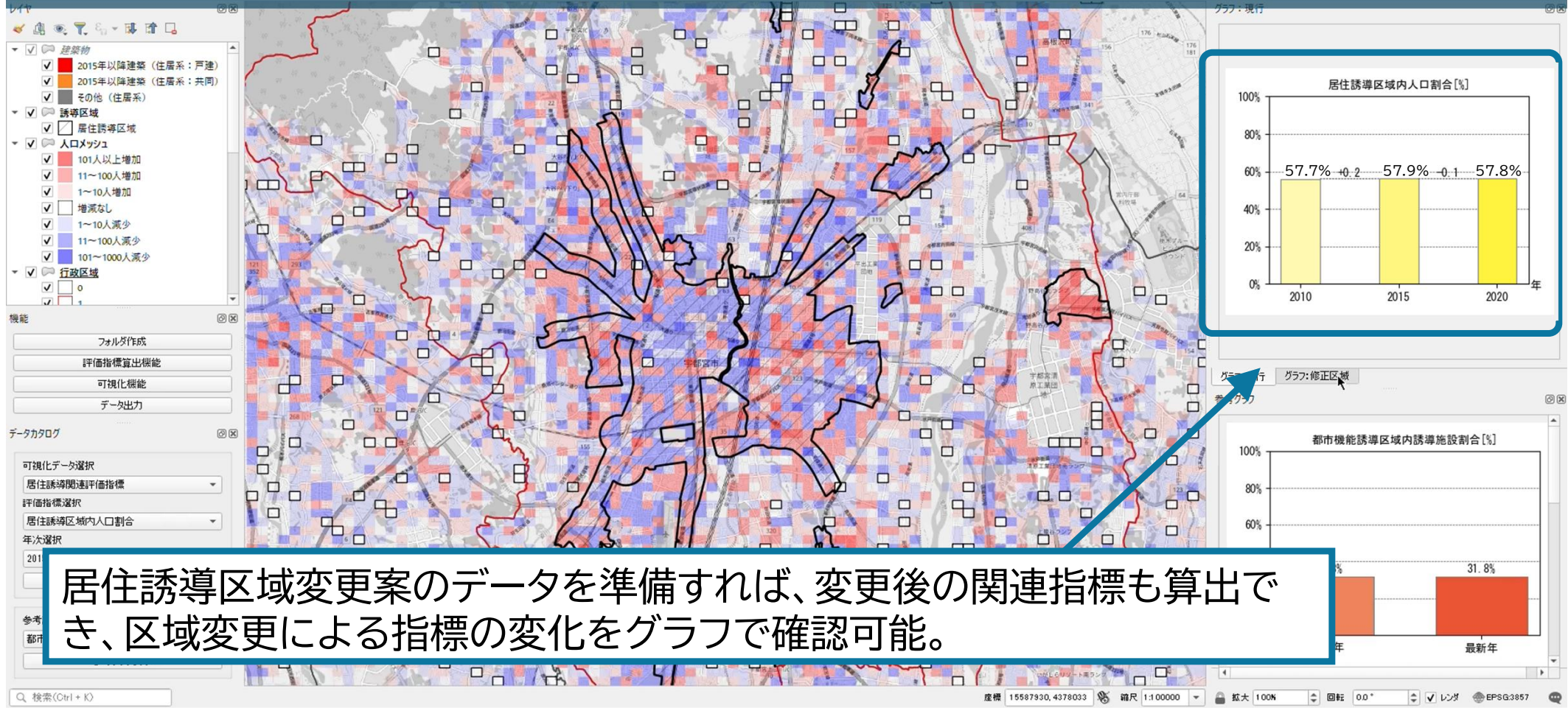
③ 築年数表示により分析の深掘りが可能

地図を拡大することで、3D都市モデルから取得した建築物の属性情報(築年数)も表示。各評価指標と新築動向の関連性評価を通じて、計画見直しに向けた示唆出しが可能。



④ 居住誘導区域の変更シミュレーションが可能

居住誘導区域を変更した場合の関連評価指標も算出することができ、区域変更による効果や妥当性の検証が可能。



居住誘導区域変更案のデータを準備すれば、変更後の関連指標も算出でき、区域変更による指標の変化をグラフで確認可能。

事前準備

(1) QGISのインストール

(2) 3D都市モデルのデータ形式変換

PLATEAU GIS Converter
(別途フリーソフト)

本ツールの の操作

(1) 評価指標算出プラグインのインストール

(2) 評価指標算出プラグインの起動

(3) フォルダ生成とデータ格納

(4) 評価指標算出機能の実行

(5) 可視化機能の実行

(6) データ出力機能の実行

Plateau Statics
Visualization Plugin
(本ツール)

2. 事前準備

QGISダウンロード (1)

Google Chromeから「QGIS Downloads」を検索
※末尾に「s」がついているページをクリック！
※Microsoft Edgeからの検索が難しいため、Chromeを推奨



今回使用しないVerのダウンロードページ

Chromeの場合、ここをクリック！

※都市構造評価ツールは動作確認済みのVerを使用するため、本手順は過去Verをダウンロードする手順となります。
もし「3.40.11」と異なるVerをインストール済みの場合、改めて本マニュアルの手順に従ってダウンロードをお願いします。

QGISダウンロード (2)

インストーラーのOSバージョンを選ぶページが表示されますので、「Windows」をクリックしてください。
※本ツールはMacOSには対応していませんのでご注意ください。

The screenshot shows the QGIS Downloads page. The navigation menu on the left includes Project, Community, Resources, Funding, Goodies, Download (highlighted), and Archive. The main content area is titled 'QGIS Downloads' and contains a search bar, a 'Home' button, and a table of folders. The 'windows' folder is highlighted with a red box, and a red callout box with the text 'Windowsをクリック' points to it.

Name	Size	Modified
android 40 Items	-	-
data 4 Items	-	-
macos 444 Items	-	-
macOS 33 Items	-	-
windows	-	-

QGISダウンロード (3)

Windows版のインストーラーを選ぶページが表示されます。
検索窓に「3.40.11」と入力してください。

The screenshot shows the QGIS website's 'Downloads' section. A search bar is highlighted with a red box, and a red callout box points to it with the text '「3.40.11」を入力'. Below the search bar, a table lists various QGIS installer files. The 'Download QGIS' button is also visible.

Project
Community
Resources
Funding
Goodies
Download
Archive

QGIS Downloads

Browse and download QGIS installers, packages, and related files from our comprehensive download repository. Files are hosted on our storage server, so download speeds may vary compared to current release versions.

Looking for the current versions?
For the most recent QGIS releases with optimal download speeds, visit our main download page.
[Download QGIS](#)

Search by filename...

Home / windows

Name	Size	Modified
weekly 22 items	—	—
qgis_setup0.9.1.18_12_2007.exe	65.11 MB	18 Dec 2007
qgis_setup0.9.1.18_12_2007.exe.md5	65.00 B	3 Feb 2008
qgis_setup0.9.2rc1_05_02_2008.exe	65.94 MB	5 Feb 2008
qgis_setup0.9.2rc1_05_02_2008.exe.md5	68.00 B	24 Feb 2008
QGIS-0.10.0-Setup.exe	67.04 MB	29 Apr 2008
QGIS-0.10.0-Setup.exe.sha256sum	88.00 B	15 Feb 2024

Edit on GitHub

QGISダウンロード (4)

3.40.11Verのインストーラーを選ぶページが表示されます。

表示されているものから、「**QGIS-OSGeo4W-3.40.11-1.msi**」を選択し、任意のフォルダに保存してください。

※ファイルサイズが1.3GBあるためダウンロードに少々時間がかかります。

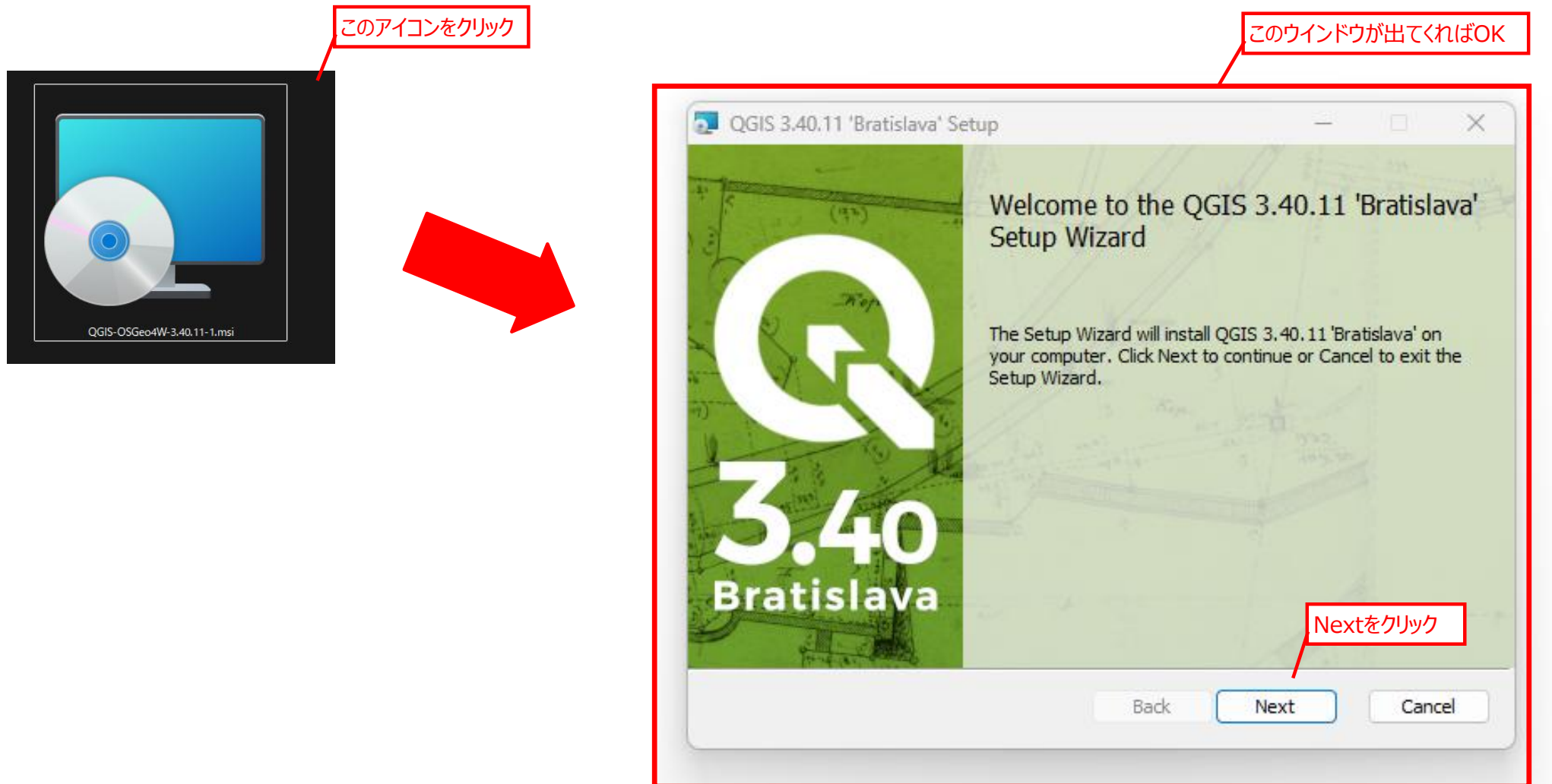
The screenshot shows the QGIS Downloads page. The search bar contains '3.40.11'. A table lists the following files:

Name	Size	Modified
qgis-3.40.11.tar.bz2	175.09 MB	12 Sept 2025
qgis-3.40.11.tar.bz2.sha256	87.00 B	12 Sept 2025
QGIS-OSGeo4W-3.40.11-1.msi	1.26 GB	14 Sept 2025
QGIS-OSGeo4W-3.40.11-1.sha256sum	93.00 B	14 Sept 2025
QGISQT6-OSGeo4W-3.40.11-1.msi	1.25 GB	14 Sept 2025
QGISQT6-OSGeo4W-3.40.11-1.sha256sum	96.00 B	14 Sept 2025

A red box highlights the file 'QGIS-OSGeo4W-3.40.11-1.msi'. A red callout box points to it with the text: 「QGIS-OSGeo4W-3.40.11-1.msi」を選択

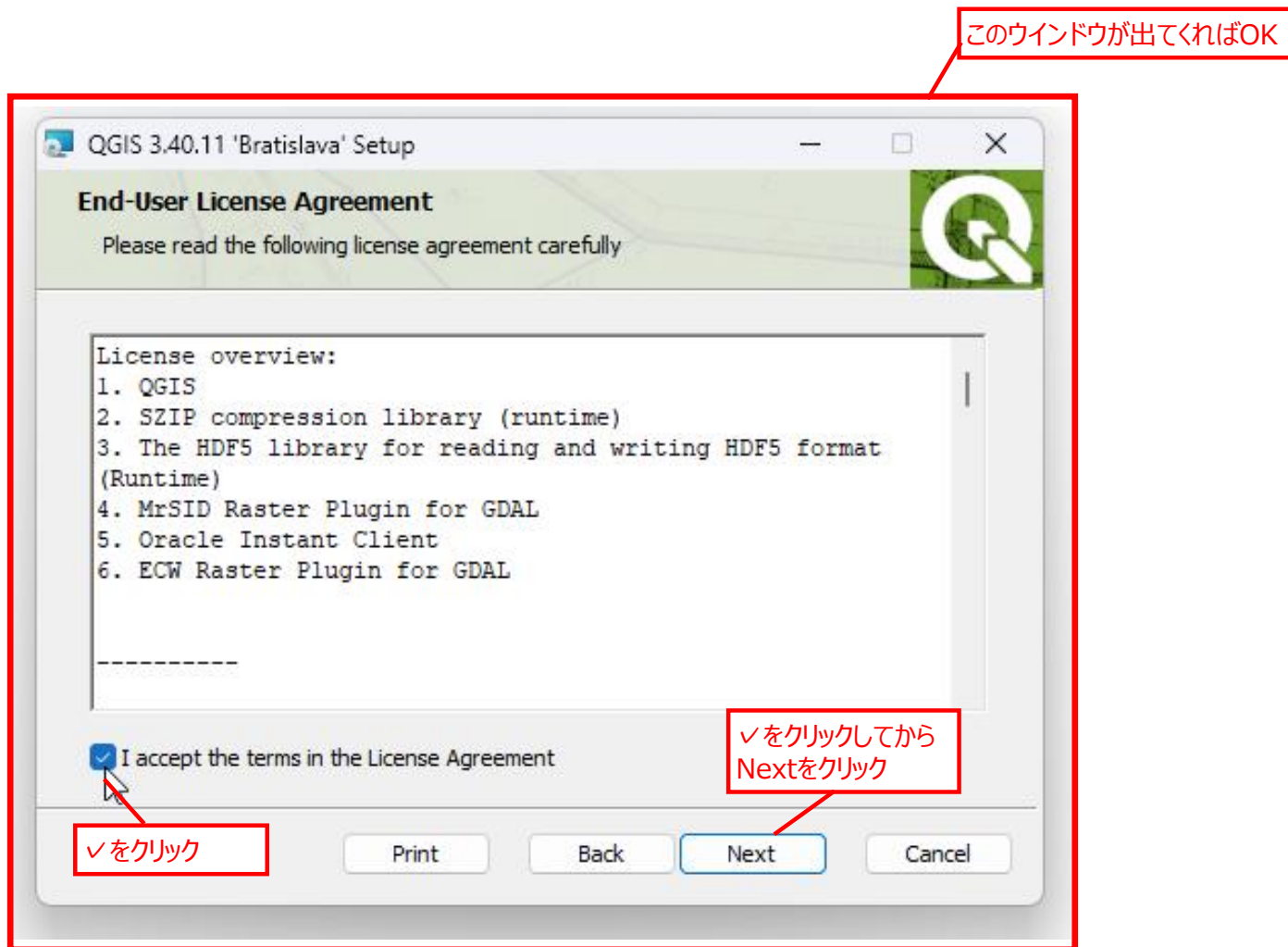
QGISのインストール (1)

ダウンロードした3.40.11のインストーラー（本スライド左のアイコン）をダブルクリックしてください。下記のようなセットアップウィンドウが表示されていればOKです。Nextをクリックしてください。



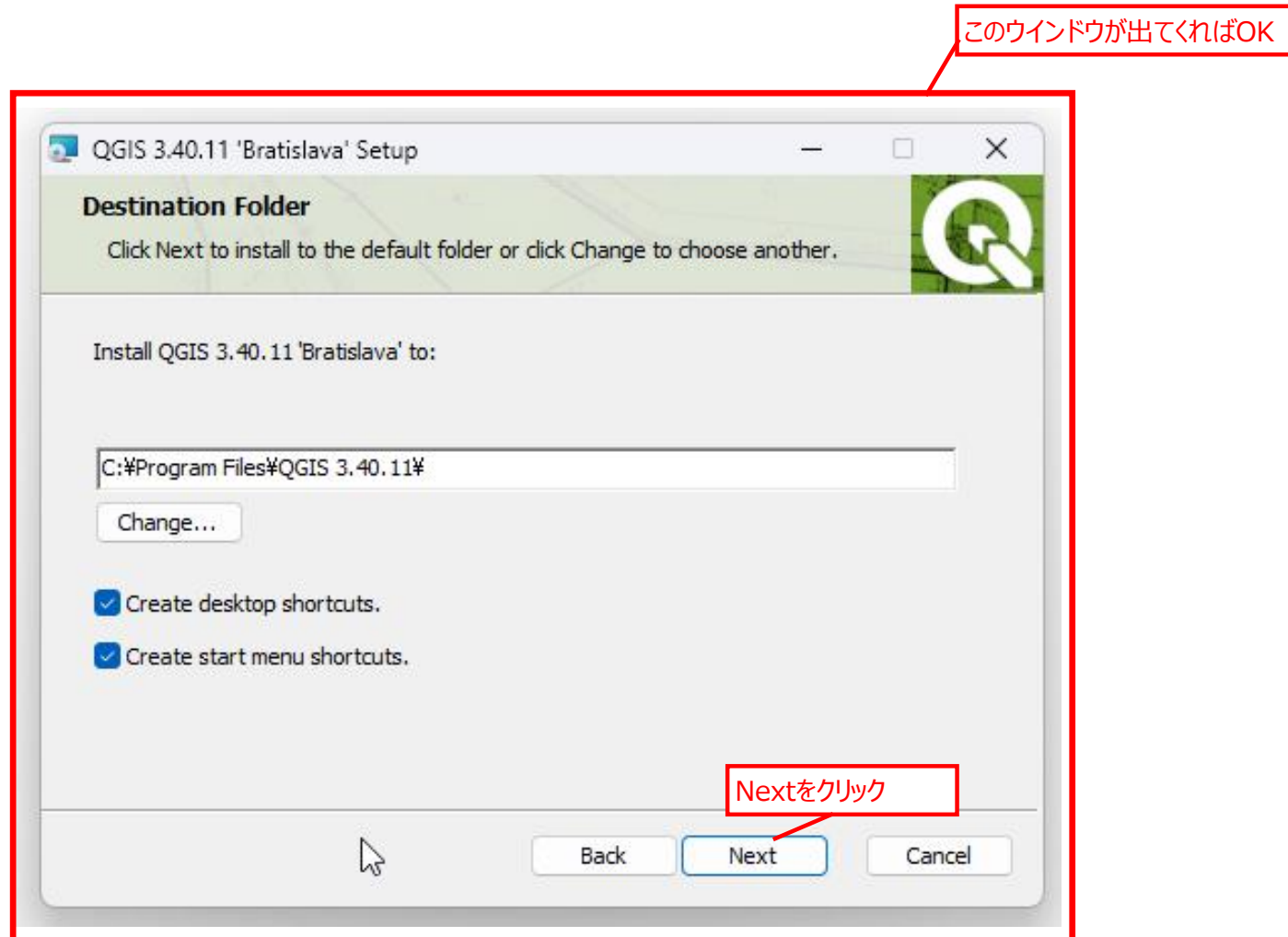
QGISのインストール (2)

ライセンス認証のページが表示されます。
左下のチェックをクリックしてから、Nextをクリックしてください。



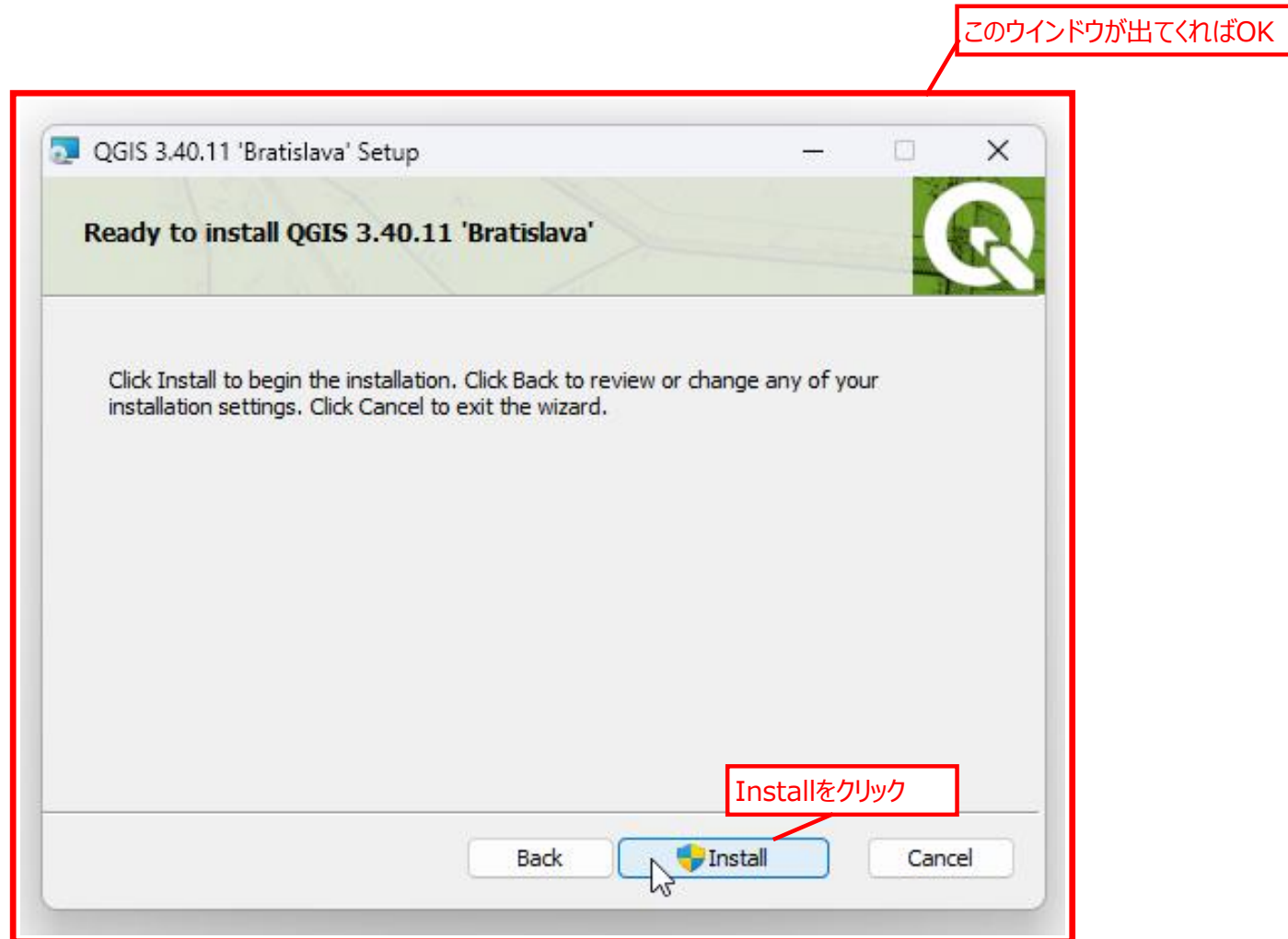
QGISのインストール (3)

インストールするフォルダを指定するページが表示されます。
Nextをクリックしてください。



QGISのインストール (4)

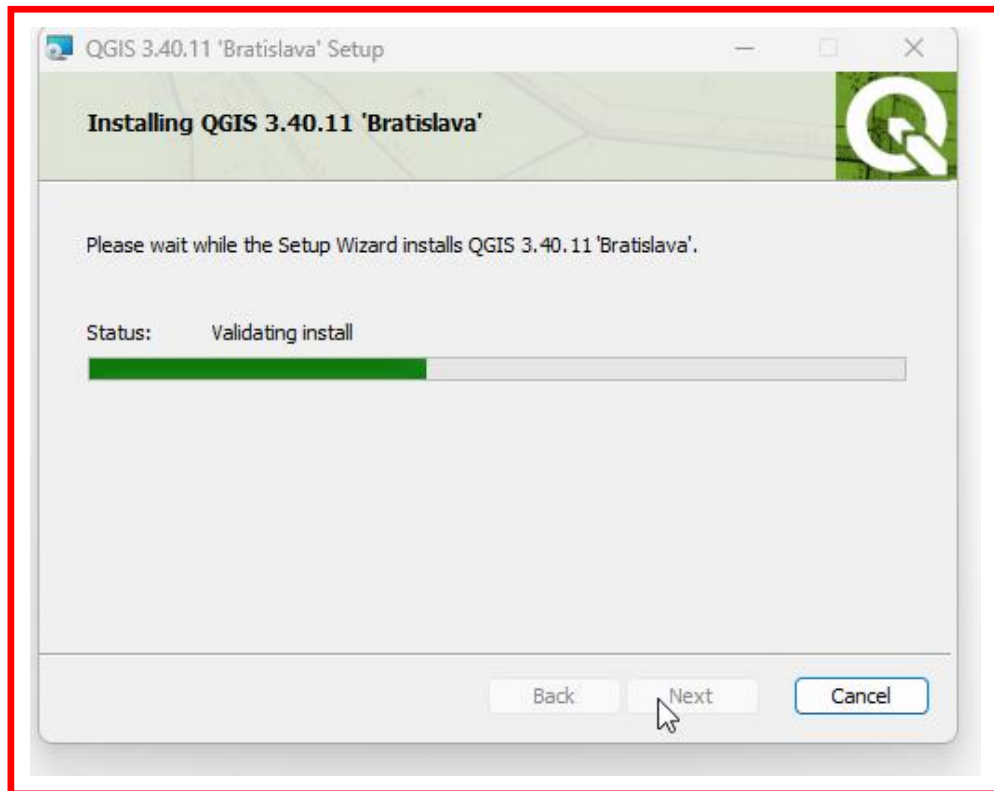
インストールを開始するページが表示されます。
Installをクリックしてください。



QGISのインストール (5)

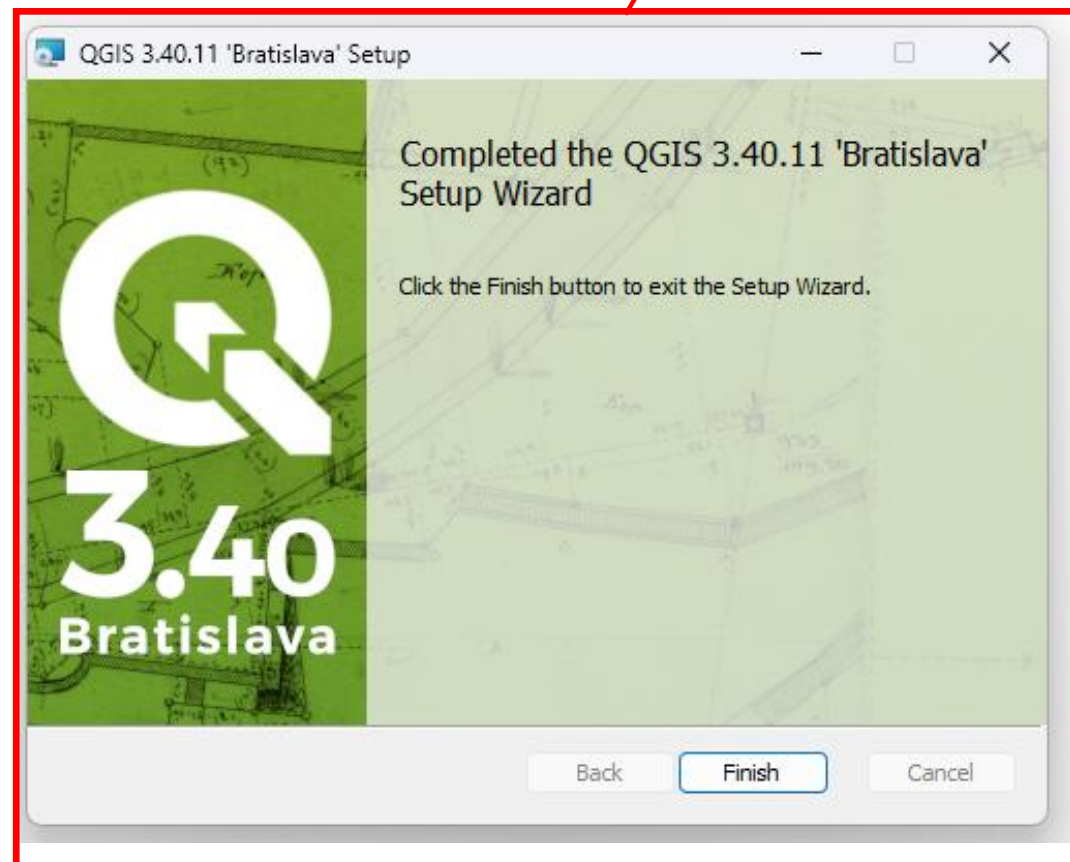
インストールが開始されます。

インストールが完了したら、右下のようなウィンドウが表示されます。「Finish」をクリックするとダウンロード手順が終了します。



このウィンドウが出てくればOK

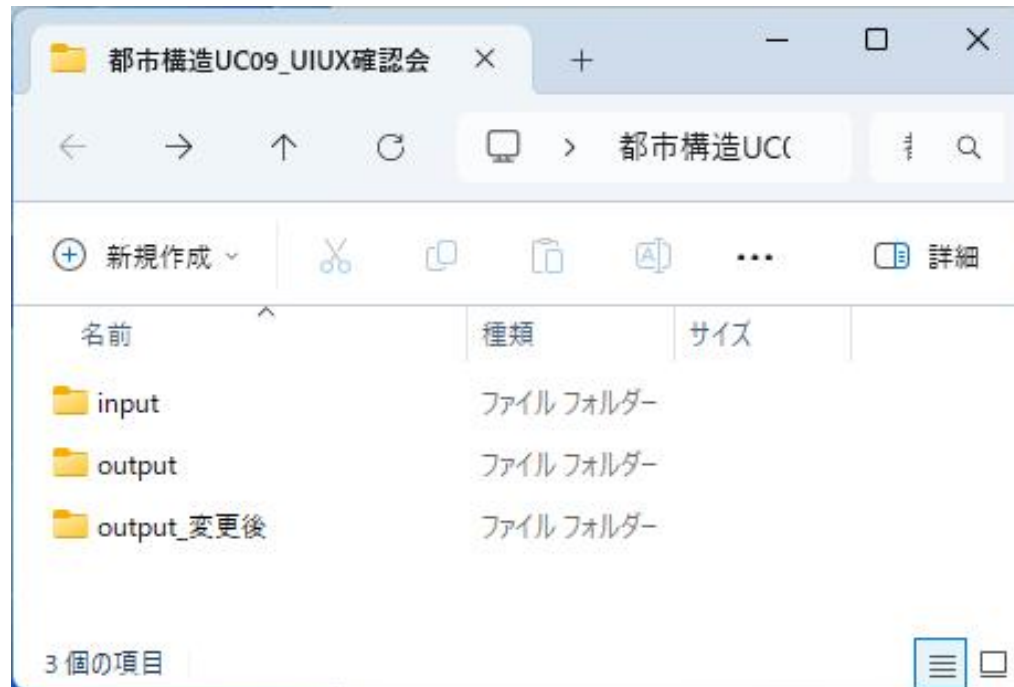
このウィンドウが出てくればOK



QGISのインストール についての説明は以上です。

データ格納フォルダの作成

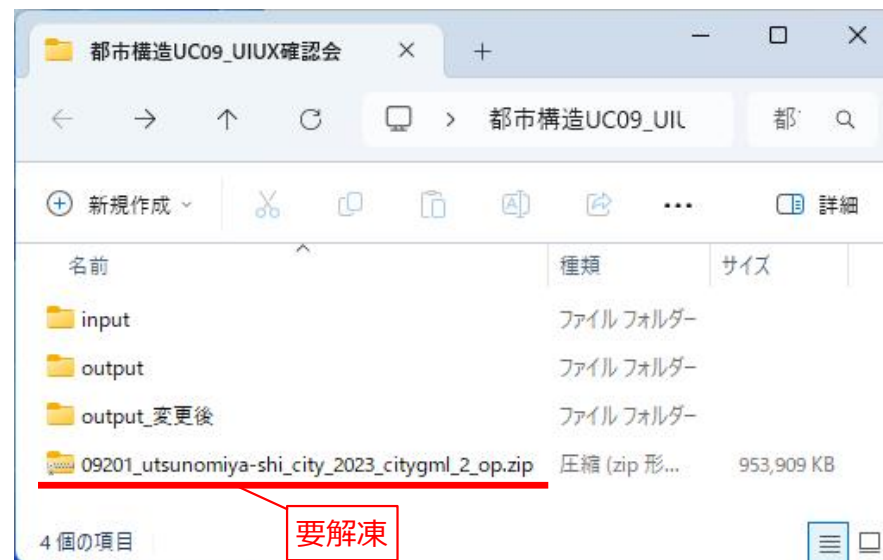
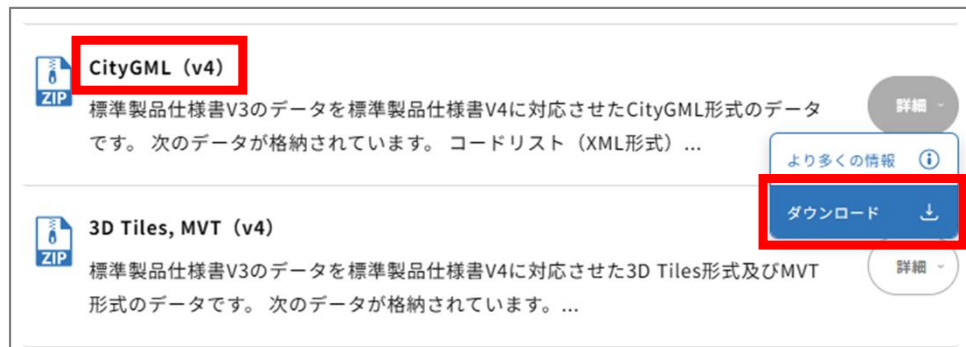
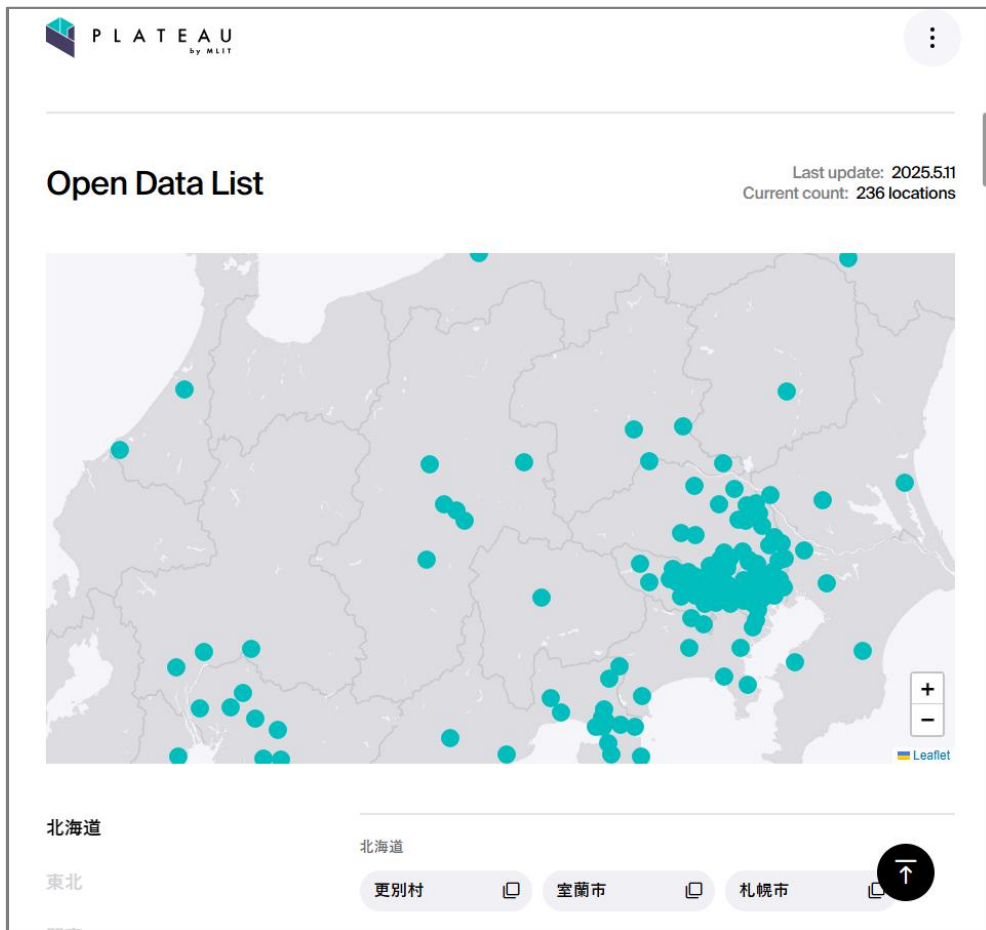
評価指標を算出する際に必要となるデータや出力を行ったデータを格納するために必要なフォルダの準備を行います。任意のフォルダを作成し、入力データを格納するための「input」フォルダ、出力データを格納するための「output」フォルダ、誘導区域変更後の出力データを格納するための「output_変更後」の3つのフォルダを作成します。



3D都市モデル (CityGML) のデータダウンロード

3D都市モデル (CityGML) のデータを、下記URLからダウンロードします。
G空間情報センターより「CityGML (v3)」または「CityGML (v4)」以降を選択しましょう。人口の多い地域は比較的データが多く、ダウンロードに時間がかかることがあります。また、ダウンロードしたファイルはzip圧縮された状態でも5GBを超えることがあり、解凍するとさらに大きくなります。ストレージの空き容量に注意してください。
ダウンロードしたファイルは、解凍してください。

<https://www.mlit.go.jp/plateau/open-data/>



変換ソフトの入手とセットアップ

PLATEAUが配布している3D都市モデルは、CityGML形式です。この形式のファイルをQGISで読み込むにはGeopackage形式への変換が必要になります。そのため、まずは「PLATEAU GIS Converter」というソフトウェアを使用して変換を行います。

「PLATEAU GIS Converter」は下記サイトよりインストーラー（Windows版）をダウンロードして起動し、セットアップを行います。

<https://github.com/Project-PLATEAU/PLATEAU-GIS-Converter/releases>

Jun 19
nokonoko120
3
v0.1.2
f2ba93f ✓
Compare ▾

v0.1.2 Latest

Full Changelog: [v0.1.0...v0.1.2](#)

▼ **Assets** 9

PLATEAU.GIS.Converter-0.1.0-1.x86_64.rpm	10.5 MB	Jun 19
PLATEAU.GIS.Converter_0.1.0_amd64.AppImage	141 MB	Jun 19
PLATEAU.GIS.Converter_0.1.0_amd64.deb	10.4 MB	Jun 19
PLATEAU.GIS.Converter_0.1.0_universal.dmg	20.1 MB	Jun 19
PLATEAU.GIS.Converter_0.1.0_x64-setup.exe	7.37 MB	Jun 19
PLATEAU.GIS.Converter_0.1.0_x64_en-US.msi	11.2 MB	Jun 19
PLATEAU.GIS.Converter_universal.app.tar.gz	20.1 MB	Jun 19
Source code (zip)		Jun 19
Source code (tar.gz)		Jun 19

Windows版

データ形式の変換



「PLATEAU GIS Converter」を起動し、各種設定を行います。

【入力】

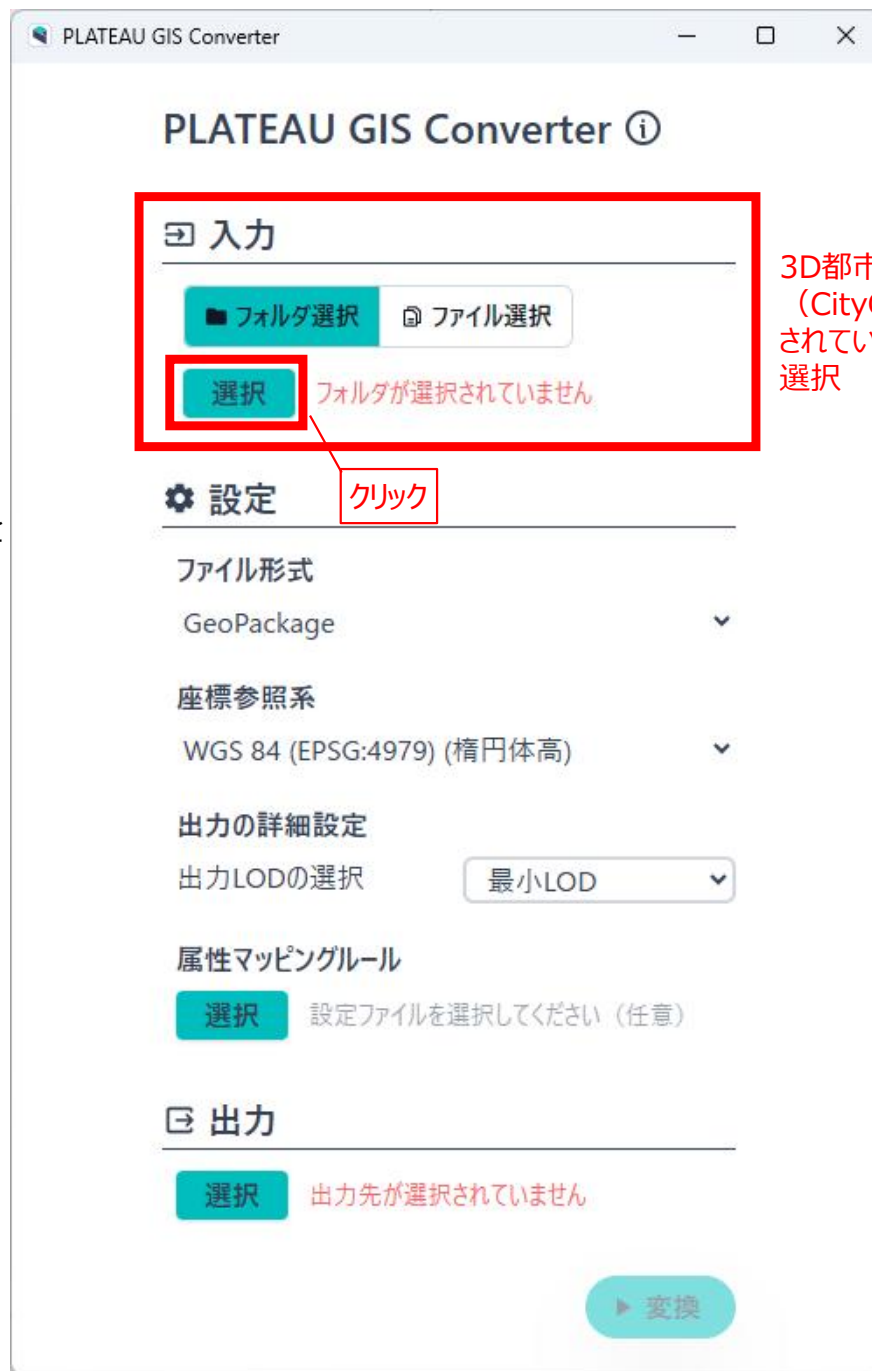
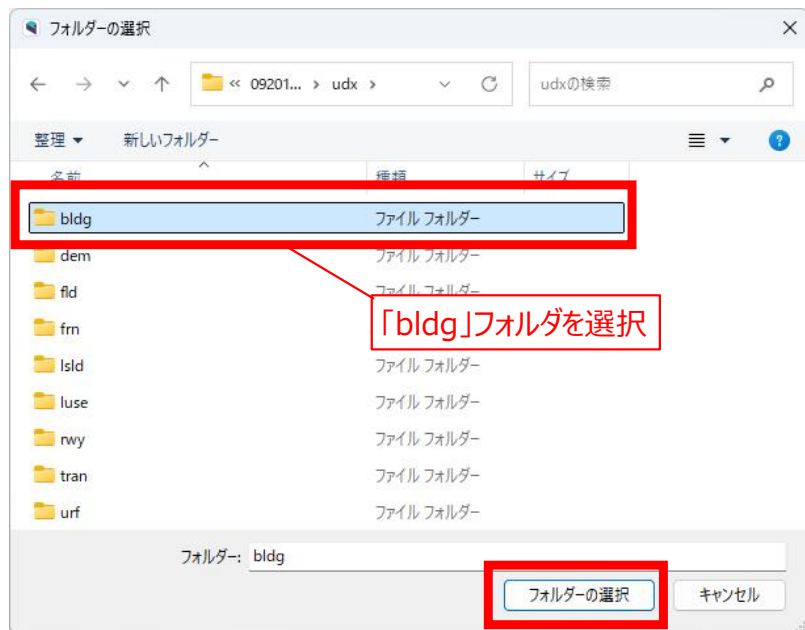
変換元のCityGML形式ファイルを格納したフォルダ、または単一のCityGML形式ファイルを選択します。

ここでは「フォルダ選択」を行ってみましょう。

「フォルダ選択」ボタンが緑色になった状態で下にある「選択」ボタンをクリックします。

「フォルダの選択」ダイアログが表示されるので、ダウンロードを行った「3D都市モデル (CityGML)」の解凍を行ったデータの下記フォルダを選択し、「フォルダの選択」を押下します。

例) C:¥都市構造UC09_UIUX確認会
¥09201_utsumomiya-
shi_city_2023_citygml_2_op¥udx¥bldg



3D都市モデルデータ (CityGML形式) が格納されているフォルダを選択

クリック

「bldg」フォルダを選択

出力先が選択されていません

変換

データ形式の変換



「PLATEAU GIS Converter」を起動し、各種設定を行います。

【設定】

出力ファイル形式：「Geopackage形式」
座標参照系；「WGS 84 (EPSG : 4979) (楕円体高)」
出力LOD：「最小LOD」

を選択します。

【出力】

出力先のフォルダ名またはファイル名を選択します。

設定が完了し「変換」を押下すると、指定フォルダに「Geopackage形式」へ変換された「3D都市モデル (CityGML)」データが作成されます。

変換データ (Geopackage形式) を保存するフォルダを選択

3. (3) フォルダ生成とデータ格納
No.1 : 都市モデル (建物) フォルダを出力先に指定

PLATEAU GIS Converter (i)

📁 入力

■ フォルダ選択 📄 ファイル選択

選択 フォルダが選択されていません

⚙️ 設定

ファイル形式
GeoPackage

座標参照系
WGS 84 (EPSG:4979) (楕円体高)

出力の詳細設定
出力LODの選択 最小LOD

属性マッピングルール
選択 設定ファイルを選択してください (任意)

📁 出力
選択 出力先が選択されていません

▶ 変換

「Geopackage」を選択

「WGS 84 (EPSG : 4979) 」
(楕円体高) を選択

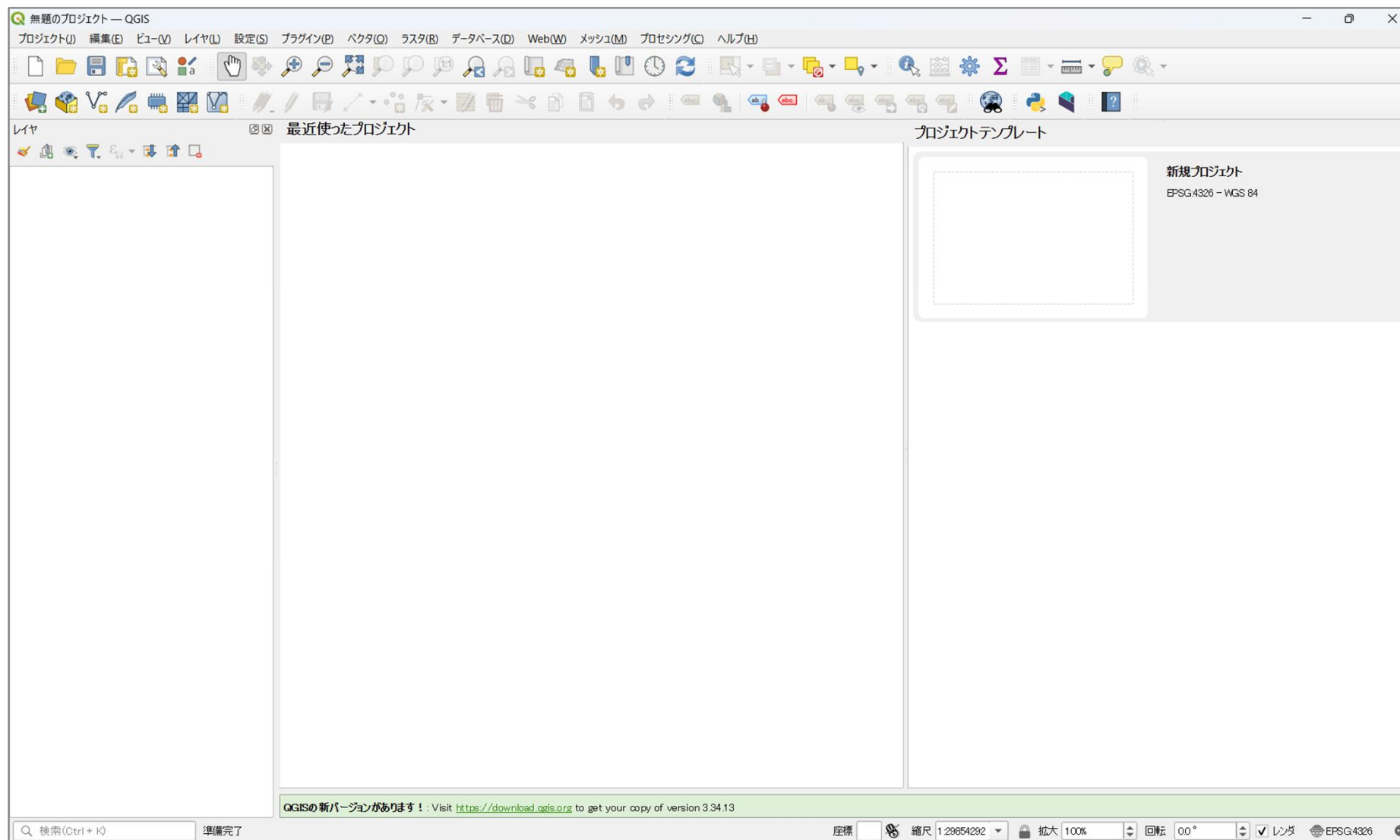
「最小LOD」を選択

上記入力後に
「変換」を押下

3. 本ツールの基本操作手順

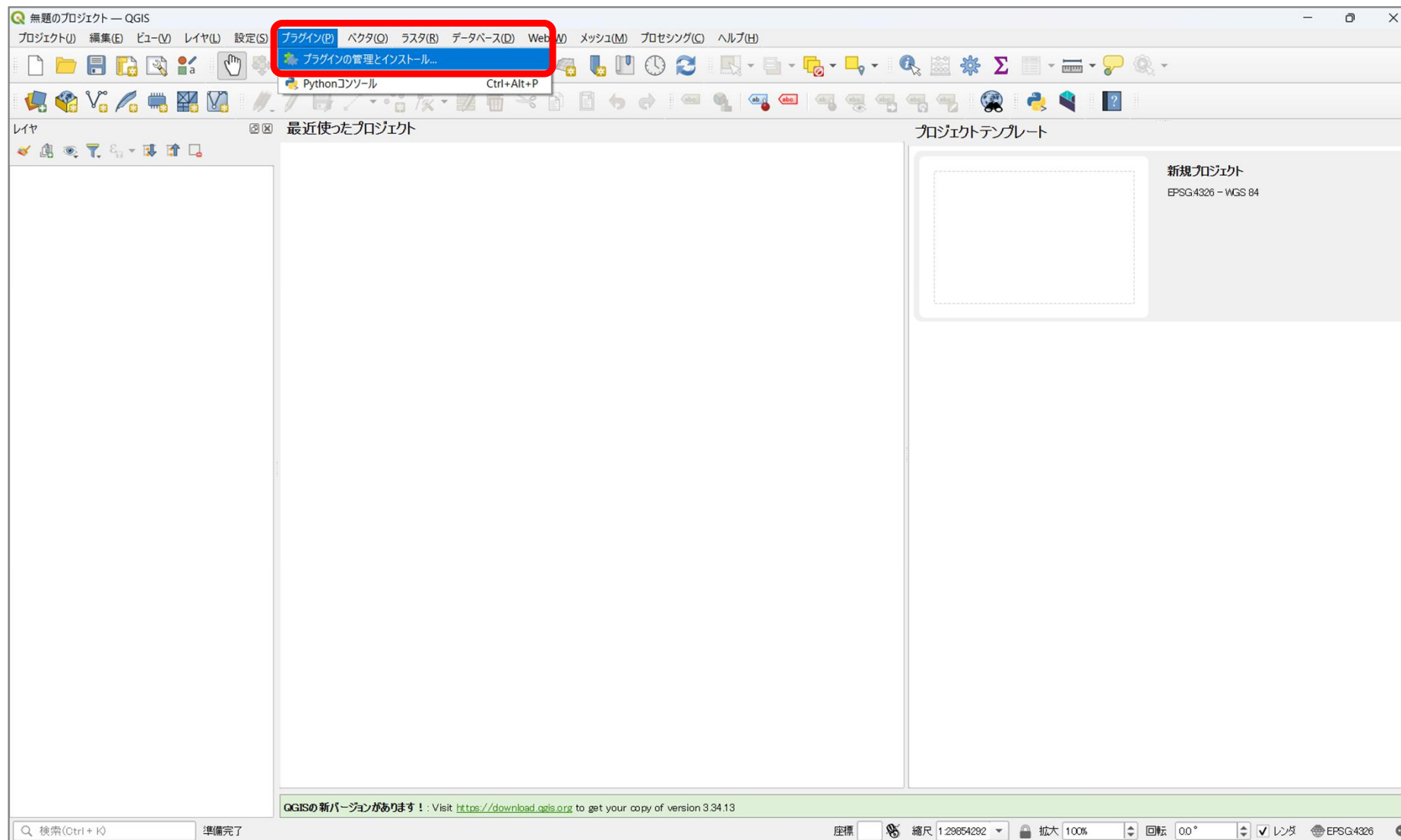
評価指標算出プラグインのインストール

QGISを起動します。



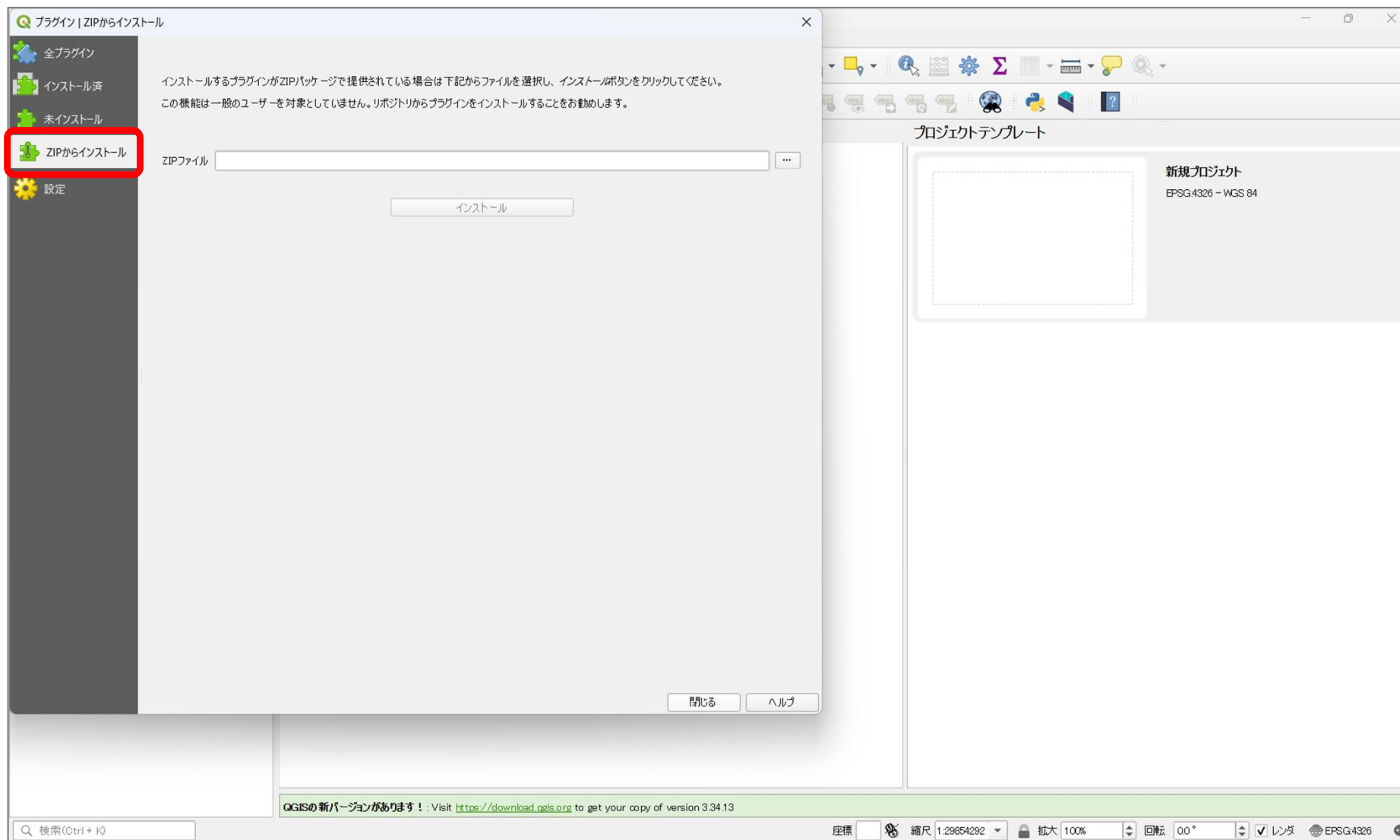
評価指標算出プラグインのインストール

上部メニューの プラグイン > プラグインの管理とインストール を開きます。



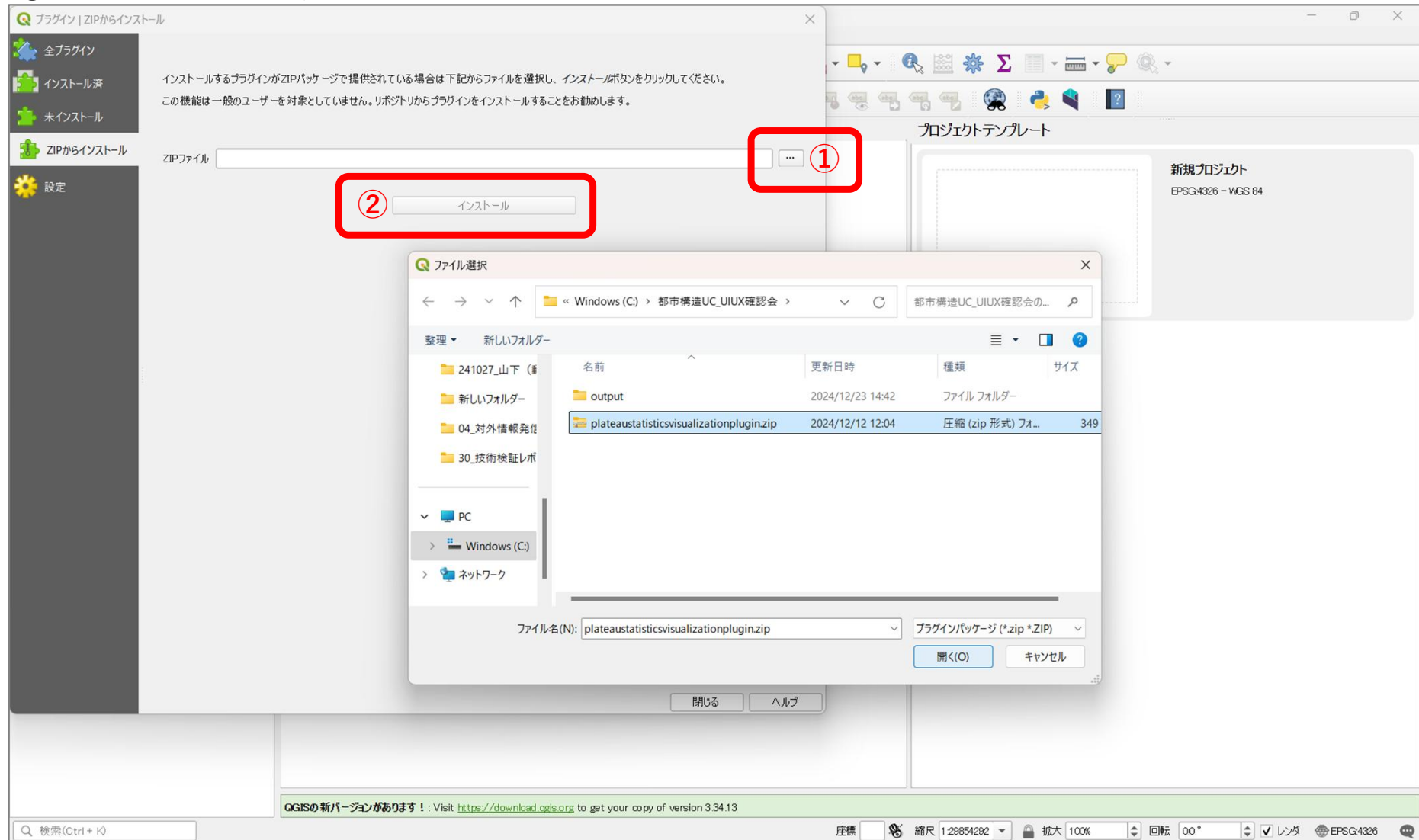
評価指標算出プラグインのインストール

左メニューの ZIPからインストール をクリックし、ZIPファイルの選択を開きます。



評価指標算出プラグインのインストール

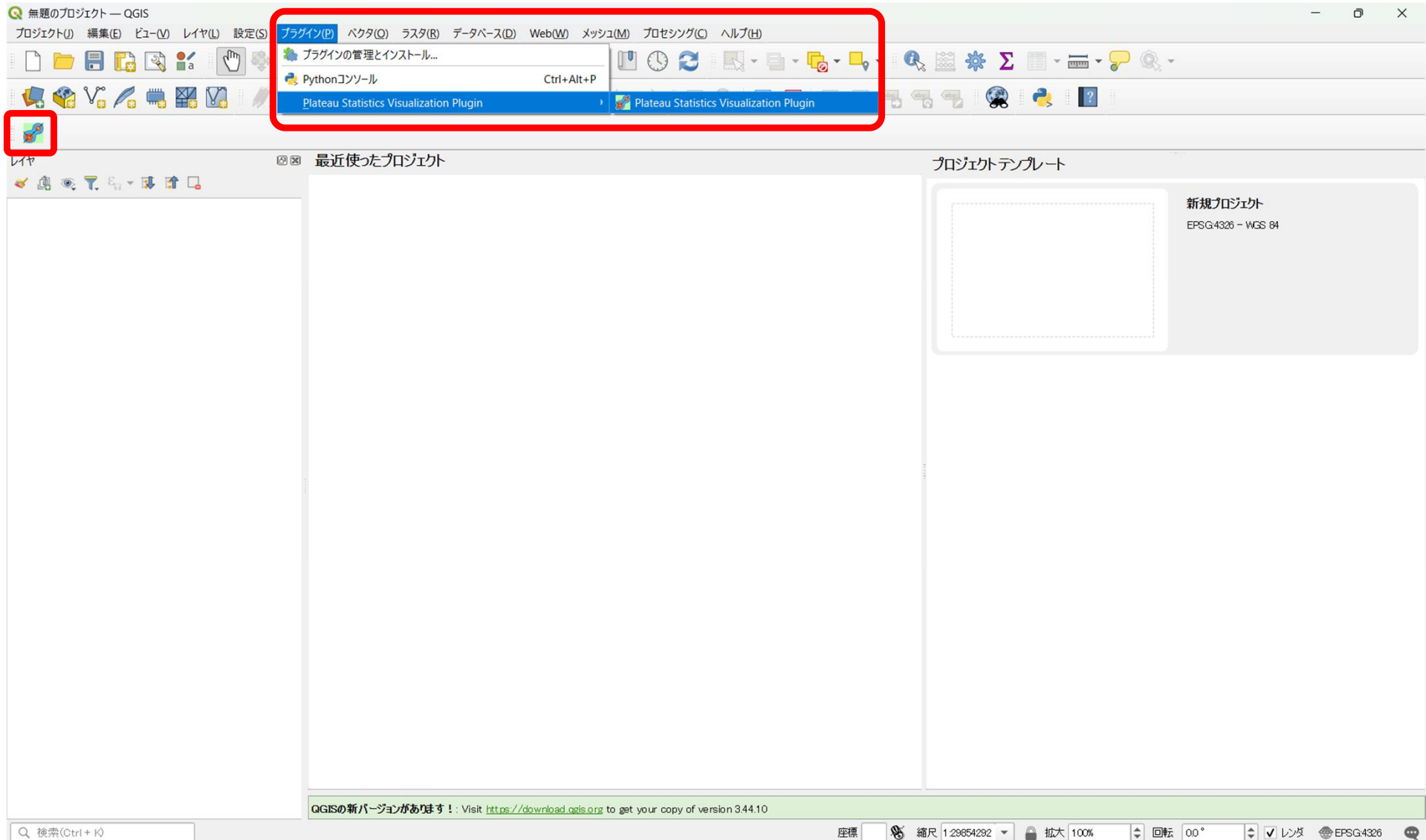
- ①ZIPファイルの選択部分（…部分）をクリックし、C直下に保存したフォルダ内の「plateaustatisticsvisualizationplugin.zip」を選択します。
- ②インストール ボタンをクリックします。



プラグインのインストール についての説明は以上です。

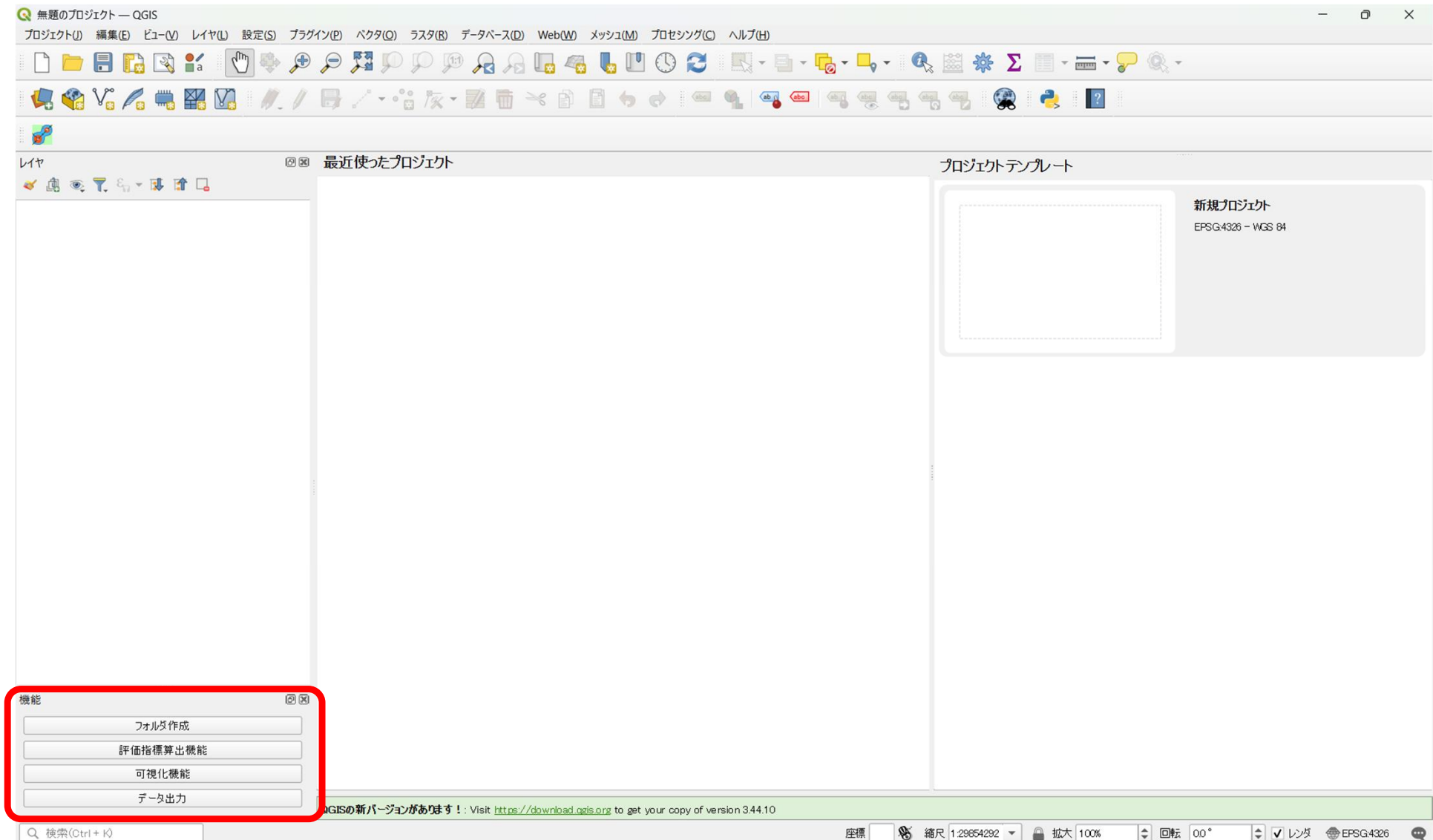
評価指標算出プラグインの起動

プラグイン>Plateau Statics Visualization Pluginを選択しプラグインを起動します。
または、左上に追加された「アイコン」をクリックしてもプラグインが起動します。



評価指標算出プラグインの起動

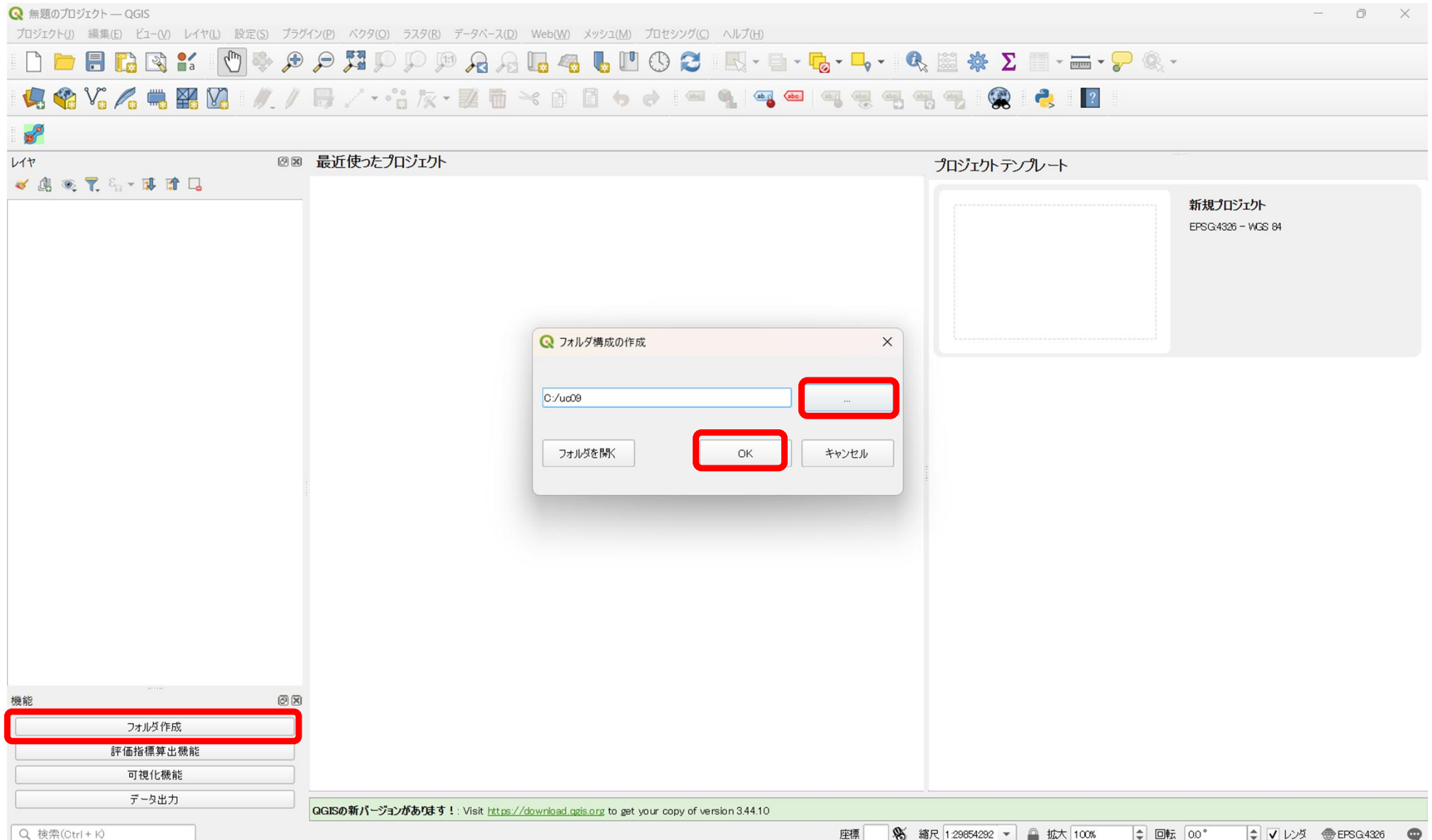
プラグインが起動したら左下に「機能パネル」が表示されます。



評価指標算出プラグインの起動 についての説明は以上です。

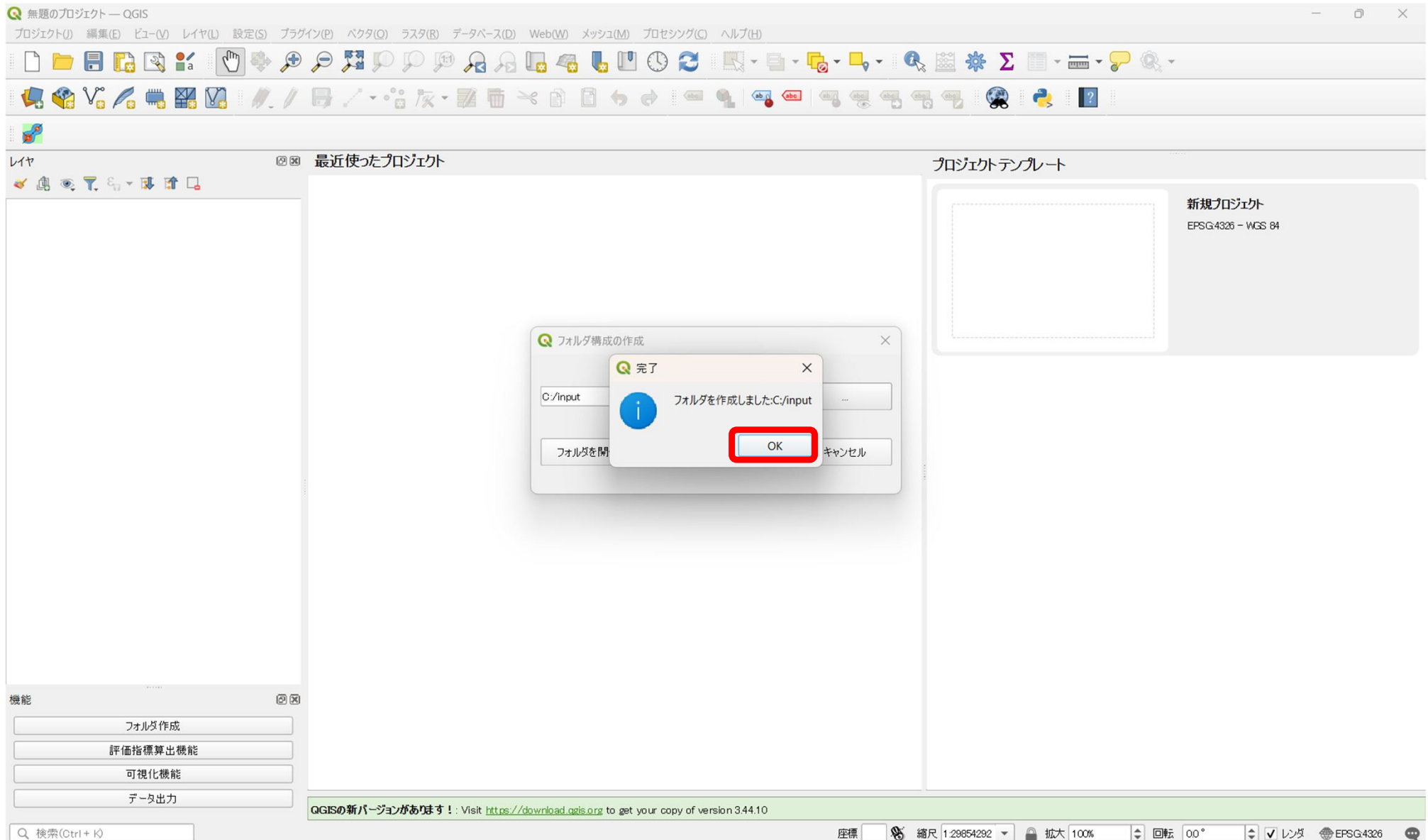
フォルダ生成・評価指標データ格納

機能パネル内の【フォルダ作成】を押下し、インプットデータの格納フォルダを作成します。



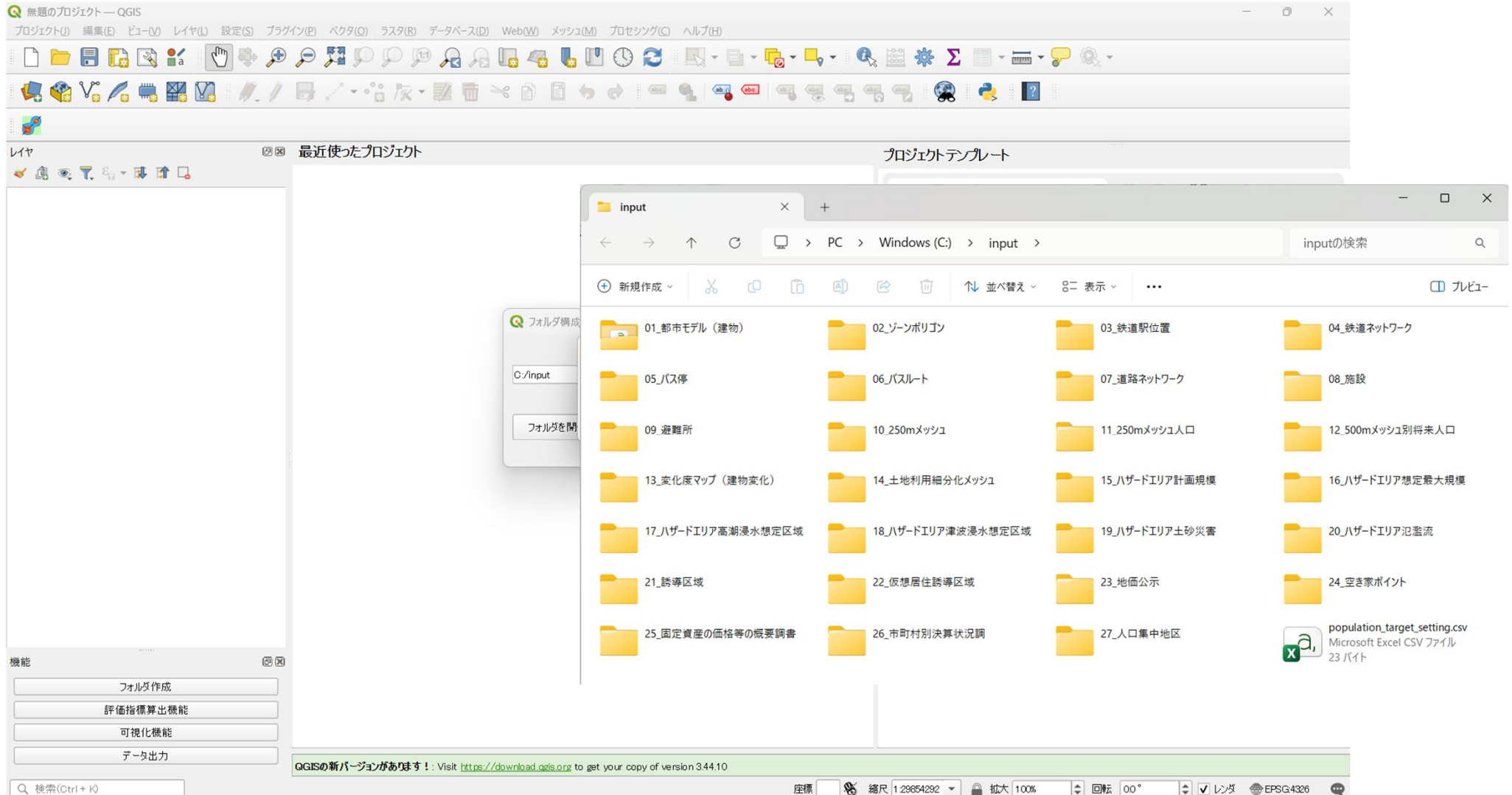
フォルダ生成・評価指標データ格納

機能パネル内の【フォルダ作成】を押下し、入力データの格納フォルダを作成します。



フォルダ生成・評価指標データ格納

作成されたフォルダにインプットデータを格納します。

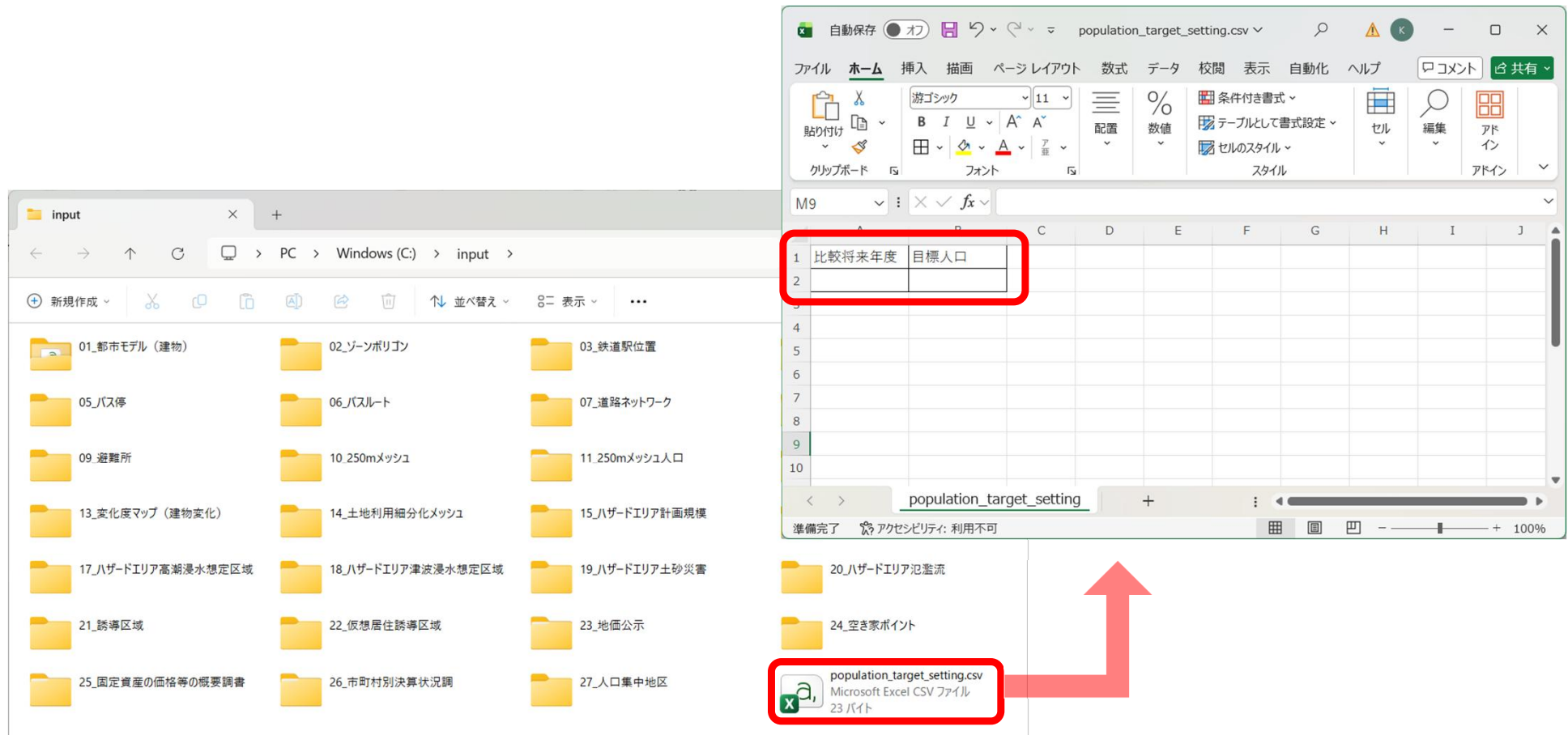


No.	格納フォルダ名	入手先	格納データ
1	01_都市モデル (建物)	G空間情報センター	Plateau GISコンバーターでbldgデータを「Geopackage形式」へ変換を行ったデータ
2	02_ゾーンポリゴン	国土数値情報	「行政区画」
3	03_鉄道駅位置	国土数値情報	「鉄道」
4	04_鉄道ネットワーク	国土数値情報	「鉄道」
5	05_バス停	国土数値情報	「バス停留所」
6	06_バスルート	国土数値情報	「バスルート」
7	07_道路ネットワーク	OpenStreetMap	gis_osm_roads_free_1.shp
8	08_施設	国土数値情報, 各自治体保有データ	「市区町村役場」,「市町村役場等及び公的集会施設」,「文化施設」,「福祉施設」,「医療機関」,「学校」
9	09_避難所	国土数値情報	「避難施設」
10	10_250mメッシュ	e-stat	「境界データ>5次メッシュ (250mメッシュ) >世界測地系緯度経度・Shapefile」
11	11_250mメッシュ人口	e-stat	「統計データ>国勢調査>2010年>5次メッシュ (250mメッシュ) >男女別人口総数及び世帯総数」 「統計データ>国勢調査>2015年>5次メッシュ (250mメッシュ) >その1 人口等基本集計に関する事項>第1次地域区画」 「統計データ>国勢調査>2020年>5次メッシュ (250mメッシュ) >人口及び世帯 (JGD2011) >第1次地域区画」
12	12_500mメッシュ別将来人口	国土数値情報	「500mメッシュ別将来推計人口」
13	13_変化度マップ (建物変化)	国より提供	自自治体に関連する1次メッシュ単位で格納
14	14_土地利用細分化メッシュ	国土数値情報	「土地利用細分化メッシュ」
15	15_ハザードエリア計画規模	国土数値情報	「洪水浸水想定区域 (1次メッシュ単位) >10_計画規模」
16	16_ハザードエリア想定最大規模	国土数値情報	「洪水浸水想定区域 (1次メッシュ単位) >20_想定最大規模」
17	17_ハザードエリア高潮浸水想定区域	国土数値情報	「高潮浸水想定区域」
18	18_ハザードエリア津波浸水想定区域	国土数値情報	「津波浸水想定」
19	19_ハザードエリア土砂災害	国土数値情報	「土砂災害警戒区域」
20	20_ハザードエリア氾濫流	国土数値情報	「洪水浸水想定区域 (1次メッシュ単位) >41_家屋倒壊等氾濫想定区域_氾濫流」
21	21_誘導区域	国土交通省_都市計画決定 GISオープンデータ	「都市計画情報」
22	22_仮想居住誘導区域	自治体保有データ	居住誘導区域データがない (策定していない) 場合ユーザーにて作成
23	23_地価公示	国土数値情報	「地価公示」
24	24_空き家ポイント	各自治体保有データ	
25	25_固定資産の価格等の概要調書	総務省	「平成22年度・平成27年度・令和2年度 固定資産の価格等の概要調書」
26	26_市町村別決算状況調	総務省	「平成24年度～令和4年度 市町村別決算状況調」
27	27_人口集中地区	国土数値情報	「人口集中地区データ」

※データ名のXは年次やメッシュ番号により名称が異なる

将来年度および目標人口の入力

作成されたフォルダ内に作成された「population_target_setting.csv」ファイルをエクセルで開き、「立地適正化計画」で設定されている「目標年次（西暦）」および「目標人口」を入力し、上書き保存します。



評価指標の算出

機能パネル内の【評価指標算出機能】を押下し、データの格納フォルダや諸条件を入力します。

「変更前の誘導区域」を選択

【インプット格納フォルダの指定】
インプットデータの格納フォルダを指定します。
デフォルトでは、(3)フォルダ生成で作成したパスが記載されます。異なるファイルを選択したい場合はパスを変更してください。

【アウトプット格納フォルダの指定】
アウトプットデータ（評価指標の算出結果：csv形式）の出力フォルダを指定します。

【バス圏域の設定】
バス亭から指定した距離の同心円圏域を作成します。

【鉄道圏域の設定】
鉄道駅から指定した距離の同心円圏域を作成します。

【避難施設圏域の設定】
避難施設から指定した距離の同心円圏域を作成します。

機能
フォルダ作成
評価指標算出機能
可視化機能
データ出力

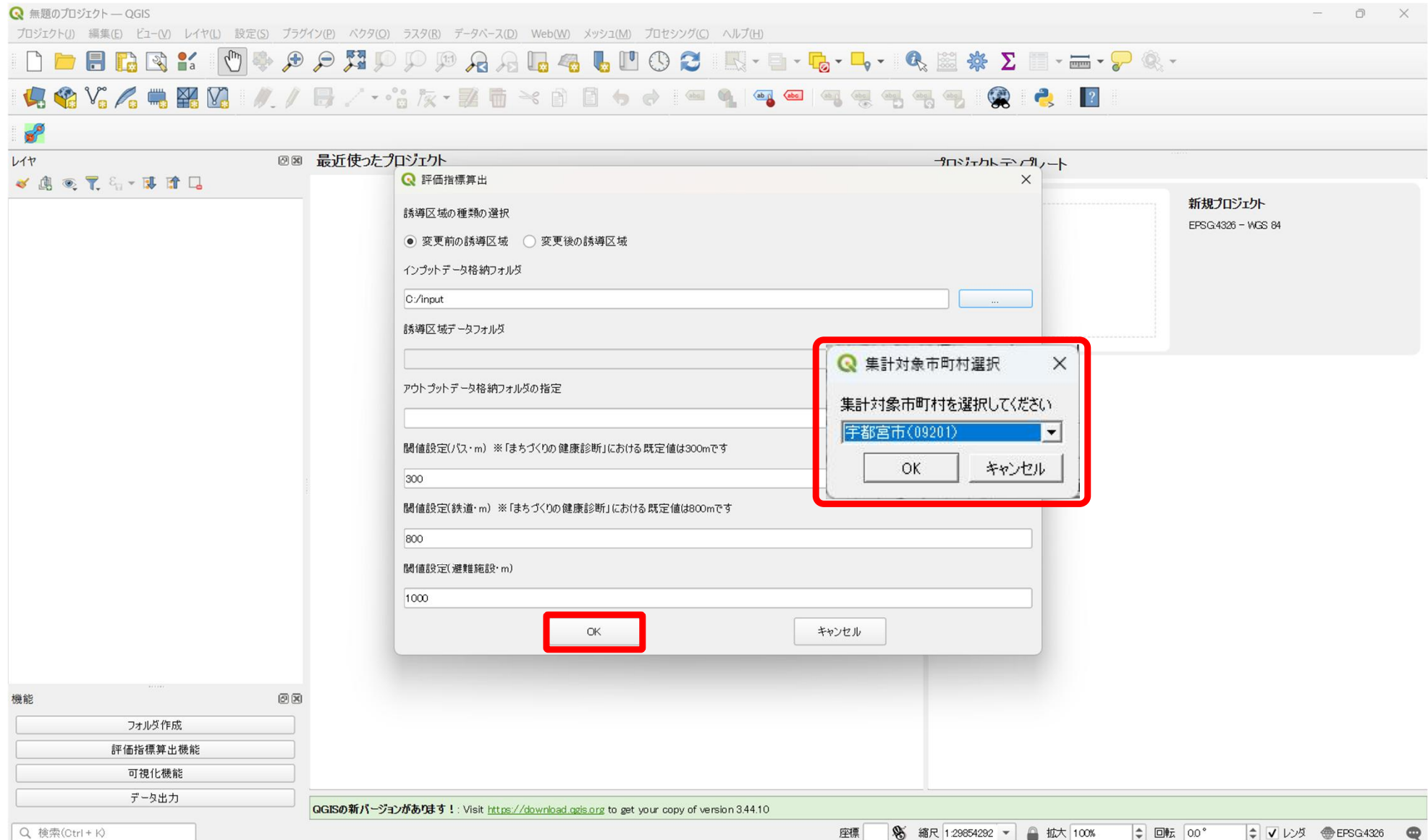
QGISの新しいバージョンがあります！: Visit <https://download.qgis.org> to get your copy of version 3.44.10

座標 縮尺 1:28854292 拡大 100% 回転 00° レンダ EPSG:4326

評価指標の算出

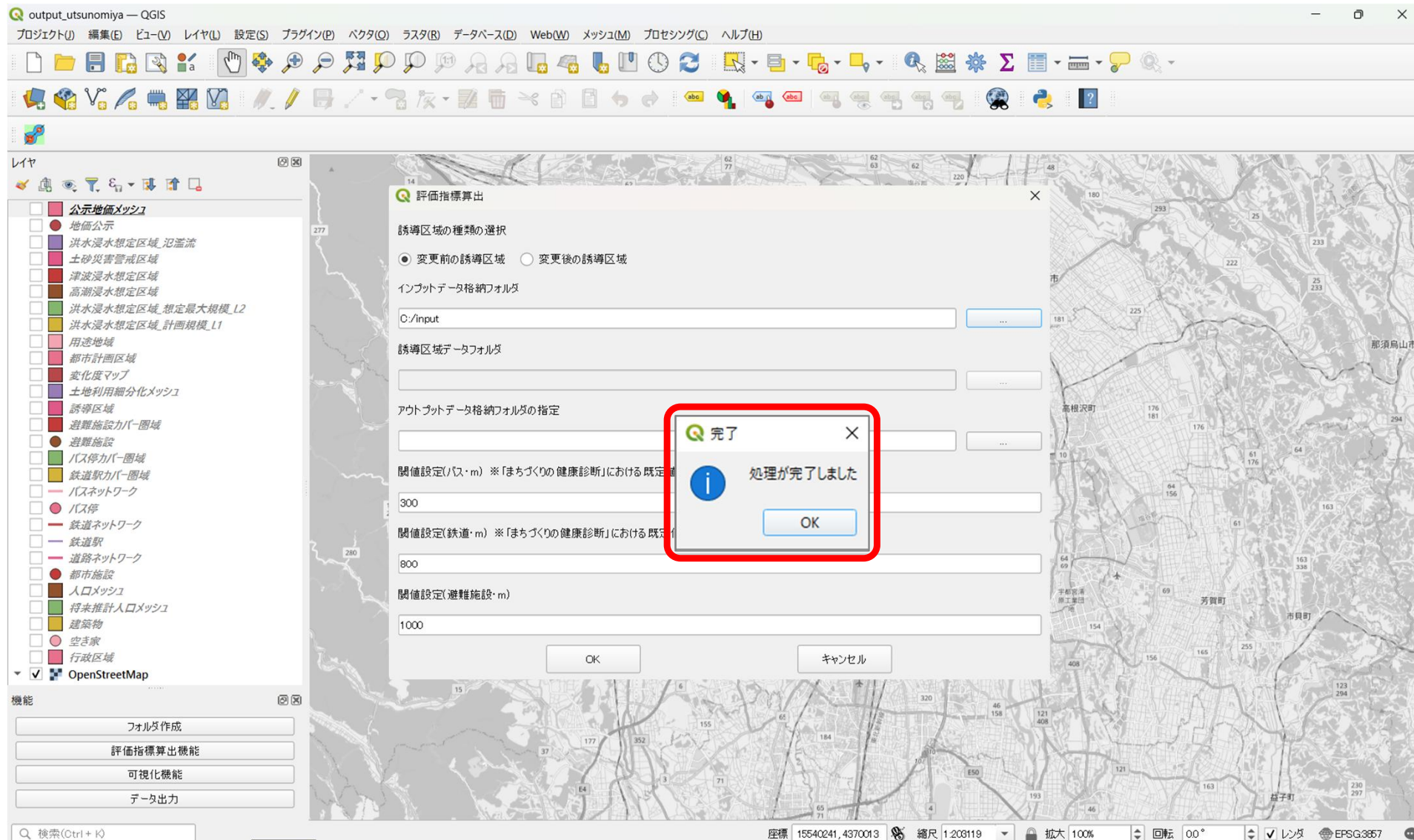
「OK」を押下すると、「集計対象市町村選択」ダイアログが表示されます。

評価指標算出を行う市町村を選択し、「OK」を押下すると入力データを取り込み、指標の算出処理が実行されます。



評価指標の算出

演算処理が完了したら「完了」ダイアログが表示されます
「OK」を押下すると「評価指標の算出」の完了です。



評価指標算出機能 についての説明は以上です。

可視化

評価指標の算出後、機能パネル内の【可視化機能】を押下し評価指標の可視化を行います。

The screenshot displays the QGIS interface with the following components:

- Toolbar:** Standard GIS navigation and editing tools.
- Layers Panel (レイヤ):** Lists various data layers such as '公示地価メッシュ' (Public Land Price Mesh) and '洪水浸水想定区域' (Flood Inundation Potential Areas).
- Function Panel (機能):** Contains buttons for 'フォルダ作成' (Create Folder), '評価指標算出機能' (Evaluation Index Calculation Function), '可視化機能' (Visualization Function), and 'データ出力' (Data Output). The '可視化機能' button is highlighted with a red box.
- Data Catalog Panel (データカタログ):** Contains dropdown menus for '可視化データ選択' (Visualization Data Selection) and '評価指標選択' (Evaluation Index Selection), both set to '居住誘導関連評価指標' (Residential Guidance Related Evaluation Index). It also includes a '年次選択' (Year Selection) dropdown set to '2020' and an '実行' (Execute) button. A '参考評価指標選択' (Reference Evaluation Index Selection) dropdown is also present, set to '居住誘導関連評価指標', with a '参考グラフ表示' (Reference Graph Display) button below it. This entire panel is highlighted with a red box.
- Map View:** Shows a grayscale map of a city area with various labels like '日光市', '宇都宮市', and 'さくら市'.
- Graph Panel (グラフ):** Shows 'グラフ: 現行' (Graph: Current) and 'グラフ: 修正区域' (Graph: Correction Area).
- Status Bar:** Displays coordinates (15544067, 4376301), scale (1:203119), zoom (100%), and projection (EPSG:3857).

押下するとデータカタログが表示されます。

可視化

可視化データを選択します。

The screenshot displays the QGIS desktop environment. The top menu bar includes options like 'プロジェクト(P)', '編集(E)', 'ビュー(V)', 'レイヤ(L)', '設定(S)', 'プラグイン(P)', 'ベクタ(O)', 'ラスター(B)', 'データベース(D)', 'Web(W)', 'メッシュ(M)', 'プロセッシング(C)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar contains various icons for map navigation and editing.

On the left side, the 'レイヤ' (Layers) panel shows a list of layers with checkboxes. Below it, the '機能' (Functions) panel has buttons for 'フォルダ作成', '評価指標算出機能', '可視化機能', and 'データ出力'. The 'データカタログ' (Data Catalog) panel is highlighted with a red box, showing a list of visualization data options: '可視化データ選択', '居住誘導関連評価指標', '都市機能誘導関連評価指標', '防災関連評価指標', '公共交通関連評価指標', '土地利用関連評価指標', '財政関連評価指標', and '将来人口と目標人口の関係性'. The '参考評価指標選択' (Reference evaluation indicator selection) panel shows '居住誘導関連評価指標' selected.

The main map area displays a grayscale map of a city area, likely Utsunomiya, with various overlays and labels. The 'グラフ: 現行' (Graph: Current) panel is visible on the right side. The bottom status bar shows the coordinates '座標 15550371, 4374958', scale '縮尺 1:203119', zoom '拡大 100%', rotation '回転 00°', and projection 'EPSG:3857'.

可視化

評価指標を選択します。

The screenshot displays the QGIS desktop application window titled "output_utsumomiya - QGIS". The interface includes a menu bar at the top, a toolbar, and a main map area showing a grayscale map of a city area with various overlays. On the left side, there are several panels:

- レイヤ (Layers):** A list of layers with checkboxes. The "公示地価メッシュ" layer is checked. Other layers include "地価公示", "洪水浸水想定区域_氾濫流", "土砂災害警戒区域", "津波浸水想定区域", "高潮浸水想定区域", "洪水浸水想定区域_想定最大規模_L2", "洪水浸水想定区域_計画規模_L1", "用途地域", "都市計画区域", and "変化度マップ".
- 機能 (Tools):** A panel with buttons for "フォルダ作成", "評価指標算出機能", "可視化機能", and "データ出力".
- データカタログ (Data Catalog):** A panel with a "可視化データ選択" dropdown menu set to "居住誘導関連評価指標". Below it, a "評価指標選択" section is highlighted with a red box, containing a list of evaluation indices: "居住誘導区域内人口割合" (highlighted in blue), "居住誘導区域内人口密度", and "行政区画人口と居住誘導区域内人口".
- 参考評価指標選択 (Reference Evaluation Index Selection):** A panel with a dropdown menu set to "居住誘導関連評価指標" and a "参考グラフ表示" button.

At the bottom of the window, there is a search bar with the text "検索 (Ctrl + F)", a coordinate display showing "座標 15553865, 4377645", a scale of "縮尺 1:203119", a zoom level of "拡大 100%", a rotation of "回転 00°", and a coordinate system of "EPSG:3857".

可視化

年次を選択します。

The screenshot displays the QGIS interface for the visualization step. The 'Data Catalog' panel on the left is the primary focus, with a red rectangular highlight around the '年次選択' (Year Selection) dropdown menu. The dropdown menu is open, showing the years 2020, 2015, and 2010, with 2020 selected. Other panels include 'レイヤ' (Layers) with a list of data layers, '機能' (Function) with several buttons, and 'データカタログ' (Data Catalog) with various selection options. The main map area shows a grayscale map of a city area with various overlays. The bottom status bar shows coordinates, scale, and projection information.

可視化

実行ボタンを押下すると、選択した指標に該当するレイヤの凡例、マップ、グラフが表示されます。

The screenshot displays the QGIS interface with the following components:

- レイヤ (Layers):** A list of layers on the left, including '建築物' (Buildings) with categories like '2015年以降建築' and '2015年以前建築', and '誘導区域' (Guidance Area) with categories like '101人以上増加' and '101~1000人減少'.
- 機能 (Functions):** A panel on the left with buttons for 'フォルダ作成', '評価指標抽出機能', '可視化機能', and 'データ出力'. The '可視化機能' (Visualization Function) button is highlighted with a red box.
- データカタログ (Data Catalog):** A panel on the left showing '可視化データ選択' (Visualization Data Selection) with '居住誘導関連評価指標' (Residential Guidance Related Evaluation Indicator) selected, and '評価指標選択' (Evaluation Indicator Selection) with '居住誘導区域内人口割合' (Population Ratio in Residential Guidance Area) selected. The '実行' (Execute) button is highlighted with a red box.
- マップ (Map):** The central map view showing a residential area with various colored overlays representing the selected indicators.
- グラフ: 現行 (Graph: Current):** A bar chart titled '居住誘導区域内人口割合 [%]' (Population Ratio in Residential Guidance Area [%]). The x-axis shows years 2010, 2015, and 2020. The y-axis shows percentages from 0% to 100%. The data points are 56.1% (2010), 56.3% (2015), and 56.2% (2020), with a change of +0.4 from 2010 to 2015 and -0.2 from 2015 to 2020.
- グラフ: 修正区域 (Graph: Correction Area):** A bar chart titled '居住誘導区域内人口密度 [人/ha]' (Population Density in Residential Guidance Area [人/ha]). The x-axis shows years 2010, 2015, and 2020. The y-axis shows density from 20 to 35. The data points are 33.3 (2010), 33.9 (2015), and 34.0 (2020).

可視化

評価指標を選択し、参考グラフ表示ボタンを押下すると選択した指標の参考グラフが表示されます。

The screenshot displays the QGIS interface with a map of residential areas. The left sidebar shows the 'Layer' and 'Function' panels. The 'Function' panel includes 'Folder Creation', 'Evaluation Index Output', 'Visualization Function', and 'Data Output'. The 'Data Catalog' panel shows the 'Visualization Data Selection' and 'Evaluation Index Selection' sections. The 'Reference Graph' window is highlighted with a red box, showing a bar chart titled 'Residential Area Population Density [人/ha]' for the years 2010, 2015, and 2020.

Year	Population Density [人/ha]
2010	33.3
2015	33.9
2020	34.0

可視化機能の実行 についての説明は以上です。

データ出力

機能パネル内の【データ出力】を押下しデータ格納先フォルダを指定します。

The screenshot displays the QGIS interface with the 'Data Output' dialog box open. The dialog box has a field for '出力先フォルダ:' (Output folder) with a red box around the browse button (...). Below the field are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

On the right side, there are two bar charts:

- Top Chart: 居住誘導区域内人口割合 [%]** (Residential guidance area population ratio [%]). The x-axis shows years 2010, 2015, and 2020. The y-axis shows percentages from 0% to 100%. The bars are yellow. Data points: 2010 (56.1%), 2015 (56.3%), 2020 (56.2%).
- Bottom Chart: 居住誘導区域内人口密度 [人/ha]** (Residential guidance area population density [人/ha]). The x-axis shows years 2010, 2015, and 2020. The y-axis shows density from 20 to 35. The bars are yellow. Data points: 2010 (33.3), 2015 (33.9), 2020 (34.0).

In the bottom-left corner of the QGIS window, the '機能' (Tools) panel has the 'データ出力' (Data Output) button highlighted with a red box.

データ出力

OKボタンを押下すると評価指標算出機能で算出した各指標に基づくデータを出力することができます。

The screenshot shows the QGIS interface with the following components:

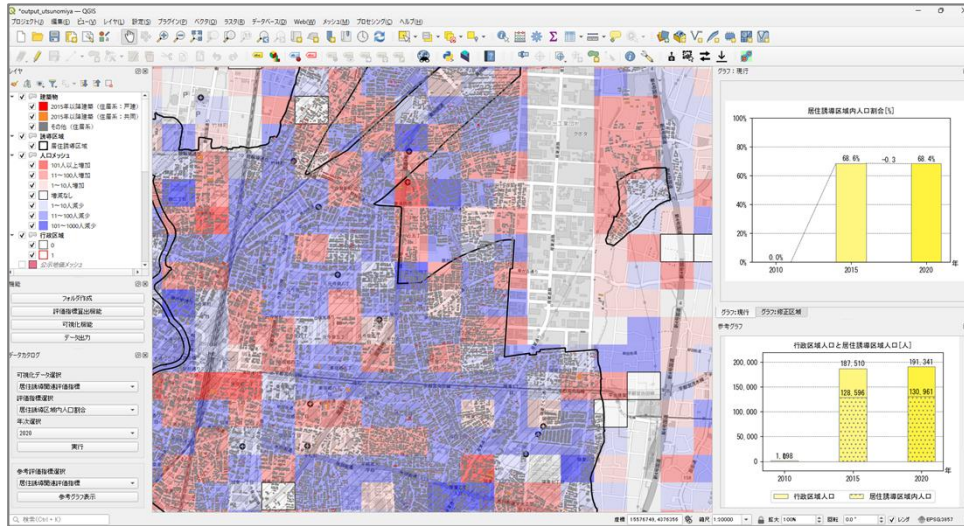
- Map View:** A map of residential zones with various colored overlays representing different indicators.
- Left Panel (Layers/Tools):**
 - レイヤ (Layers):** Includes '建築物' (Buildings) with categories like '2015年以降建築' and '居住誘導区域' (Residential Guidance Area) with categories like '人口メッシュ' (Population Mesh).
 - 機能 (Tools):** Includes 'フォルダ作成' (Create Folder), '評価指標算出機能' (Evaluation Indicator Calculation Function), '可視化機能' (Visualization Function), and 'データ出力' (Data Output).
 - データカタログ (Data Catalog):** Shows '可視化データ選択' (Visualization Data Selection) and '評価指標選択' (Evaluation Indicator Selection) with a dropdown menu set to '居住誘導区域内人口割合' (Population Percentage in Residential Guidance Area) and '年次選択' (Year Selection) set to '2020'.
- Output Dialog:** A dialog box titled '出力' (Output) with the text '出力先フォルダ:' (Output destination folder:) and two buttons: 'OK' (highlighted in red) and 'キャンセル' (Cancel).
- Right Panel (Graphs):**
 - グラフ: 現行 (Graph: Current):** A bar chart titled '居住誘導区域内人口割合 [%]' (Population Percentage in Residential Guidance Area [%]). The x-axis shows years 2010, 2015, and 2020. The y-axis shows percentage from 0% to 100%. Data points: 2010 (56.1%), 2015 (56.3%), 2020 (56.2%).
 - グラフ: 修正区域 (Graph: Correction Area):** A bar chart titled '居住誘導区域内人口密度 [人/ha]' (Population Density in Residential Guidance Area [人/ha]). The x-axis shows years 2010, 2015, and 2020. The y-axis shows density from 20 to 35. Data points: 2010 (33.3), 2015 (33.9), 2020 (34.0).

データ出力機能 についての説明は以上です。

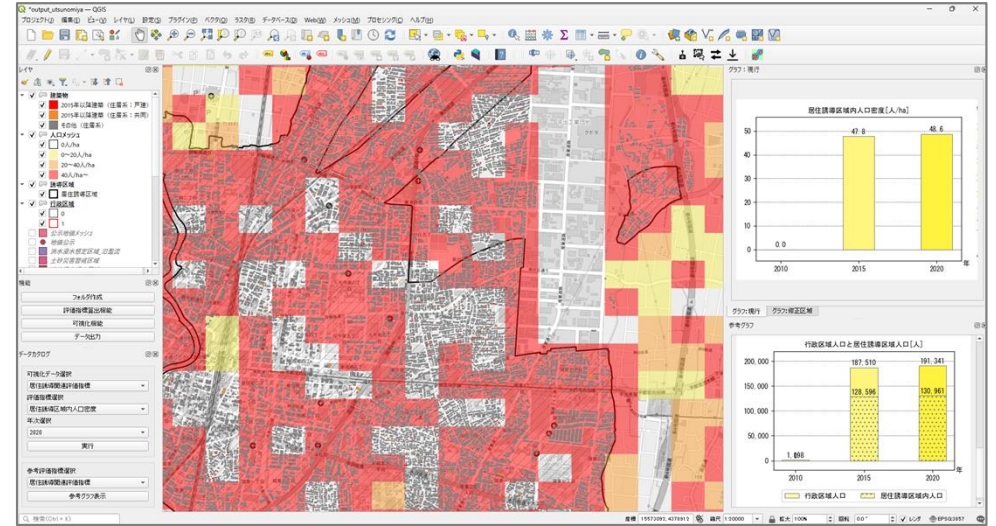
4. 本ツールの表示イメージ

1. 居住誘導区域関連

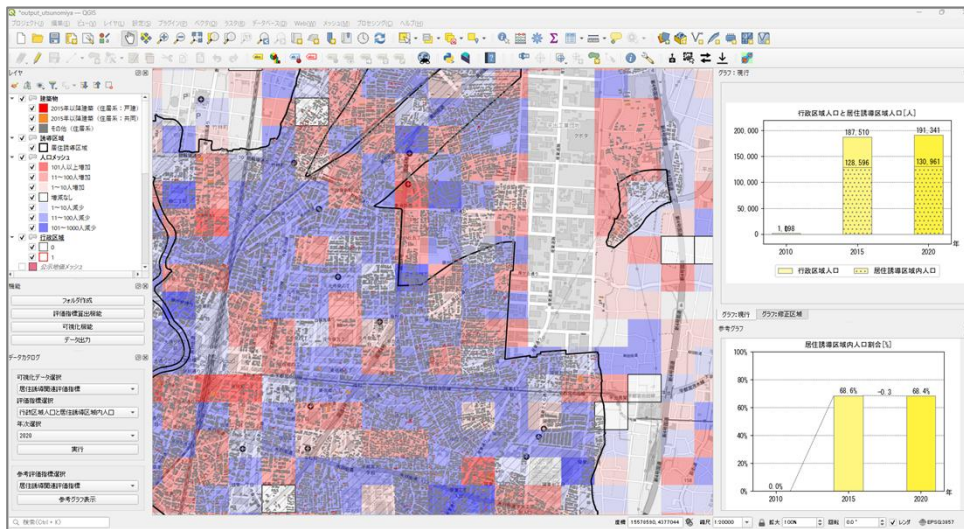
1-1 居住誘導区域内人口割合



1-2 居住誘導区域内人口割合（トレンド）

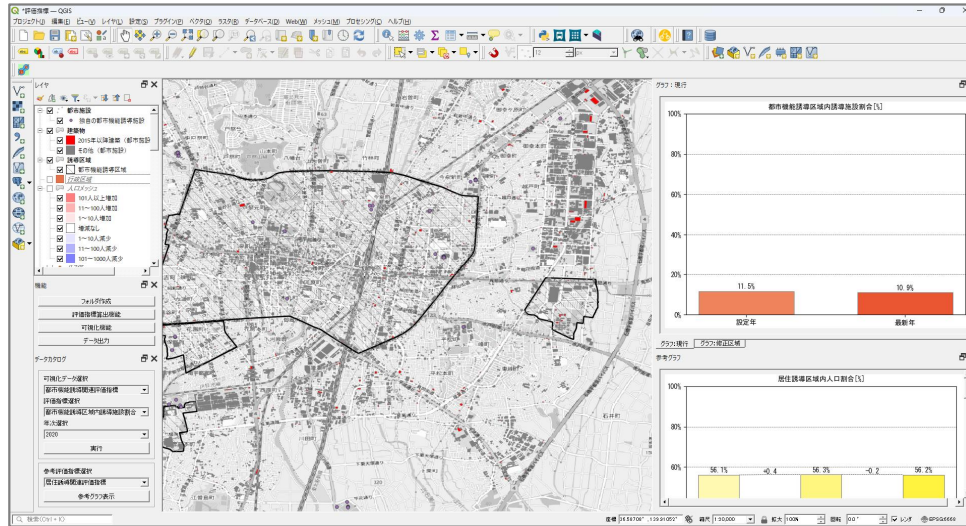


1-3 居住誘導区域内人口密度

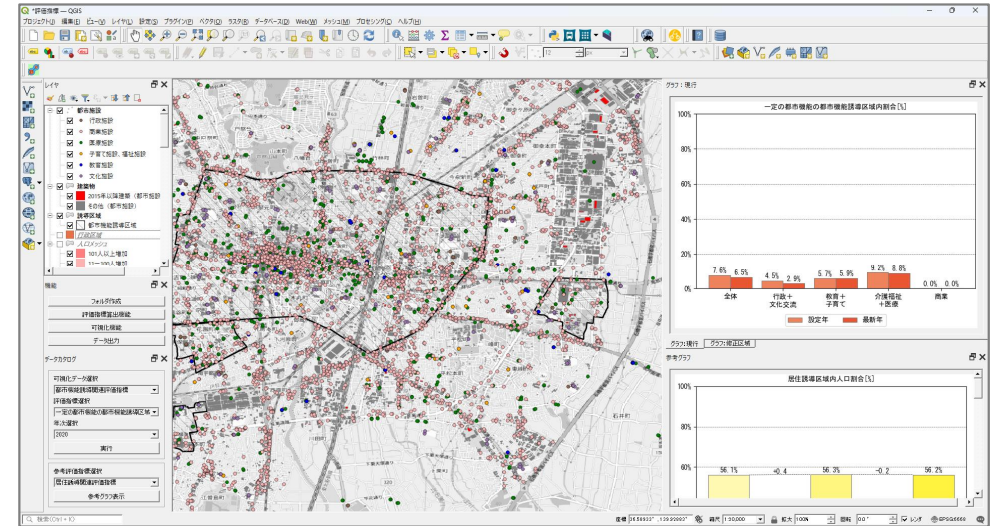


2. 都市機能誘導区域関連

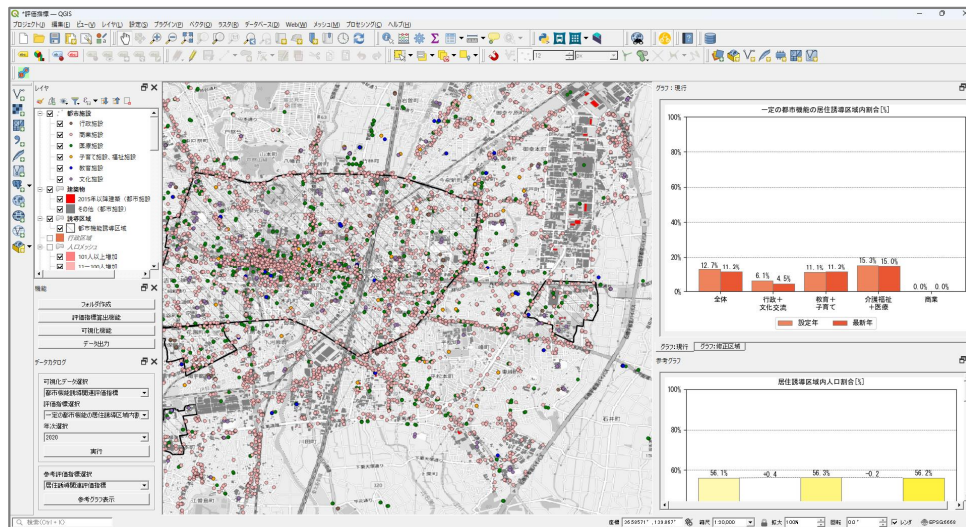
2-1 都市機能誘導区域内誘導施設割合



2-2 一定の都市機能の都市機能誘導区域内割合

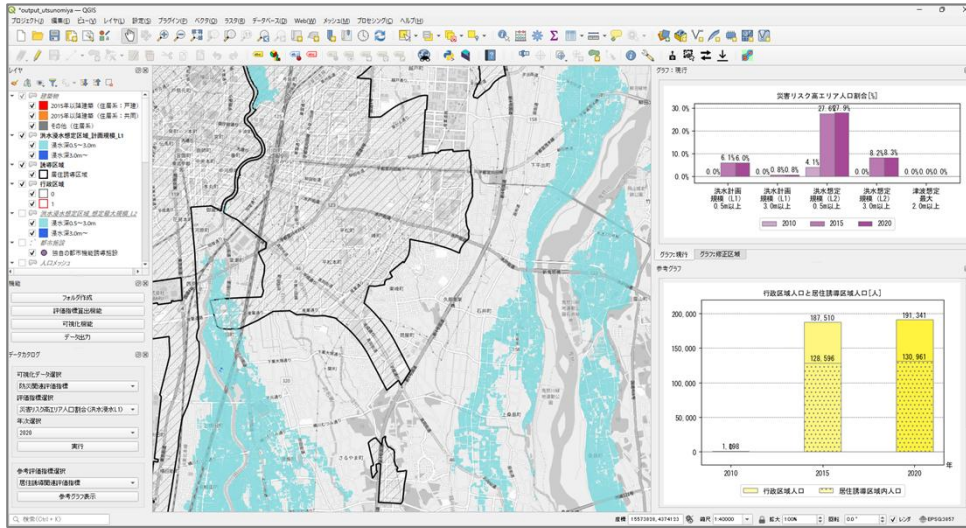


2-3 一定の都市機能の居住誘導区域内割合

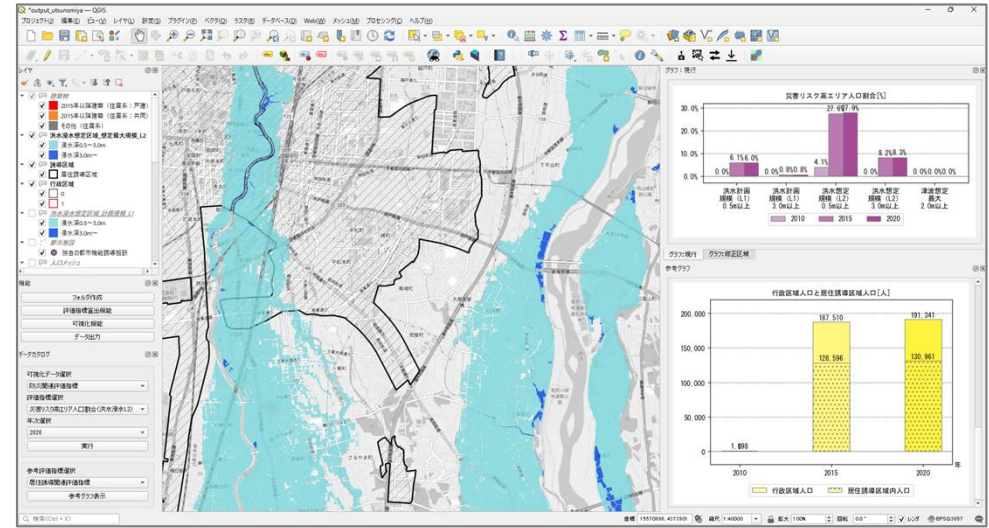


3. 防災関連

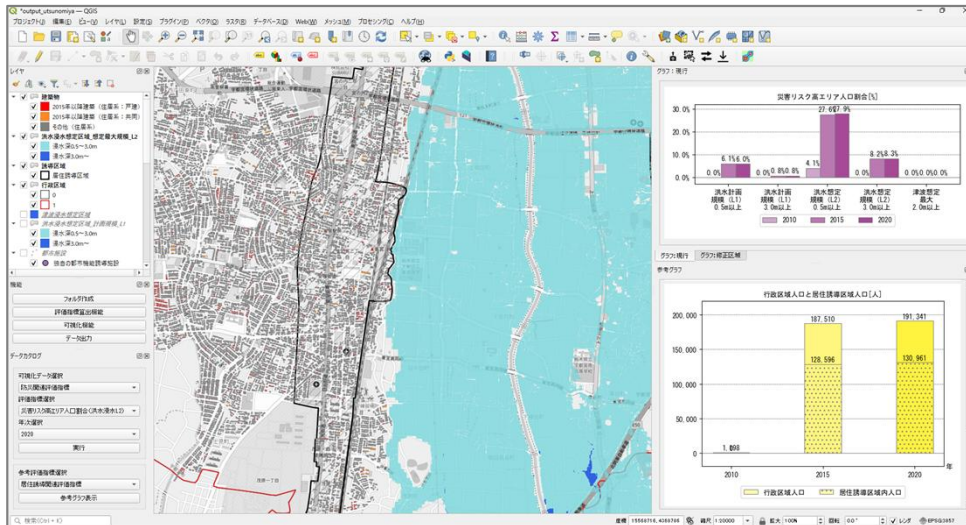
3-1 災害リスク高エリア人口割合（洪水浸水L1）



3-2 災害リスク高エリア人口割合（洪水浸水L2）

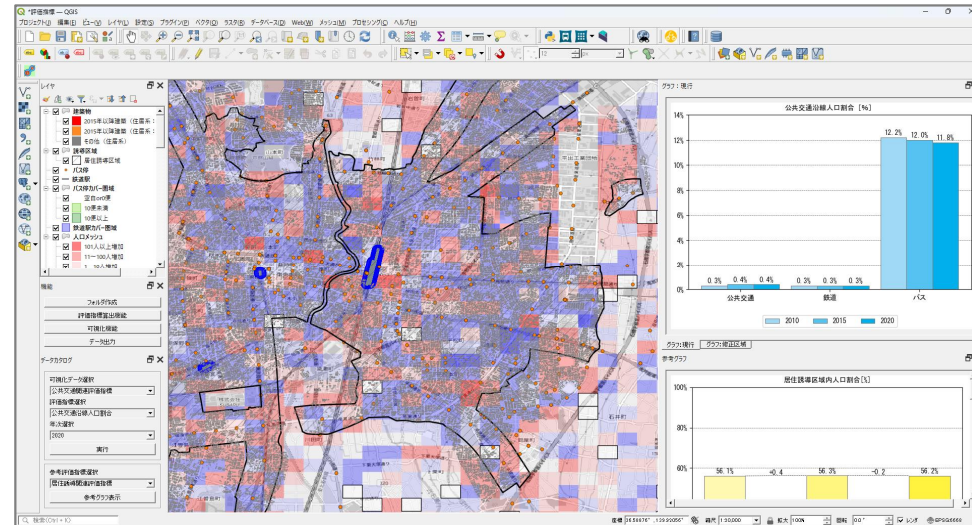


3-3 災害リスク高エリア人口割合（津波浸水）



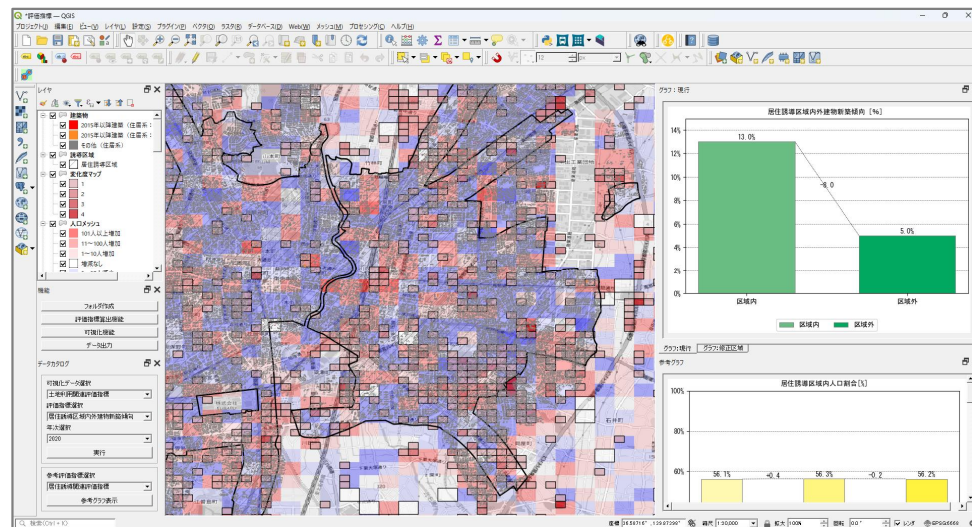
4. 公共交通関連

4-1 公共交通沿線人口割合



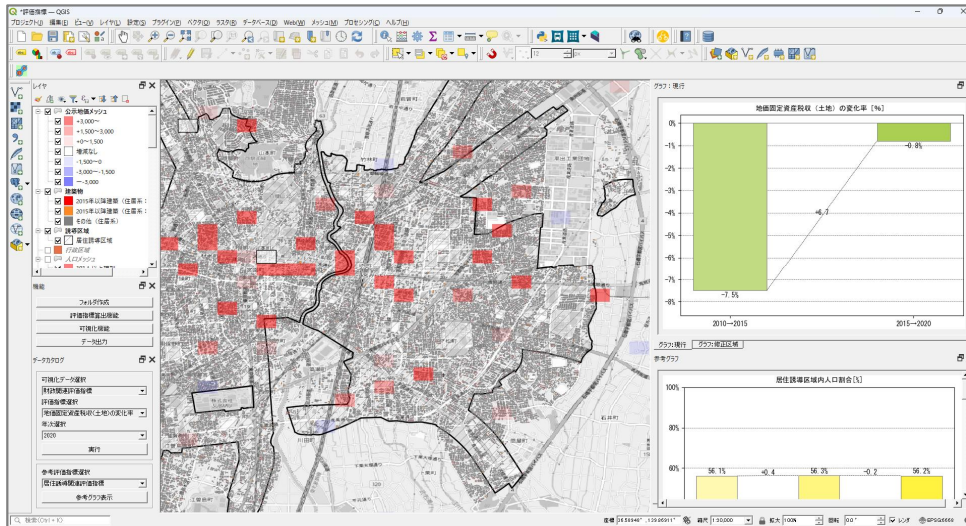
5. 土地利用関連

5-1 居住誘導区域内外建物新築傾向

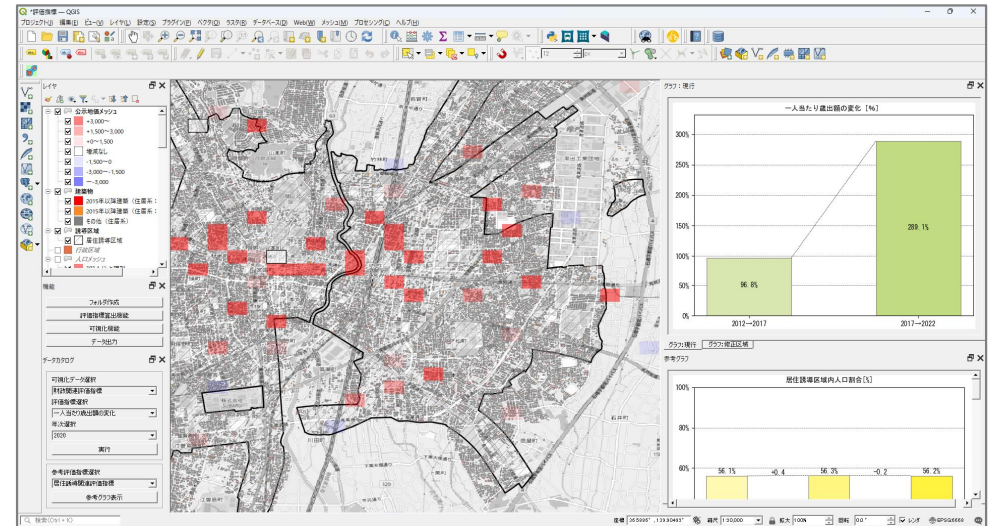


6. 財政関連

6-1 地価固定資産税収（土地）の変化率

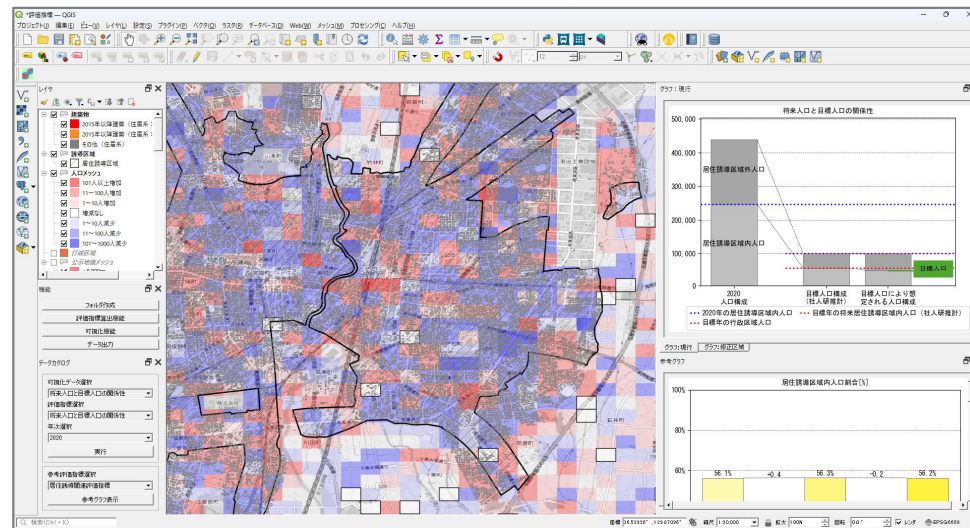


6-2 一人当たり歳出額の変化



7. 将来人口と目標人口の関係性

7-1 将来人口と目標人口の関係性



5. 本ツールの拡張機能と応用操作

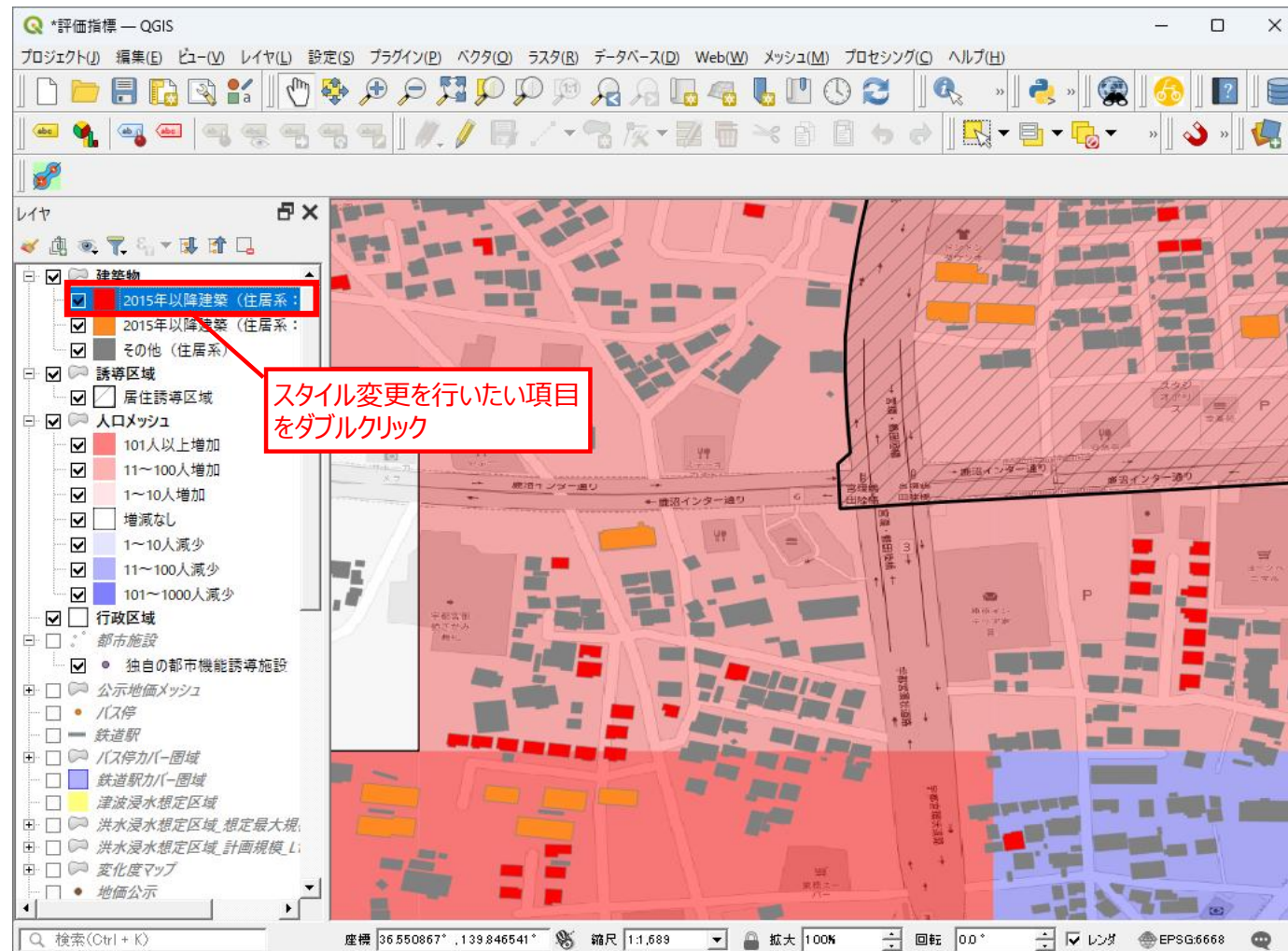
昨年度の実証実験（宇都宮市）や今年度の事前体験会（9市町）を通じて把握された有用性等に関する課題に対し、今年度のシステム改良にて以下の機能を追加しました。

▼実証実験等を通じて得られた課題と拡張機能の対応

実証実験等を通じて得られた課題	対応策（追加機能）
<p>各データのマップ表示スタイル（配色や線種等）が固定されており、QGISの機能で一時的なカスタマイズは可能であるが、「可視化機能」ボタンを押下すると、変更後のスタイルが保持されない（デフォルトのスタイルに戻る）。</p>	<p>(1)スタイル変更保持機能 QGISの機能を使ってカスタマイズしたスタイルを保持する機能を追加。</p>
<p>対象地域に限定していたため、人口増減や土地利用に影響を及ぼすことが想定される隣接自治体の状況が把握できず、課題分析が行いづらい。</p>	<p>(2)隣接自治体データ表示機能 「入力データ」の中に、隣接自治体のデータ（メッシュデータ、人口データ、施設データ等）を格納することで、可視化できる機能を追加。</p>
<p>可視化できる都市機能誘導施設が、国土数値情報等から得られる施設データに限られており、各自治体が設定している「都市機能誘導施設」とは異なるため、立地適正化計画との整合性が図れておらず評価しづらい。</p>	<p>(3)独自都市機能誘導施設の可視化機能 「まちづくりの健康診断」における評価指標の変更も踏まえ、各自治体が設定する「都市機能施設」を読み込み、可視化、指標化する機能を追加。</p>
<p>「居住誘導区域」の見直しに際し、見直し後の評価指標（居住誘導区域人口割合など）を算出できる機能があると改定の際に有用。</p>	<p>(4)居住誘導区域見直し後の指標化機能 見直し後の「居住誘導区域変更(案)」のshapファイル（※ユーザー側で別途作成・準備が必要です）をインポートフォルダに格納すれば、見直し後の評価指標も算出できる機能を追加。</p>
<p>Plateauデータを整備している自治体は限定的であるため、多くの未整備自治体が利活用できず、全国展開しづらい。</p>	<p>(5)都市計画基礎調査に基づく指標化機能 Plateauデータ未整備の自治体でも活用できるように、都市計画基礎調査のデータを基に、所定フォーマットで入力データを格納すれば、指標化・可視化ができる機能を追加。</p>

昨年度は、各データのマップ表示スタイル（配色や線種等）が固定されており、QGISの機能で一時的なカスタマイズは可能であるものの、「可視化機能」ボタンを押下すると、変更後のスタイルが保持されず（デフォルトのスタイルに戻ってしまい）使いにくい状況でした。

⇒QGIS機能で**カスタマイズしたスタイルを保持する機能**を追加しました。



昨年度は、各データのマップ表示スタイル（配色や線種等）が固定されており、QGISの機能で一時的なカスタマイズは可能であるものの、「可視化機能」ボタンを押下すると、変更後のスタイルが保持されず（デフォルトのスタイルに戻ってしまい）使いにくい状況でした。

⇒QGIS機能で**カスタマイズしたスタイルを保持する機能**を追加しました。

The image shows two overlapping dialog boxes from QGIS. The background dialog is the 'Symbol Selector' (シンボルセレクト) window, and the foreground dialog is the 'Fill Color Selection' (塗りつぶし色を選択) window. Red boxes and arrows highlight specific elements and provide instructions.

「シンボルセレクト」ダイアログが表示されるので、「塗りつぶし」下部に表示されている項目をクリック

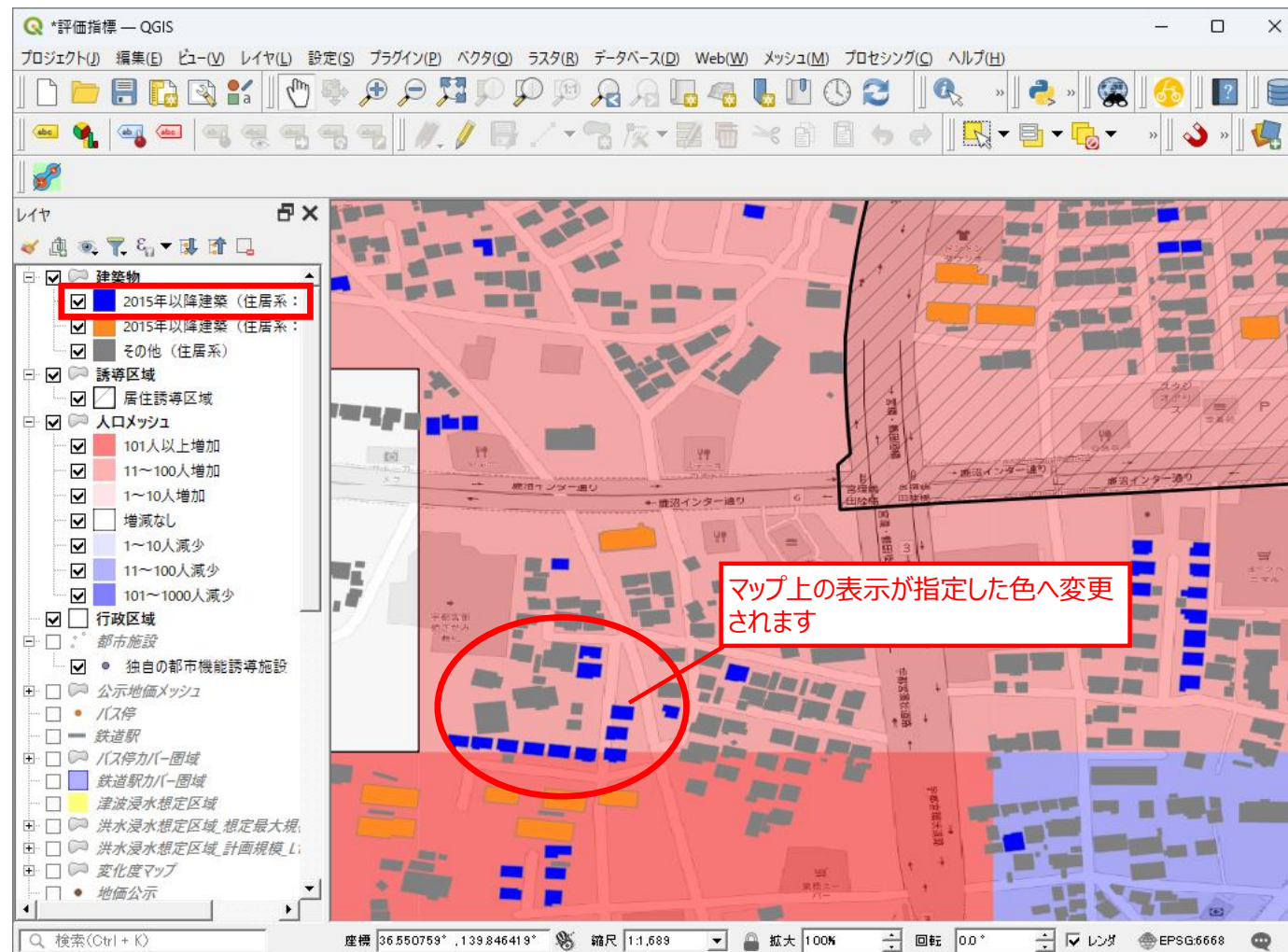
「塗りつぶし色」をクリックすると「塗りつぶし色を選択」ダイアログが表示される

「塗りつぶし色」や「ストローク色（線色）」、「ストローク幅（線幅）」等の変更を行い、設定が完了したら「OK」をクリック

The 'Symbol Selector' dialog shows a red square symbol selected. The 'Fill Color Selection' dialog shows a list of colors with the red color (#e23835) selected. The 'OK' button in both dialogs is highlighted with a red box.

昨年度は、各データのマップ表示スタイル（配色や線種等）が固定されており、QGISの機能で一時的なカスタマイズは可能であるものの、「可視化機能」ボタンを押下すると、変更後のスタイルが保持されず（デフォルトのスタイルに戻ってしまい）使いにくい状況でした。

⇒QGIS機能で**カスタマイズしたスタイルを保持する機能**を追加しました。



表示スタイル変更 についての説明は以上です。

昨年度のマップ表示は、対象地域に限定していたため、人口増減や土地利用に影響を及ぼすことが想定される隣接自治体の状況が把握できず、課題分析も行いづらい状況でした。

⇒今年度の改良により、「インプットデータ」の中に、**隣接自治体のデータ（メッシュデータ、人口データ、施設データ等）を格納することで可視化できる機能**を追加しました。

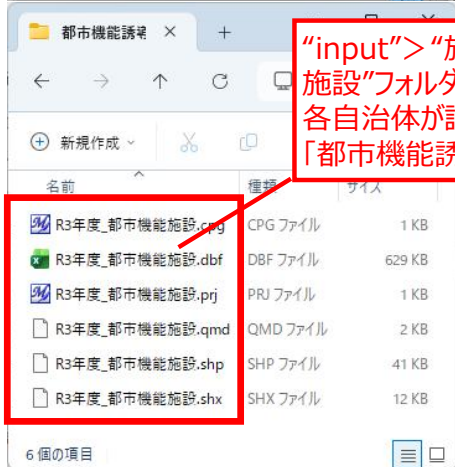
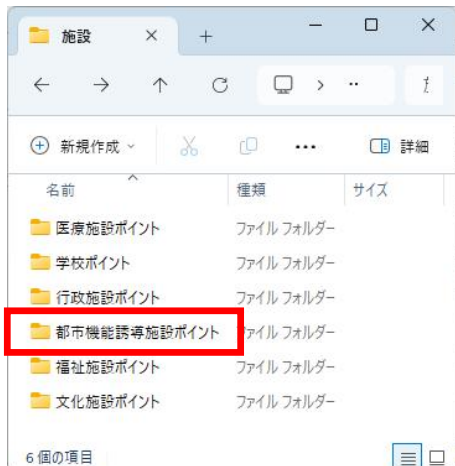
「フォルダ作成」機能により生成されたinputフォルダ内にある「250mメッシュ」、「250mメッシュ人口」、「ゾーンポリゴン」フォルダ内に表示を行いたい隣接自治体のデータも格納し、「評価指標算出」を行う

The screenshot shows the QGIS interface. On the left, a file explorer window displays the 'input' folder structure. The folders '250mメッシュ' and 'ゾーンポリゴン' are highlighted with red boxes. The main map window shows a spatial analysis of a city area, with various layers visible in the legend, including buildings, population changes, and administrative boundaries. The map is overlaid with a grid and color-coded areas representing different data layers.

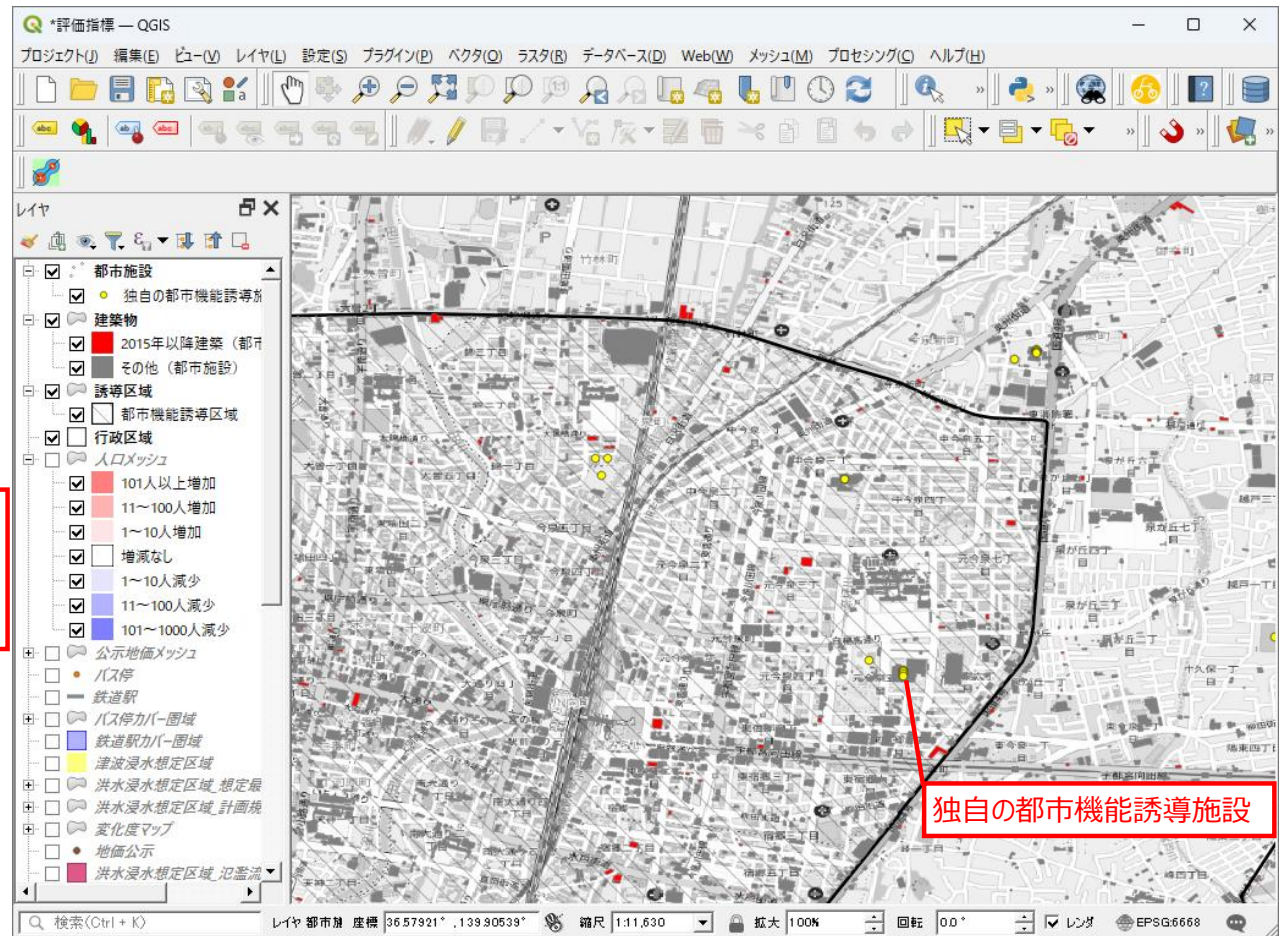
隣接自治体データ表示 についての説明は以上です。

昨年度は、可視化できる都市機能誘導施設が、国土数値情報等から得られる施設ポイントデータに限られており、各自治体が設定している「都市機能誘導施設」とは異なるため、立地適正化計画との整合性が図れておらず、評価しづらい状況でした。

⇒「まちづくりの健康診断」における評価指標の変更も踏まえ、**各自治体が設定する「都市機能施設」を読み込み、可視化、指標化する機能**を追加しました。



“input”> “施設”> “都市機能誘導施設”フォルダ内に各自治体が設定する「都市機能誘導施設」データを格納



「居住誘導区域」の見直しに際し、見直し後の評価指標（居住誘導区域人口割合など）を算出できる機能があると改定の際に有用であるとの意見を多数いただきました。

⇒見直し後の「居住誘導区域変更(案)」のshapファイル（※ユーザー側で別途作成・準備が必要です）をインプットフォルダに格納すれば、**見直し後の評価指標も算出できる機能を追加**しました。

The image shows two screenshots of a software interface. The left screenshot shows a '機能' (Function) menu with '評価指標算出機能' (Evaluation Index Calculation Function) highlighted. The right screenshot shows the '評価指標算出' (Evaluation Index Calculation) dialog box with several fields and buttons. Red boxes and arrows point to specific elements with explanatory text.

「評価指標算出機能」ボタンを押下すると「評価指標算出」ダイアログが表示される

「変更後の誘導区域」を選択

「変更後の誘導区域」データが格納されているフォルダを選択

アウトプットデータを格納するフォルダを選択

“OK”ボタンをクリックすると変更後の誘導区域での評価指標算出が開始される

機能

フォルダ作成

評価指標算出機能

可視化機能

データ出力

評価指標算出

誘導区域の種類を選択

変更前の誘導区域 **変更後の誘導区域**

インプットデータ格納フォルダ

C:/都市構造UC09_UIUX確認会/input2

誘導区域データフォルダ

...

アウトプットデータ格納フォルダの指定

...

閾値設定(バス・m)

閾値設定(鉄道・m)

閾値設定(避難施設・m)

OK キャンセル

5. 本ツールの拡張機能と応用操作 (5) 都市計画基礎調査に基づく指標化機能 64

PLATEAUデータの整備を前提としていましたが、PLATEAUデータを整備している自治体は限定的であるため、多くの未整備自治体が利活用できずに全国展開しづらい状況でした。

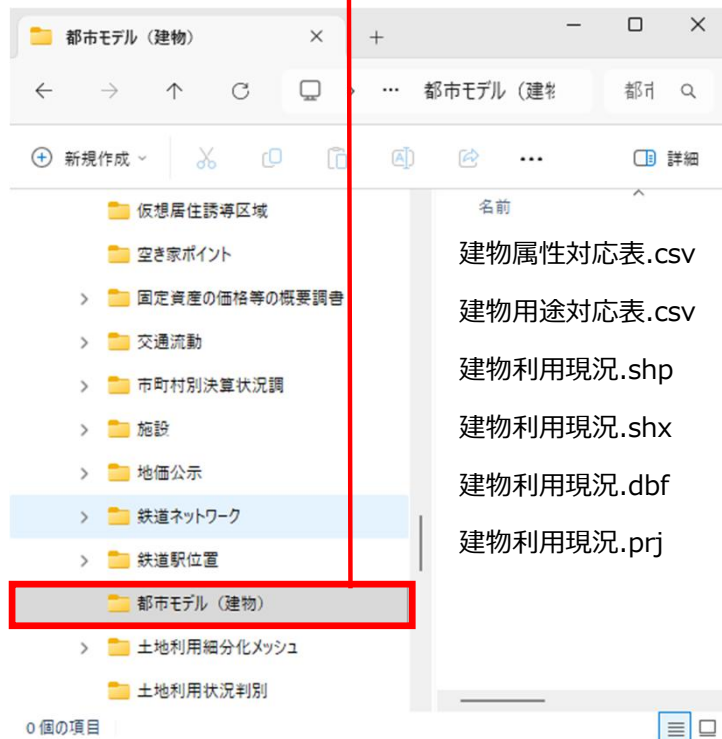
PLATEAUデータ未整備の自治体でも活用できるよう、**都市計画基礎調査のデータを基に、所定フォーマットでインプットデータに格納すれば、指標化・可視化ができる機能を追加**しました。

基本的には、当ツールで使用する**属性定義**（下図 赤字）への変換をする機能となります。



PLATEAUの建築物データがない場合は、都市計画基礎調査の建物利用調査結果図形ファイルと設定ファイルを所定の場所に格納し、指標算出をすることで対応が可能となります。

「フォルダ作成」機能により生成されたinputフォルダ内にある“都市モデル(建物)”フォルダ内に以下ファイルを格納する。
 ・建物利用現況調査結果図形データ (SHAPE形式)
 ・“建物属性対応表.csv”
 ・“建物用途対応表”



■ 建物利用現況調査結果図形ファイル : SHAPE形式

図形ファイルの形式はSHAPE形式となり、拡張子が違う4ファイルが最低限必要となります。(*.shp / *.shx / *.dbf / *.prj)

■ 建物属性対応表.csv

自治体で整備された建物利用現況調査結果データ (SHAPE形式) の属性項目名称を記載してください。実際のSHAPE形式上の項目名を記載する必要があります。

変換先項目説明	変換先項目名称	建物利用現況調査結果データ項目名称
建物用途	usage	youto
地上階数	storeysAboveGround	chijou
地下階数	storeysBelowGround	chika
延床面積 (㎡)	totalFloorArea	nobeyuka
建築年 (年:西暦)	yearOfConstruction	chikunen

■ 建物用途対応表.csv

自治体で整備された建物利用現況調査結果データ (SHAPE形式) の建物用途のデータ値を記載してください。実際のSHAPE形式上の項目名を記載する必要があります。また、対応するコードが複数ある場合は、レコードを追加して記載してください。

変換先項目説明	変換先項目名称	建物用途データ値
専用住宅	住宅	411
アパート、マンション、長屋、寮等	共同住宅	412
商業施設	店舗	402
商業施設	店舗	403
住宅と商業施設等の併用	店舗等併用住宅	413
共同住宅と商業施設等の併用	店舗等併用共同住宅	414

6. 本ツールの業務への活用 (まちづくりの健康診断との対応)

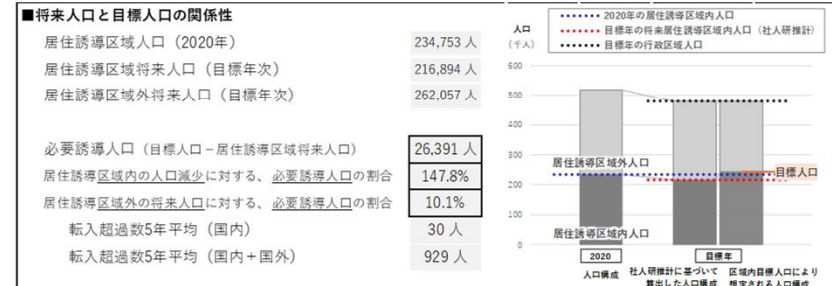
1. 居住誘導区域関連

評価用レポート 様式(案)

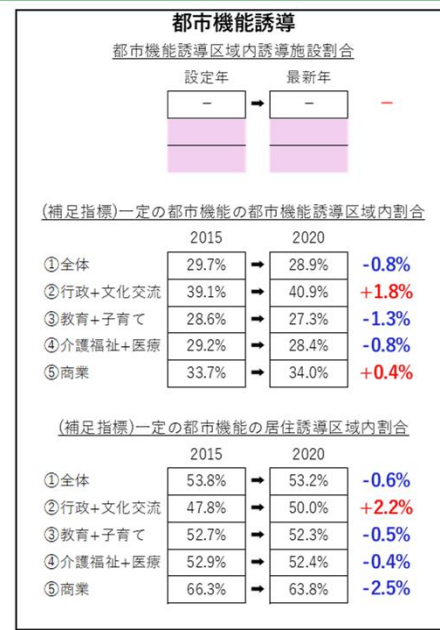
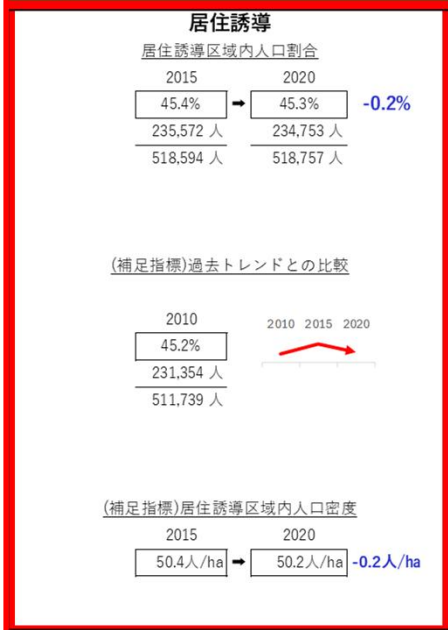
自治体選択欄: **XXX市** ※必ず最初に自治体を選択してください

基礎情報

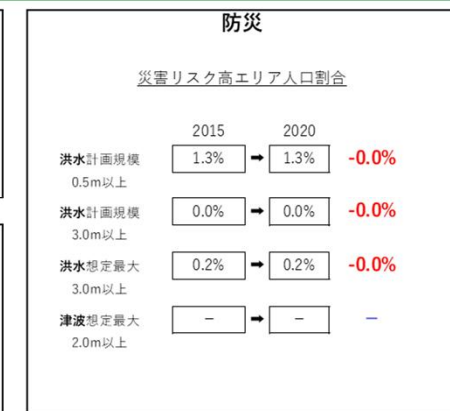
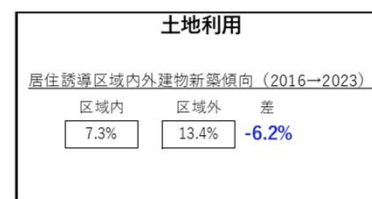
■立地適正化計画 作成済 ■GISデータ 居住誘導区域shp 提出済 都市機能誘導区域shp 提出済	■立地適正化計画作成・変更年月 170331 190329 ■防災指針作成・変更年月 - - ■地域公共交通計画の有無 -	■市町村都市計画マスタープラン最終更新年月日 190325 ■都市計画区域マスタープラン最終更新年月日 宇都宮 線引き -																																																				
■最新人口・面積データ <table border="1"> <tr><th>行政区域</th><th>人口</th><th>割合</th><th>面積</th><th>割合</th></tr> <tr><td>都市計画区域</td><td>518,757人</td><td>100.0%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>市街化区域</td><td>515,800人</td><td>99.4%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>用途地域</td><td>427,200人</td><td>82.4%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>(除く、工業、工専)</td><td>414,454人</td><td>79.9%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>居住誘導区域</td><td>401,589人</td><td>77.4%</td><td>81.6 km²</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>234,753人</td><td>45.3%</td><td>46.7 km²</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>90,709人</td><td>17.5%</td><td>17.3 km²</td><td>4.2%</td></tr> </table>	行政区域	人口	割合	面積	割合	都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%	市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%	用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%	(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%	居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%	都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%	都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%	■将来人口 <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>人口</th></tr> <tr><td>2025</td><td>505,490人</td></tr> <tr><td>2030</td><td>497,708人</td></tr> <tr><td>2035</td><td>488,853人</td></tr> <tr><td>2040</td><td>478,951人</td></tr> <tr><td>2045</td><td>467,808人</td></tr> </table>	年次	人口	2025	505,490人	2030	497,708人	2035	488,853人	2040	478,951人	2045	467,808人	■居住誘導区域の目標人口 目標年次 近い年次を選択→ 2040年 居住誘導区域の目標人口 243,285人
行政区域	人口	割合	面積	割合																																																		
都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%																																																		
市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%																																																		
用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%																																																		
(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%																																																		
居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%																																																		
都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%																																																		
都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%																																																		
年次	人口																																																					
2025	505,490人																																																					
2030	497,708人																																																					
2035	488,853人																																																					
2040	478,951人																																																					
2045	467,808人																																																					
■届出件数 居住誘導区域に関する届出件数(都市再生特別措置法第8条第1項) 7件 都市機能誘導区域に関する誘導施設の届出件数(都市再生特別措置法第108条第1項) 0件 都市機能誘導区域に関する誘導施設休廃止の届出件数(都市再生特別措置法第108条の2第1項) 39件																																																						



直接指標



間接指標



本ツールは、「まちづくりの健康診断」で示される評価指標に関し、確認や分析の深掘りに役立てて頂くことを目的の一つとしています。ここでは、本ツールを活用し、深掘りする確認・分析の観点や方法について整理します。

まちづくり健康診断		本ツールでの確認方法
居住誘導区域関連	直接指標①： 居住誘導区域内人口割合	「居住誘導区域」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、居住誘導区域内または区域外で 局所的に増減が発生している場所をメッシュ単位で特定 することができます。 また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、 人口増減の要因が新築行為によるものか否かを確認 できます。
	補足指標①-1： 過去トレンドとの比較	「居住誘導区域」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、居住誘導区域内または区域外で 局所的に増減が発生している場所をメッシュ単位で特定 することができます。 また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、 人口増減の要因が新築行為によるものか否かを確認 できます。
	補足指標①-2： 居住誘導区域内人口密度	「居住誘導区域」と「メッシュ単位の人口密度」を重ね合わせることで、居住誘導区域内において 40人/ha未満の低密度箇所をメッシュ単位で特定 することができます。 また、 人口が多い（40人/ha以上の）メッシュが居住誘導区域内に集積しているか否かを面的に確認 することができます。
都市機能誘導区域関連	直接指標②： 都市機能誘導区域内誘導施設割合	「都市機能誘導区域」と「都市機能誘導施設（自治体設定）」を重ね合わせることで、指標の 増減要因を施設単位で確認 することができます。 また、区域外にて「 都市機能誘導施設（自治体設定） 」の 新規立地が発生していないかを施設単位で確認 することができます。
	補足指標②-1： 一定の都市機能の都市機能誘導区域内割合	「都市機能誘導区域」と「都市機能誘導施設（機能別）」を重ね合わせることで、指標の 増減要因を施設単位で確認 することができます。 また、区域外にて「 都市機能誘導施設（機能別） 」の 新規立地が発生していないかを施設単位で確認 することができます。
	補足指標②-2： 一定の都市機能の居住誘導区域内割合	「居住誘導区域」と「都市機能誘導施設（機能別）」を重ね合わせることで、指標の 増減要因を施設単位で確認 することができます。 また、区域外にて「 都市機能誘導施設（機能別） 」の 新規立地が発生していないかを施設単位で確認 することができます。
公共交通関係	間接指標①： 公共交通沿線人口割合	「公共交通圏域」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、 公共交通沿線または沿線外のどこで人口増減が発生しているかをメッシュ単位で特定 することができます。 また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、 人口増減の要因が新築行為によるものか否かを確認 できます。
防災関連	間接指標②： 災害リスク（洪水・津波）高エリア人口割合	「浸水想定区域（洪水・津波）」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、 浸水想定区域のどこで人口増加が発生しているかをメッシュ単位で特定 することができます。 また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、 人口増加の要因が新築行為によるものか否かを確認 できます。
土地利用関連	間接指標③： 居住誘導区域内外建物新築傾向（新築指数）	「居住誘導区域」と「変化度マップ」を重ね合わせることで、区域内または区域外の どこで土地利用の変化が生じているかをメッシュ単位で特定 することができます。 また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、 人口増加の要因が新築行為によるものか否かを確認 できます。
財政関連	間接指標④： 地価固定資産税収（土地）の変化	「居住誘導区域」と「メッシュ単位の公示地価」「都市機能誘導施設」「公共交通圏域」を重ね合わせることで、 公共施設整備と地価向上の関係性をメッシュ単位で把握 できます。

1. 居住誘導区域関連

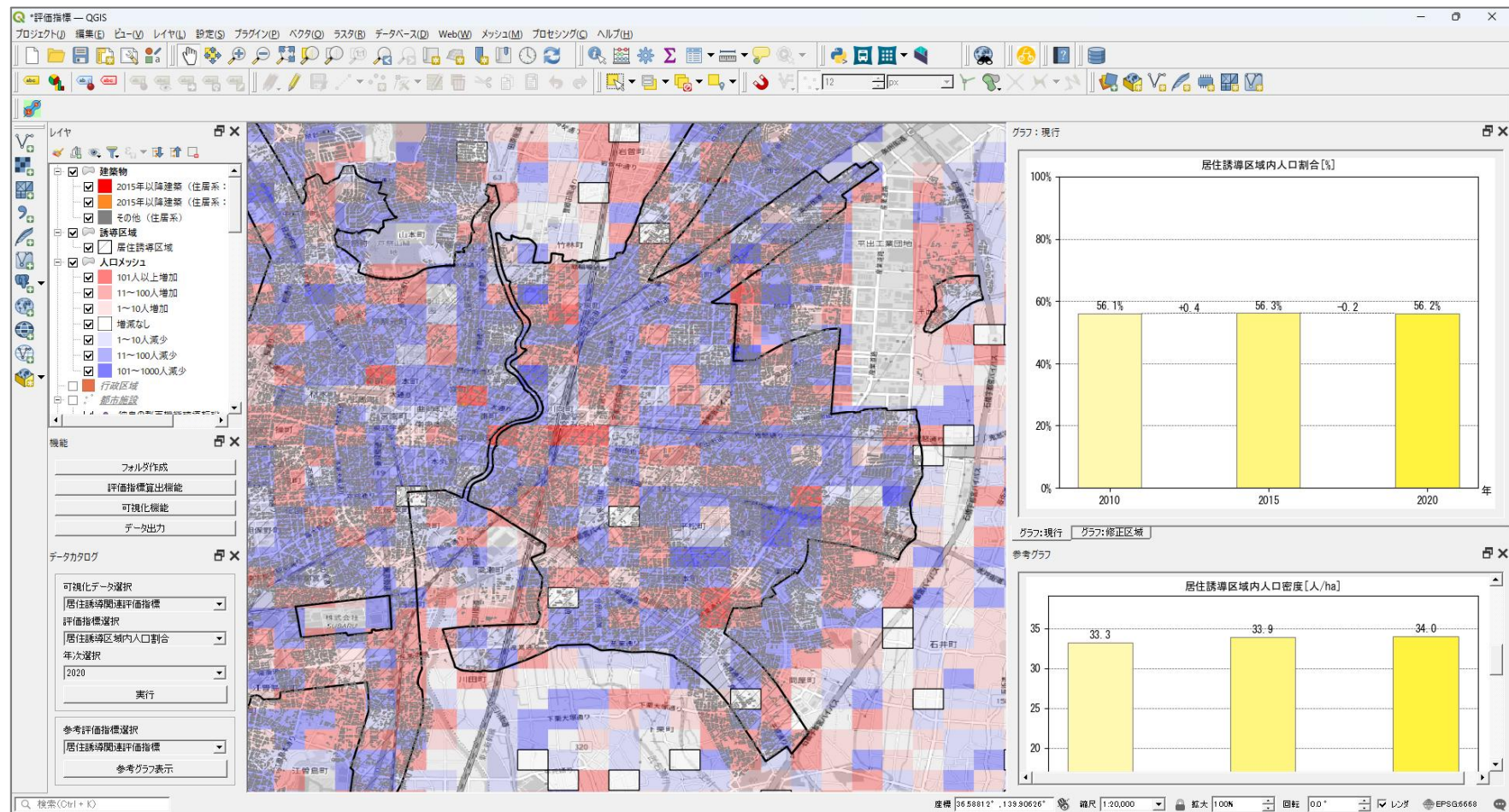
直接指標① 居住誘導区域内人口割合

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

居住誘導区域内または区域外の人口増減が局所的に発生している箇所はあるか？ またその要因は何か？

【本ツールでの確認方法】

「居住誘導区域」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、居住誘導区域内または区域外で局所的に増減が発生している場所をメッシュ単位で特定することができます。
また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、人口増減の要因が新築行為によるものか否かを確認できます。



1. 居住誘導区域関連

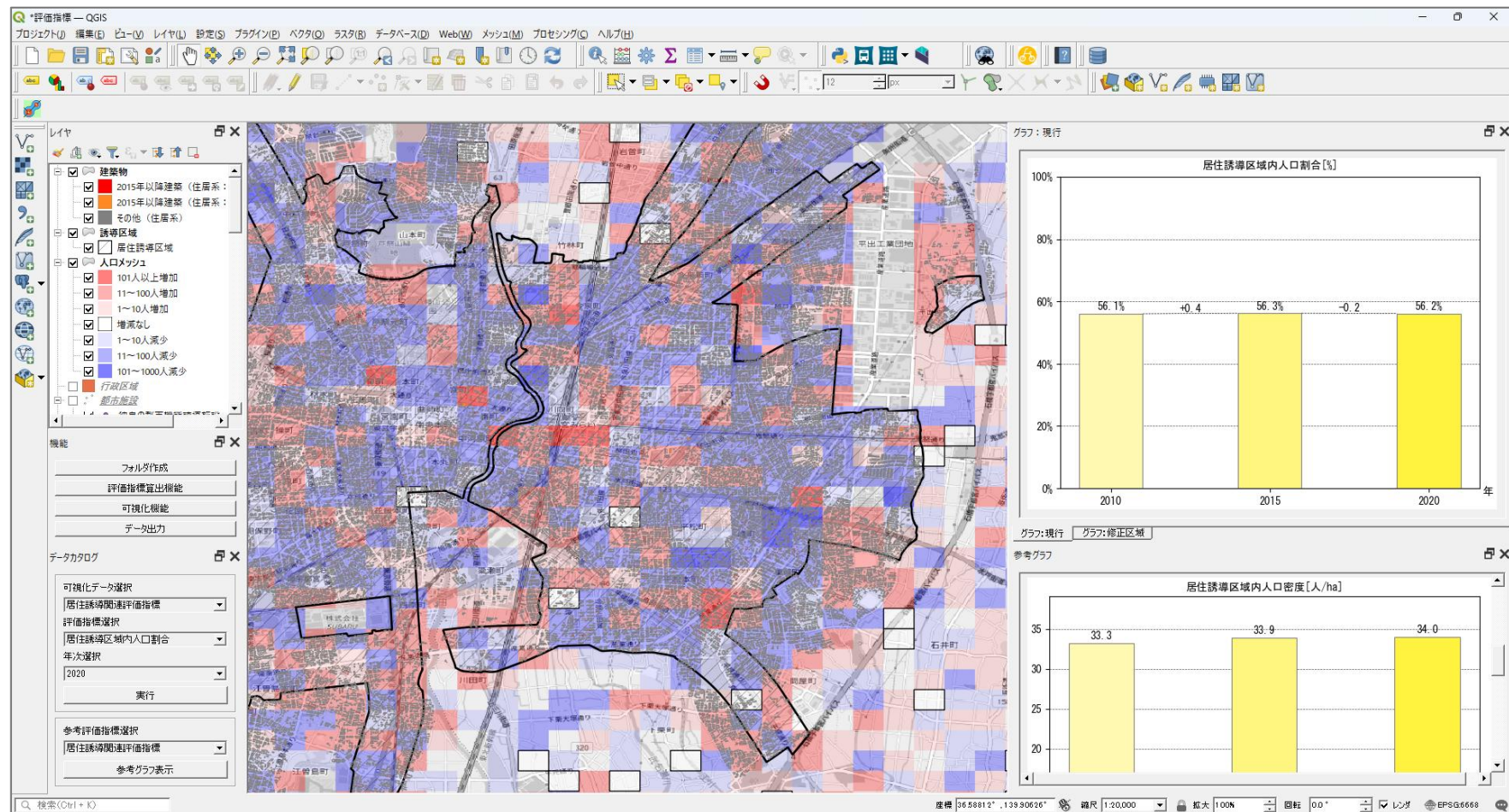
補足指標①- 1 過去トレンドとの比較

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

居住誘導区域内または区域外の人口増減が局所的に発生している箇所はあるか？ またその要因は何か？

【本ツールでの確認方法】

「居住誘導区域」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、居住誘導区域内または区域外で局所的に増減が発生している場所をメッシュ単位で特定することができます。
また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、人口増減の要因が新築行為によるものか否かを確認できます。



1. 居住誘導区域関連

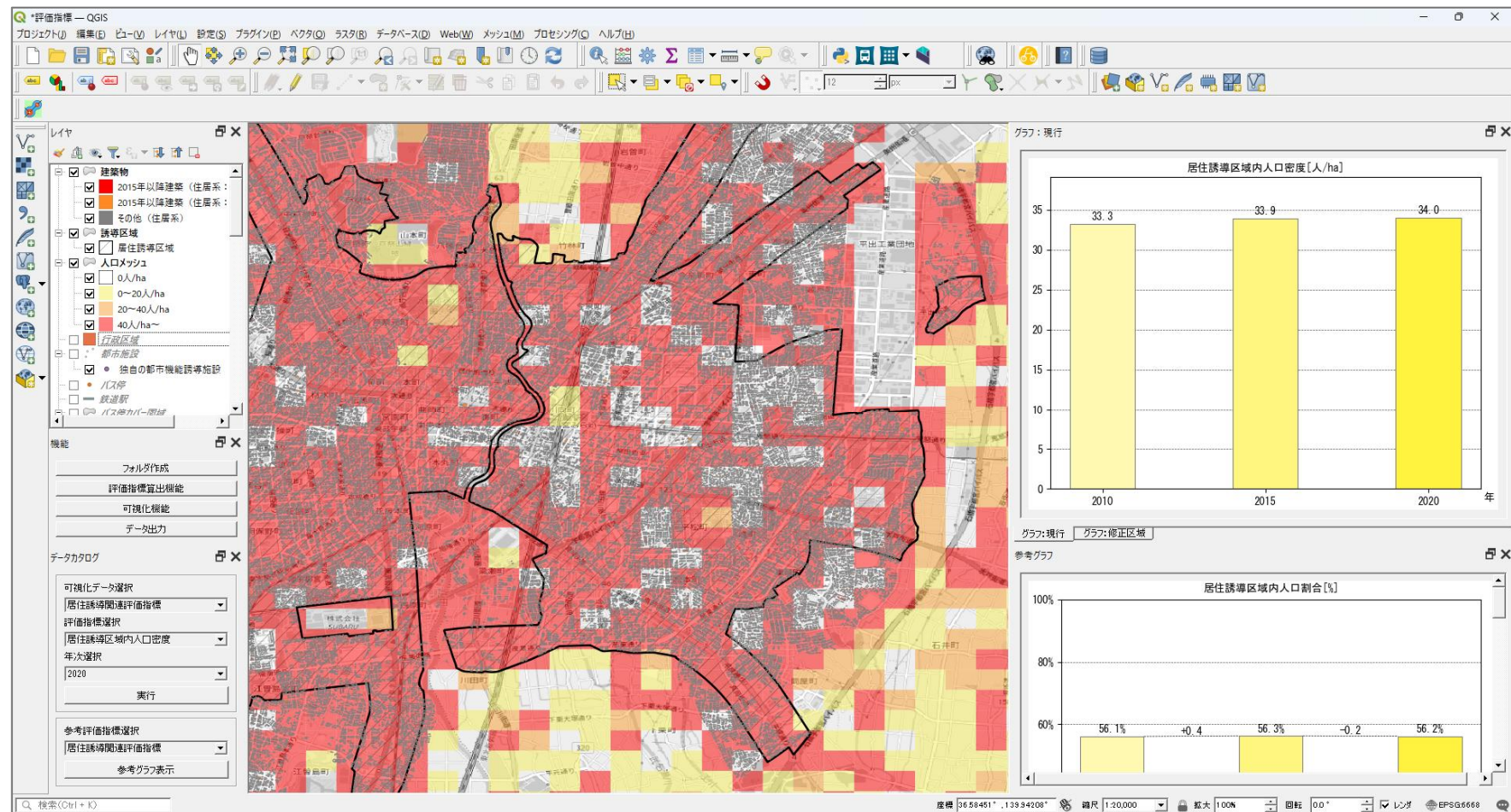
補足指標①-2 居住誘導区域内人口密度

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

居住誘導区域内で局所的に人口密度が低い箇所が無いか？
 誘導・維持したい都市機能の確保に必要な人口集積が確保できているか？
 周辺市町村で急激な人口密度の減少が起きていないか？

【本ツールでの確認方法】

「居住誘導区域」と「メッシュ単位の人口密度」を重ね合わせることで、居住誘導区域内において**40人/ha未満の低密度箇所をメッシュ単位で特定**することができます。
 また、**人口が多い（40人/ha以上の）メッシュが居住誘導区域内に集積**しているか否かを面的に確認することができます。



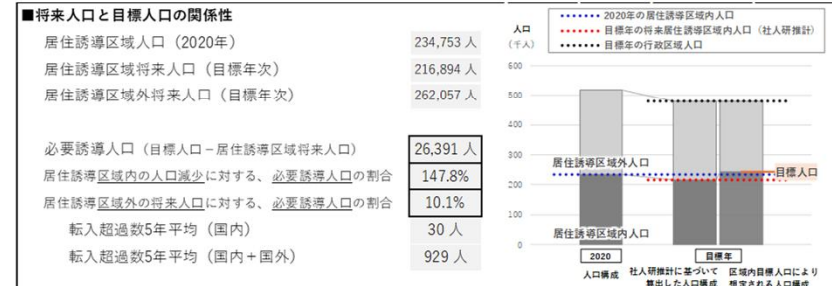
2. 都市機能誘導区域関連

評価用レポート 様式(案)

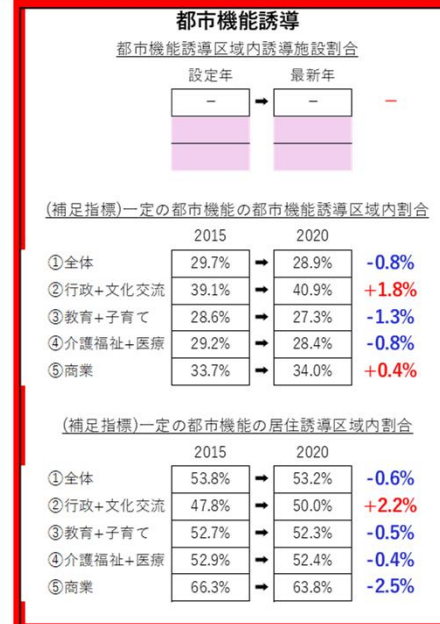
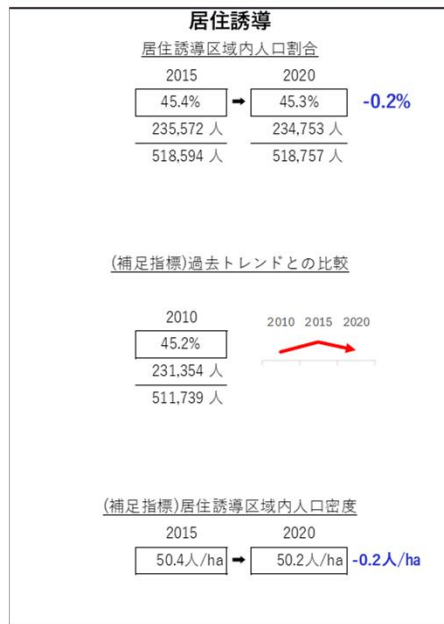
自治体選択欄: **XXX市** ※必ず最初に自治体を選択してください

基礎情報

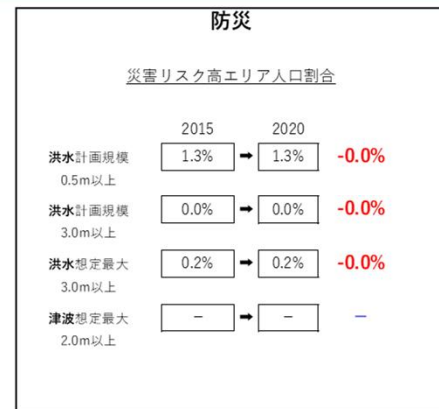
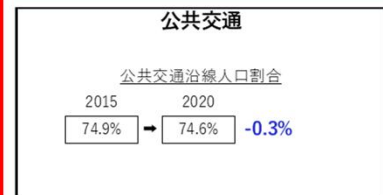
■立地適正化計画 作成済 ■GISデータ 居住誘導区域shp 提出済 都市機能誘導区域shp 提出済	■立地適正化計画作成・変更年月 170331 190329 ■防災指針作成・変更年月 - - ■地域公共交通計画の有無 -	■市町村都市計画マスタープラン最終更新年月日 190325 ■都市計画区域マスタープラン最終更新年月日 宇都宮 線引き -																																													
■最新人口・面積データ <table border="1"> <tr><td>行政区画</td><td>518,757人</td><td>100.0%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>都市計画区域</td><td>515,800人</td><td>99.4%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>市街化区域</td><td>427,200人</td><td>82.4%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>用途地域</td><td>414,454人</td><td>79.9%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>(除く、工業、工専)</td><td>401,589人</td><td>77.4%</td><td>81.6 km²</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>居住誘導区域</td><td>234,753人</td><td>45.3%</td><td>46.7 km²</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>90,709人</td><td>17.5%</td><td>17.3 km²</td><td>4.2%</td></tr> </table>	行政区画	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%	都市計画区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%	市街化区域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%	用途地域	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%	(除く、工業、工専)	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%	居住誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%	都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%	■将来人口 <table border="1"> <tr><td>2025</td><td>505,490人</td></tr> <tr><td>2030</td><td>497,708人</td></tr> <tr><td>2035</td><td>488,853人</td></tr> <tr><td>2040</td><td>478,951人</td></tr> <tr><td>2045</td><td>467,808人</td></tr> </table>	2025	505,490人	2030	497,708人	2035	488,853人	2040	478,951人	2045	467,808人	■居住誘導区域の目標人口 目標年次 近い年次を選択→ 2040年 居住誘導区域の目標人口 243,285人
行政区画	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%																																											
都市計画区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%																																											
市街化区域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%																																											
用途地域	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%																																											
(除く、工業、工専)	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%																																											
居住誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%																																											
都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%																																											
2025	505,490人																																														
2030	497,708人																																														
2035	488,853人																																														
2040	478,951人																																														
2045	467,808人																																														
■届出件数 居住誘導区域に関する届出件数(都市再生特別措置法第88条第1項) 7件 都市機能誘導区域に関する誘導施設の届出件数(都市再生特別措置法第108条第1項) 0件 都市機能誘導区域に関する誘導施設休廃止の届出件数(都市再生特別措置法第108条の二第1項) 39件																																															



直接指標



間接指標



2. 都市機能誘導区域関連

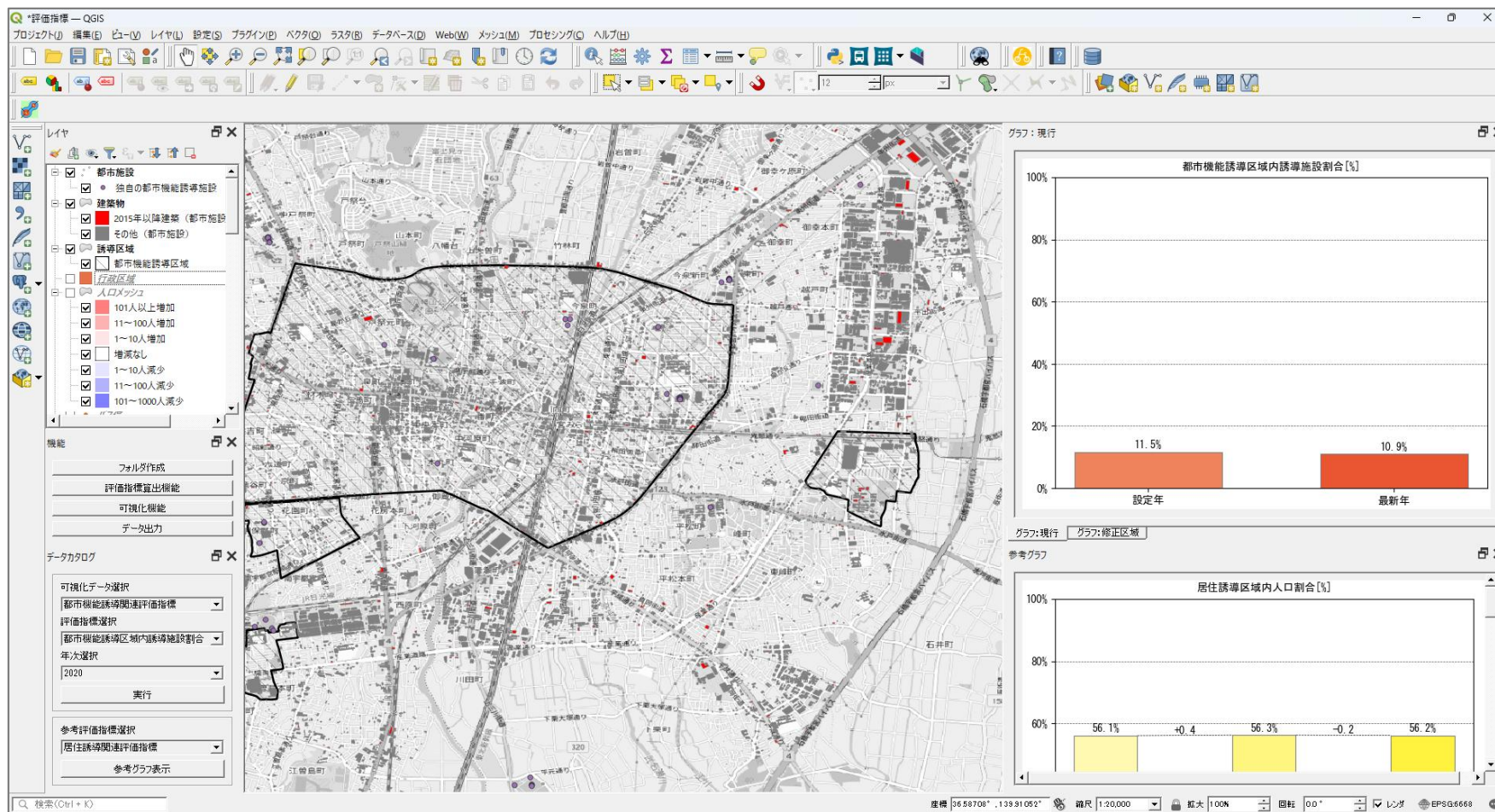
直接指標② 都市機能誘導区域内誘導施設割合

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

都市機能誘導区域内への都市機能（自治体設定）の立地が計画と
おり進んでいるか？
都市機能誘導区域外への都市機能（自治体設定）の新規立地が進
んでいないか？

【本ツールでの確認方法】

「都市機能誘導区域」と「都市機能誘導施設（自治体設定）」を重ね
合わせることで、指標の増減要因を施設単位で確認することができます。
また、区域外にて「都市機能誘導施設（自治体設定）」の新規立地が
発生していないかを施設単位で確認することができます。



2. 都市機能誘導区域関連

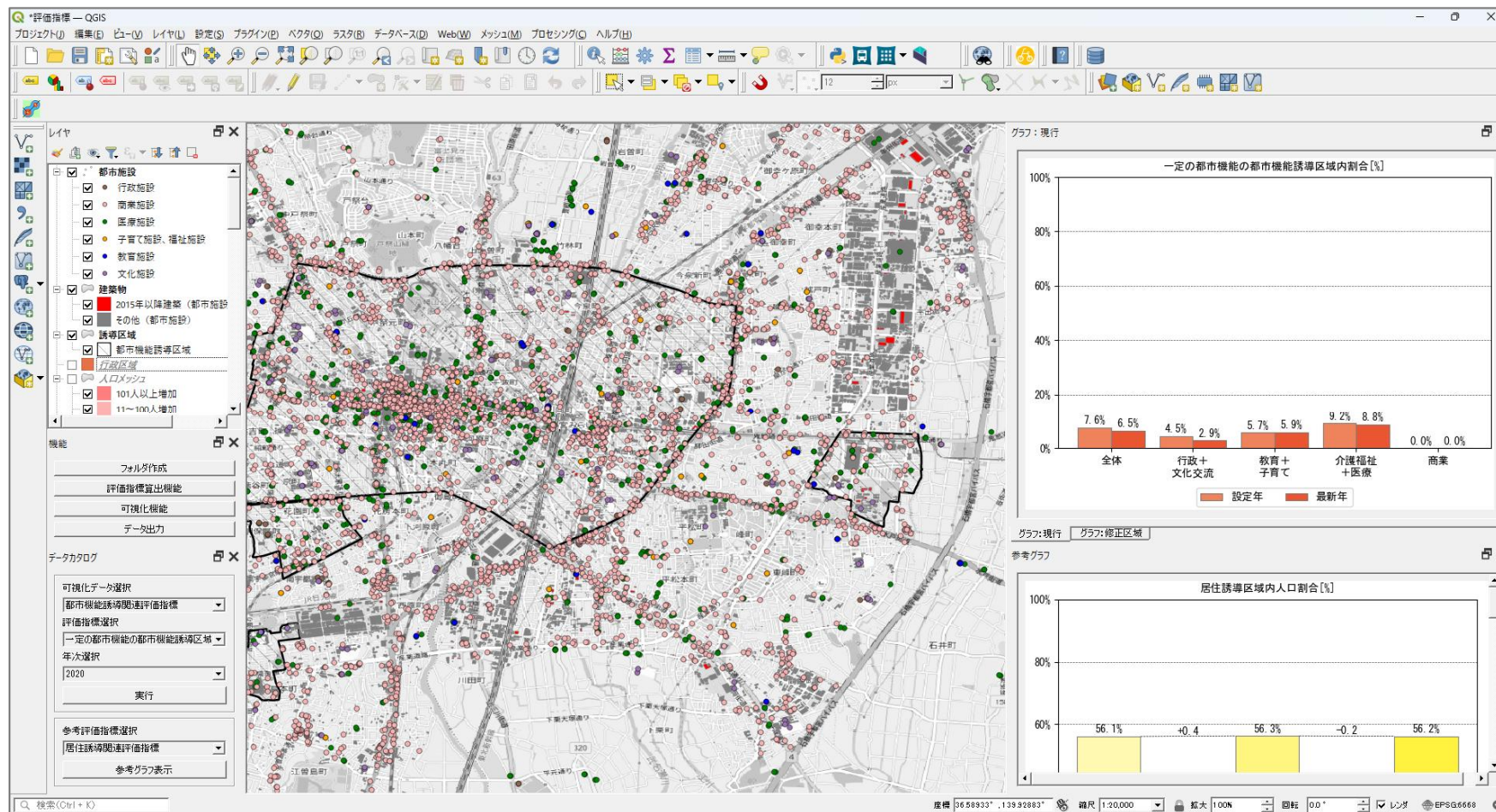
補足指標②-1 一定の都市機能の都市機能誘導区域内割合

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

都市機能誘導区域内への一定の都市機能の立地が計画とおり進んでいるか？
都市機能誘導区域外への一定の都市機能の新規立地が進んでいないか？

【本ツールでの確認方法】

「都市機能誘導区域」と「都市機能誘導施設（機能別）」を重ね合わせることで、指標の増減要因を施設単位で確認することができます。また、区域外にて「都市機能誘導施設（機能別）」の新規立地が発生していないかを施設単位で確認することができます。



2. 都市機能誘導区域関連

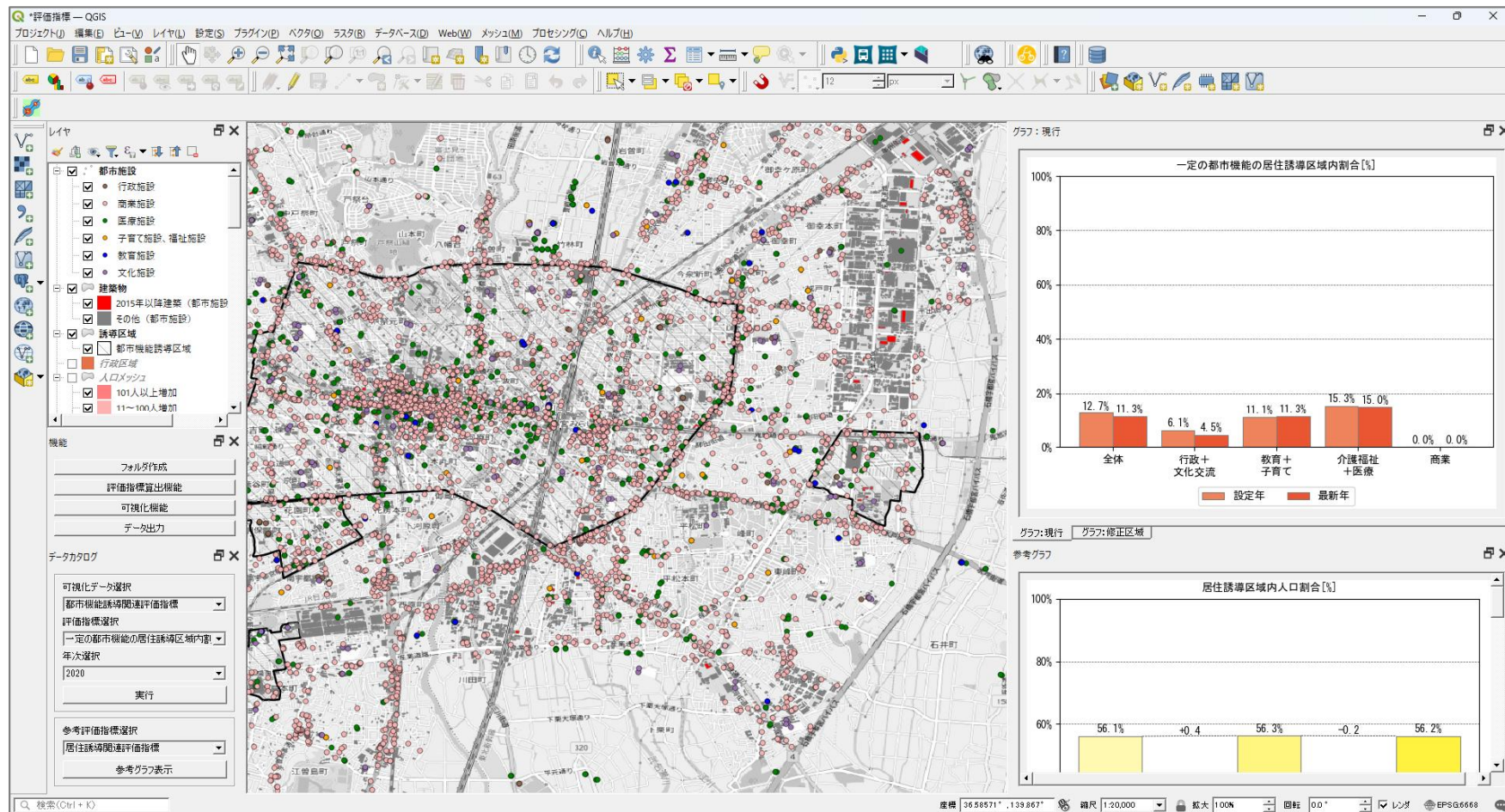
補足指標②-2 一定の都市機能の居住誘導区域内割合

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

居住誘導区域内への一定の都市機能の立地が計画とおり進んでいるか？
居住誘導区域外への一定の都市機能の新規立地が進んでいないか？

【本ツールでの確認方法】

「居住誘導区域」と「都市機能誘導施設（機能別）」を重ね合わせることで、指標の増減要因を施設単位で確認することができます。また、区域外にて「都市機能誘導施設（機能別）」の新規立地が発生していないかを施設単位で確認することができます。



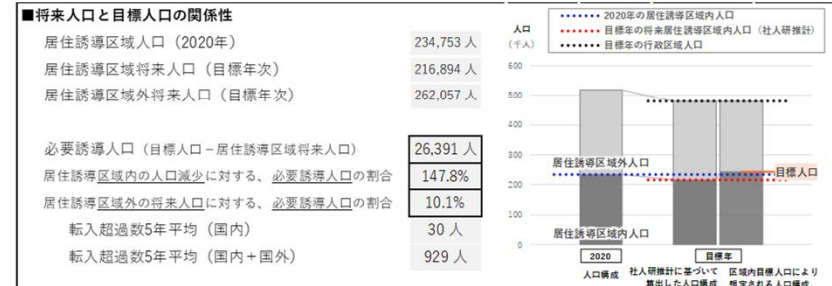
3. 公共交通関連

評価用レポート 様式(案)

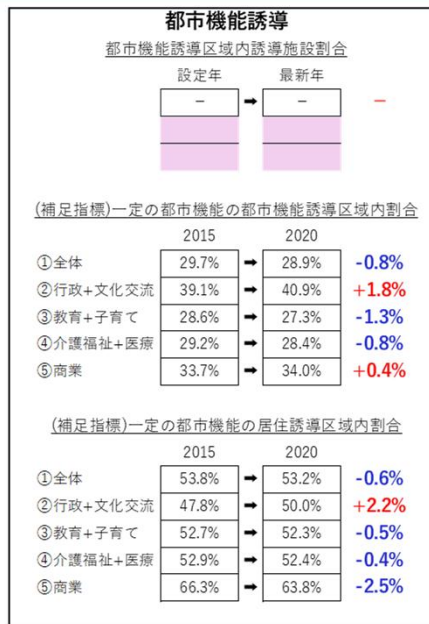
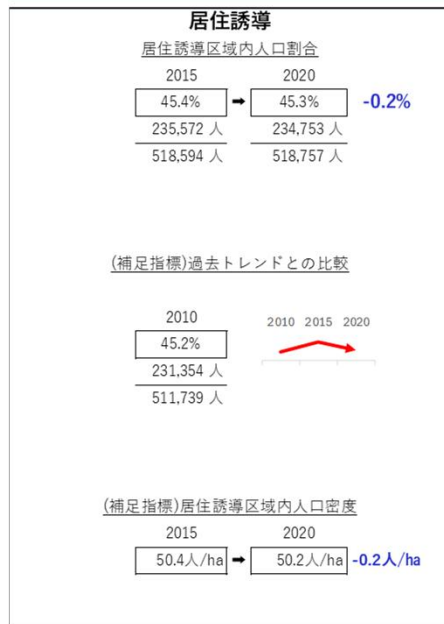
自治体選択欄: **XXX市** ※必ず最初に自治体を選択してください

基礎情報

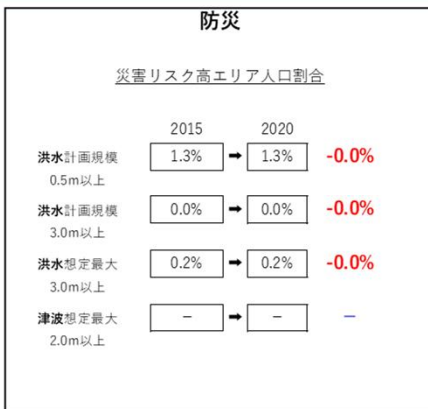
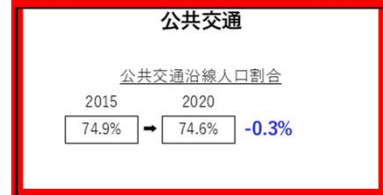
■立地適正化計画 作成済 ■GISデータ 居住誘導区域shp 提出済 都市機能誘導区域shp 提出済	■立地適正化計画作成・変更年月 170331 190329 ■防災指針作成・変更年月 - - ■地域公共交通計画の有無 -	■市町村都市計画マスタープラン最終更新年月日 190325 ■都市計画区域マスタープラン最終更新年月日 宇都宮 線引き -																																																				
■最新人口・面積データ <table border="1"> <tr><th>行政区画</th><th>人口</th><th>割合</th><th>面積</th><th>割合</th></tr> <tr><td>都市計画区域</td><td>518,757人</td><td>100.0%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>市街化区域</td><td>515,800人</td><td>99.4%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>用途地域</td><td>427,200人</td><td>82.4%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>(除く、工業、工専)</td><td>414,454人</td><td>79.9%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>居住誘導区域</td><td>401,589人</td><td>77.4%</td><td>81.6 km²</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>234,753人</td><td>45.3%</td><td>46.7 km²</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>90,709人</td><td>17.5%</td><td>17.3 km²</td><td>4.2%</td></tr> </table>	行政区画	人口	割合	面積	割合	都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%	市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%	用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%	(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%	居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%	都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%	都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%	■将来人口 <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>人口</th></tr> <tr><td>2025</td><td>505,490人</td></tr> <tr><td>2030</td><td>497,708人</td></tr> <tr><td>2035</td><td>488,853人</td></tr> <tr><td>2040</td><td>478,951人</td></tr> <tr><td>2045</td><td>467,808人</td></tr> </table>	年次	人口	2025	505,490人	2030	497,708人	2035	488,853人	2040	478,951人	2045	467,808人	■居住誘導区域の目標人口 目標年次 近い年次を選択→ 2040年 居住誘導区域の目標人口 243,285人
行政区画	人口	割合	面積	割合																																																		
都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%																																																		
市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%																																																		
用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%																																																		
(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%																																																		
居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%																																																		
都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%																																																		
都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%																																																		
年次	人口																																																					
2025	505,490人																																																					
2030	497,708人																																																					
2035	488,853人																																																					
2040	478,951人																																																					
2045	467,808人																																																					
■届出件数 居住誘導区域に関する届出件数(都市再生特別措置法第8条第1項) 7件 都市機能誘導区域に関する誘導施設の届出件数(都市再生特別措置法第10条第1項) 0件 都市機能誘導区域に関する誘導施設休廃止の届出件数(都市再生特別措置法第10条第2項第1項) 39件																																																						



直接指標



間接指標



3. 公共交通関連

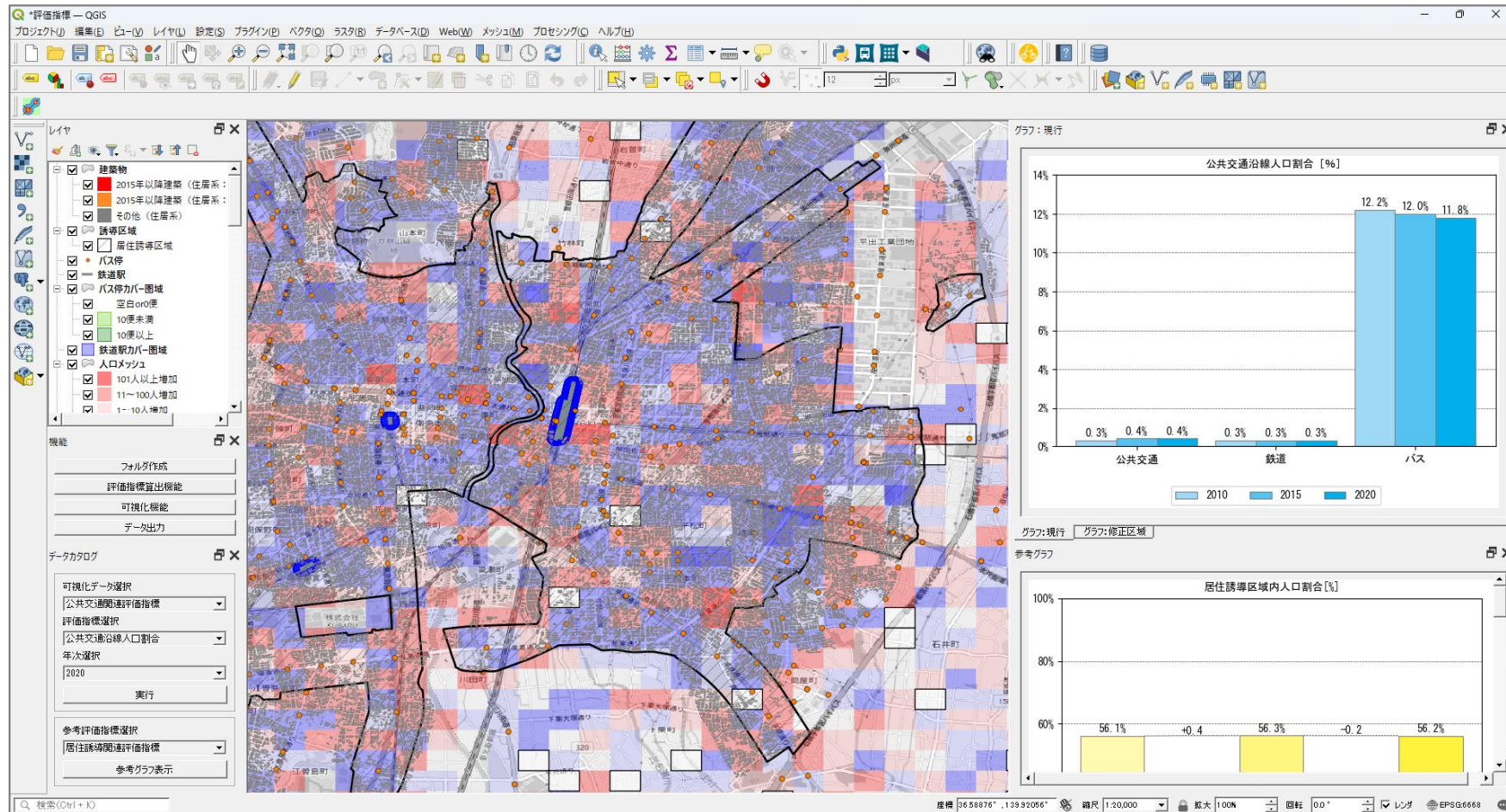
間接指標① 公共交通沿線人口割合

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

公共交通沿線における人口増減がどこで発生しているか？
公共交通沿線以外（公共交通空白地域）において人口が増加しているエリアはどこか？

【本ツールでの確認方法】

「公共交通圏域」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、公共交通沿線または沿線外のどこで人口増減が発生しているかをメッシュ単位で特定することができます。
また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、人口増減の要因が新築行為によるものか否かを確認できます。



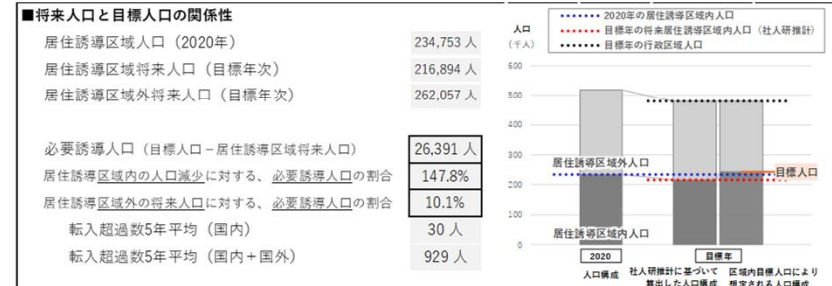
4. 防災関連

評価用レポート 様式(案)

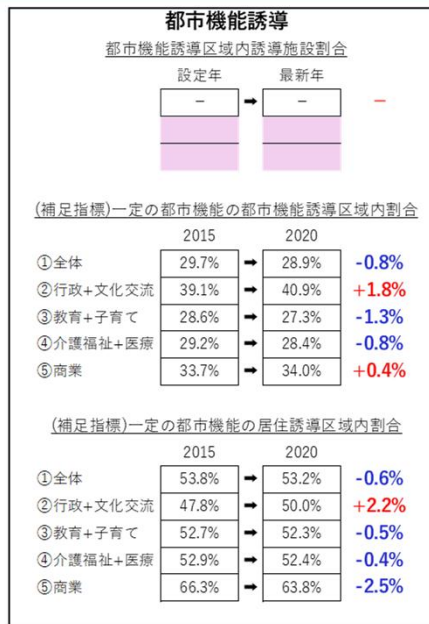
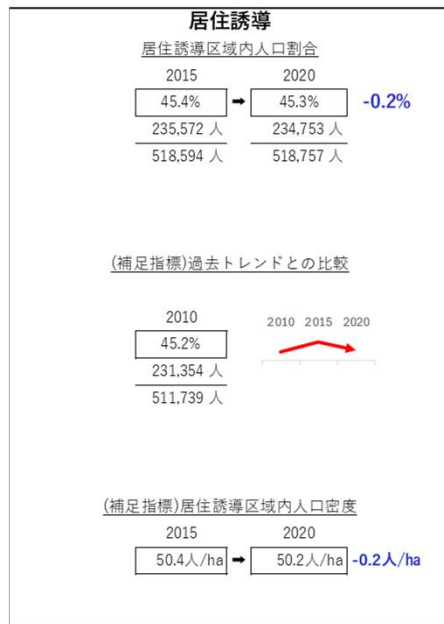
自治体選択欄: **XXX市** ※必ず最初に自治体を選択してください

基礎情報

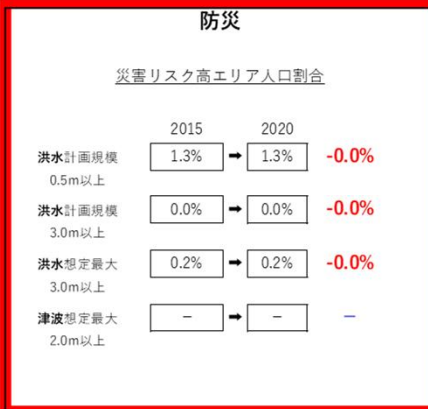
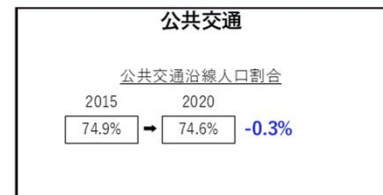
■立地適正化計画 作成済 ■GISデータ 居住誘導区域shp 提出済 都市機能誘導区域shp 提出済	■立地適正化計画作成・変更年月 170331 190329 ■防災指針作成・変更年月 - - ■地域公共交通計画の有無 -	■市町村都市計画マスタープラン最終更新年月日 190325 ■都市計画区域マスタープラン最終更新年月日 宇都宮 線引き -																																																				
■最新人口・面積データ <table border="1"> <tr><th>行政区域</th><th>人口</th><th>割合</th><th>面積</th><th>割合</th></tr> <tr><td>都市計画区域</td><td>518,757人</td><td>100.0%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>市街化区域</td><td>515,800人</td><td>99.4%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>用途地域</td><td>427,200人</td><td>82.4%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>(除く、工業、工専)</td><td>414,454人</td><td>79.9%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>居住誘導区域</td><td>401,589人</td><td>77.4%</td><td>81.6 km²</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>234,753人</td><td>45.3%</td><td>46.7 km²</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>90,709人</td><td>17.5%</td><td>17.3 km²</td><td>4.2%</td></tr> </table>	行政区域	人口	割合	面積	割合	都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%	市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%	用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%	(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%	居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%	都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%	都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%	■将来人口 <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>人口</th></tr> <tr><td>2025</td><td>505,490人</td></tr> <tr><td>2030</td><td>497,708人</td></tr> <tr><td>2035</td><td>488,853人</td></tr> <tr><td>2040</td><td>478,951人</td></tr> <tr><td>2045</td><td>467,808人</td></tr> </table>	年次	人口	2025	505,490人	2030	497,708人	2035	488,853人	2040	478,951人	2045	467,808人	■居住誘導区域の目標人口 目標年次 近い年次を選択→ 2040年 居住誘導区域の目標人口 243,285人
行政区域	人口	割合	面積	割合																																																		
都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%																																																		
市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%																																																		
用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%																																																		
(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%																																																		
居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%																																																		
都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%																																																		
都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%																																																		
年次	人口																																																					
2025	505,490人																																																					
2030	497,708人																																																					
2035	488,853人																																																					
2040	478,951人																																																					
2045	467,808人																																																					
■届出件数 居住誘導区域に関する届出件数(都市再生特別措置法第8条第1項) 7件 都市機能誘導区域に関する誘導施設の届出件数(都市再生特別措置法第108条第1項) 0件 都市機能誘導区域に関する誘導施設休廃止の届出件数(都市再生特別措置法第108条の二第1項) 39件																																																						



直接指標



間接指標



4. 防災関連

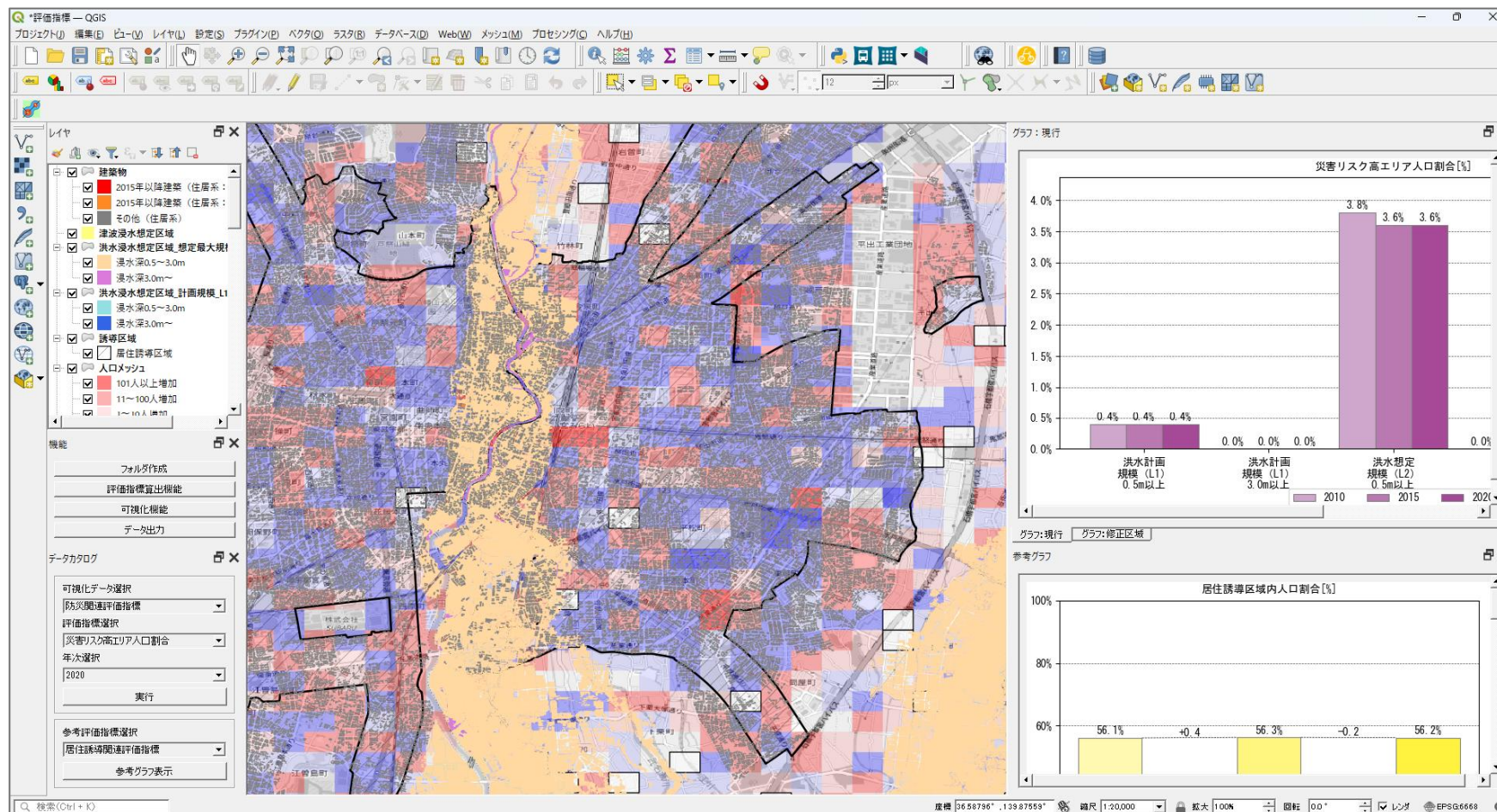
間接指標② 災害リスク（洪水・津波）高エリア人口割合

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

災害リスクが相対的に高いエリアで人口が増加していないか？

【本ツールでの確認方法】

「浸水想定区域（洪水・津波）」と「メッシュ単位での人口増減」を重ね合わせることで、**浸水想定区域のどこで人口増加が発生しているかをメッシュ単位で特定**することができます。
また「**建築年別の住居系建物**」を表示されることで、**人口増加の要因が新築行為によるものか否かを確認**できます。



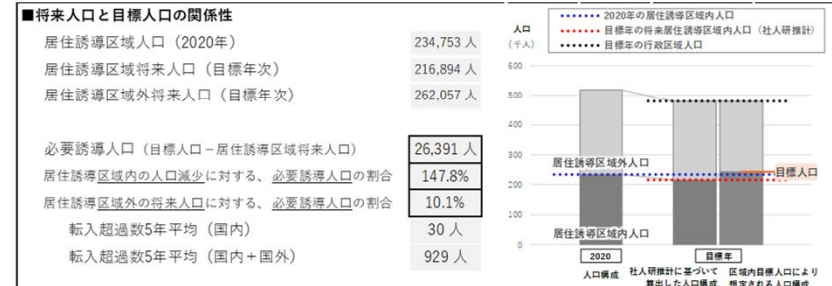
5. 土地利用関連

評価用レポート 様式(案)

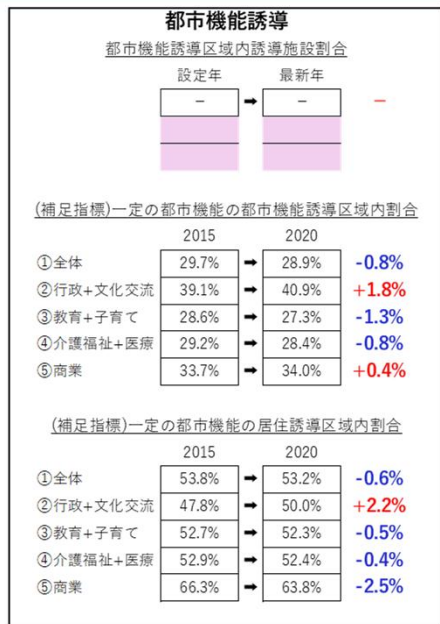
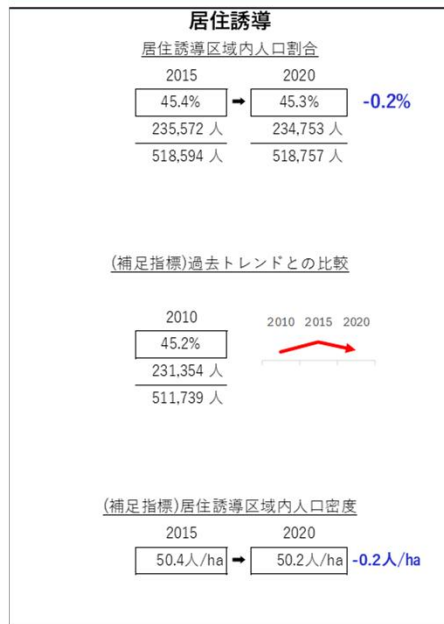
自治体選択欄: **XXX市** ※必ず最初に自治体を選択してください

基礎情報

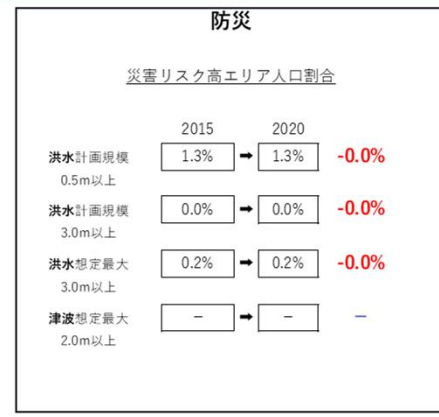
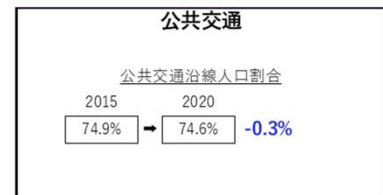
■立地適正化計画 作成済 ■GISデータ 居住誘導区域shp 提出済 都市機能誘導区域shp 提出済	■立地適正化計画作成・変更年月 170331 190329 ■防災指針作成・変更年月 - - ■地域公共交通計画の有無 -	■市町村都市計画マスタープラン最終更新年月日 190325 ■都市計画区域マスタープラン最終更新年月日 宇都宮 線引き -																																																				
■最新人口・面積データ <table border="1"> <tr><th>行政区域</th><th>人口</th><th>割合</th><th>面積</th><th>割合</th></tr> <tr><td>都市計画区域</td><td>518,757人</td><td>100.0%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>市街化区域</td><td>515,800人</td><td>99.4%</td><td>416.9 km²</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>用途地域</td><td>427,200人</td><td>82.4%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>(除く、工業、工専)</td><td>414,454人</td><td>79.9%</td><td>93.4 km²</td><td>22.4%</td></tr> <tr><td>居住誘導区域</td><td>401,589人</td><td>77.4%</td><td>81.6 km²</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>234,753人</td><td>45.3%</td><td>46.7 km²</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>都市機能誘導区域</td><td>90,709人</td><td>17.5%</td><td>17.3 km²</td><td>4.2%</td></tr> </table>	行政区域	人口	割合	面積	割合	都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%	市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%	用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%	(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%	居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%	都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%	都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%	■将来人口 <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>人口</th></tr> <tr><td>2025</td><td>505,490人</td></tr> <tr><td>2030</td><td>497,708人</td></tr> <tr><td>2035</td><td>488,853人</td></tr> <tr><td>2040</td><td>478,951人</td></tr> <tr><td>2045</td><td>467,808人</td></tr> </table>	年次	人口	2025	505,490人	2030	497,708人	2035	488,853人	2040	478,951人	2045	467,808人	■居住誘導区域の目標人口 目標年次 近い年次を選択→ 2040年 居住誘導区域の目標人口 243,285人
行政区域	人口	割合	面積	割合																																																		
都市計画区域	518,757人	100.0%	416.9 km ²	100.0%																																																		
市街化区域	515,800人	99.4%	416.9 km ²	100.0%																																																		
用途地域	427,200人	82.4%	93.4 km ²	22.4%																																																		
(除く、工業、工専)	414,454人	79.9%	93.4 km ²	22.4%																																																		
居住誘導区域	401,589人	77.4%	81.6 km ²	19.6%																																																		
都市機能誘導区域	234,753人	45.3%	46.7 km ²	11.2%																																																		
都市機能誘導区域	90,709人	17.5%	17.3 km ²	4.2%																																																		
年次	人口																																																					
2025	505,490人																																																					
2030	497,708人																																																					
2035	488,853人																																																					
2040	478,951人																																																					
2045	467,808人																																																					
■届出件数 居住誘導区域に関する届出件数(都市再生特別措置法第8条第1項) 7件 都市機能誘導区域に関する誘導施設の届出件数(都市再生特別措置法第10条第1項) 0件 都市機能誘導区域に関する誘導施設休廃止の届出件数(都市再生特別措置法第10条の2第1項) 39件																																																						



直接指標



間接指標



5. 土地利用関連

間接指標③ 居住誘導区域内外建物新築傾向（新築指数）

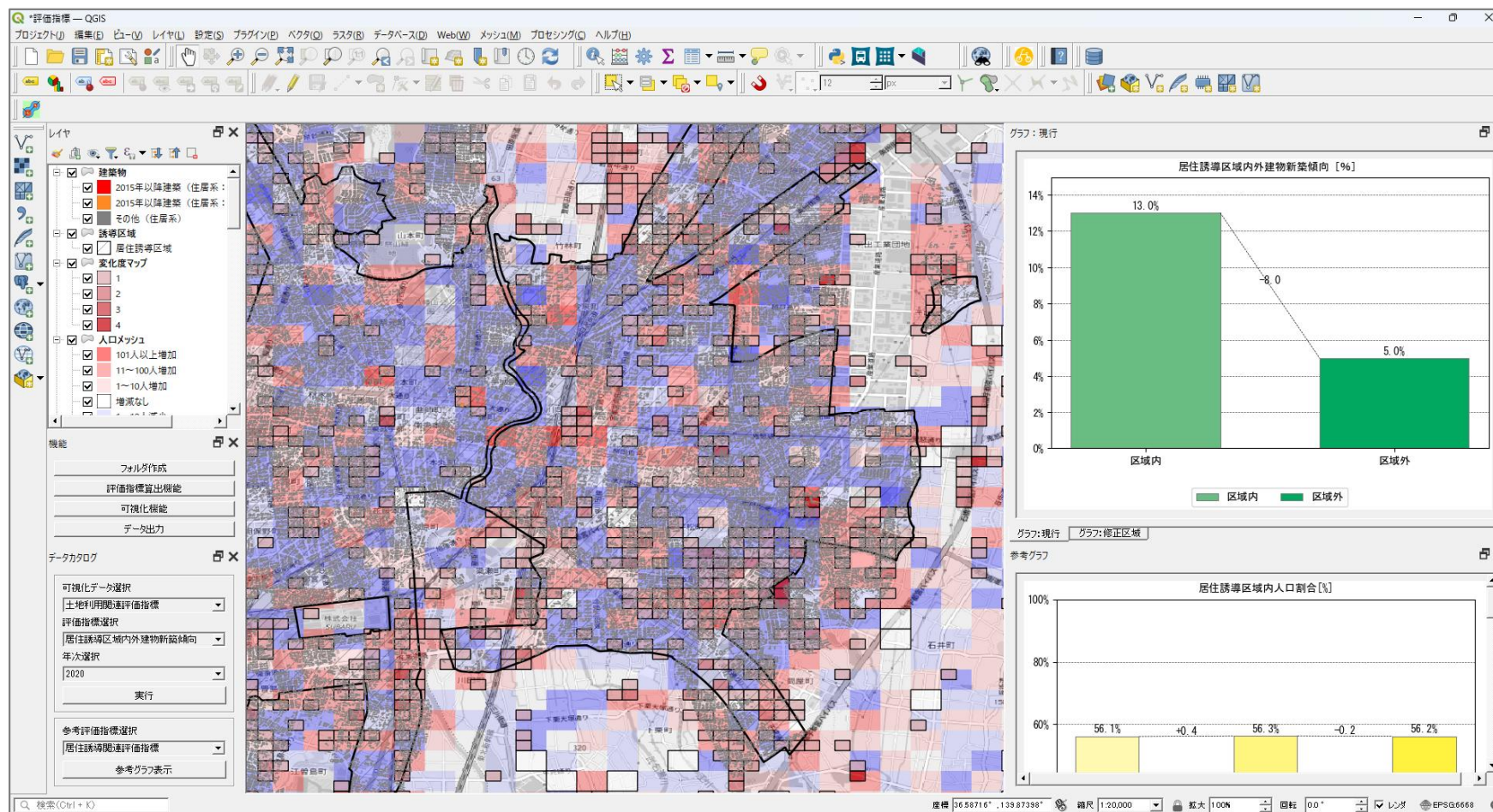
【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

新築行為が居住誘導区域内と区域外のどちらで多く発生しているか？
居住誘導区域内または区域外のどこで新築行為が行われているか？

【本ツールでの確認方法】

「居住誘導区域」と「変化度マップ」を重ね合わせることで、区域内または区域外のどこで土地利用の変化が生じているかをメッシュ単位で特定することができます。

また「建築年別の住居系建物」を表示されることで、人口増加の要因が新築行為によるものか否かを確認できます。



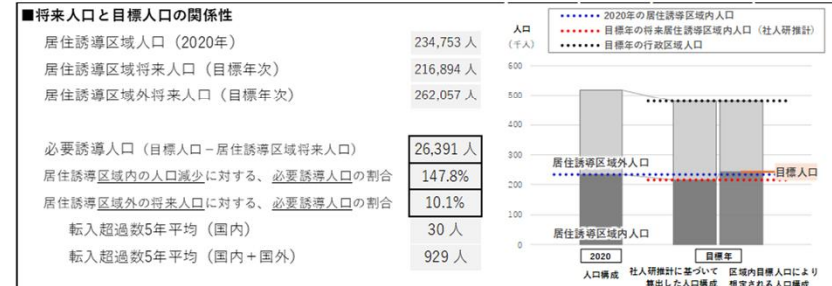
6. 財政関連

評価用レポート 様式(案)

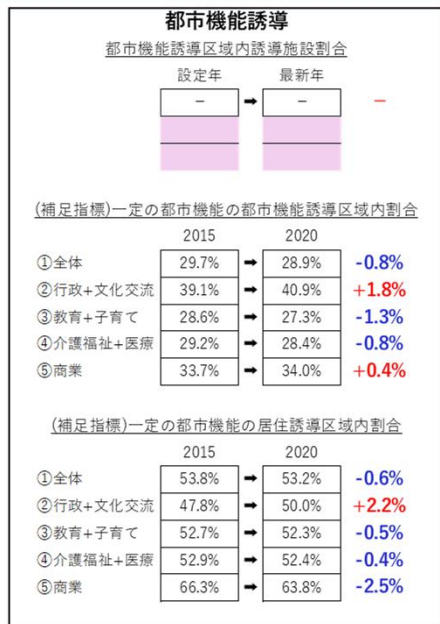
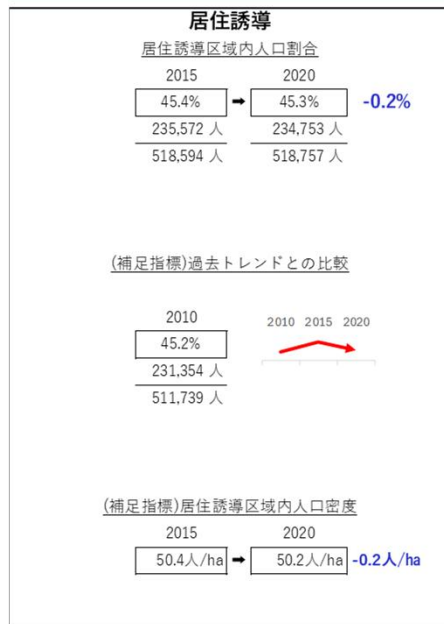
自治体選択欄: **XXX市** ※必ず最初に自治体を選択してください

基礎情報

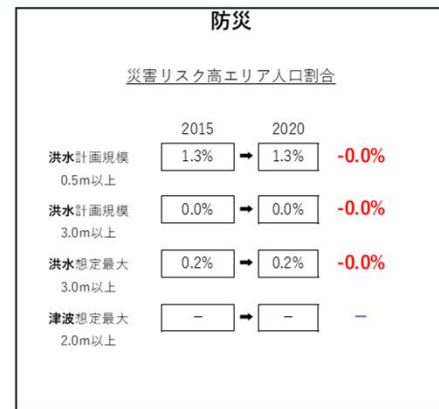
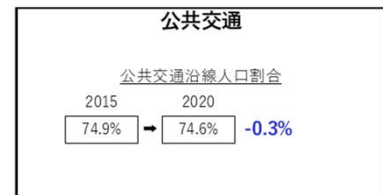
■立地適正化計画 作成済 ■GISデータ 居住誘導区域shp 提出済 都市機能誘導区域shp 提出済	■立地適正化計画作成・変更年月 170331 190329 ■防災指針作成・変更年月 - - ■地域公共交通計画の有無 -	■市町村都市計画マスタープラン最終更新年月日 190325 宇都宮 線引き -	■都市計画区域マスタープラン最終更新年月日
■最新人口・面積データ 行政区画 518,757人 100.0% 416.9 km ² 100.0% 都市計画区域 515,800人 99.4% 416.9 km ² 100.0% 市街化区域 427,200人 82.4% 93.4 km ² 22.4% 用途地域 414,454人 79.9% 93.4 km ² 22.4% (除く、工業、工専) 401,589人 77.4% 81.6 km ² 19.6% 居住誘導区域 234,753人 45.3% 46.7 km ² 11.2% 都市機能誘導区域 90,709人 17.5% 17.3 km ² 4.2%	■将来人口 2025 505,490人 2030 497,708人 2035 488,853人 2040 478,951人 2045 467,808人	■居住誘導区域の目標人口 目標年次 近い年次を選択 2040年 居住誘導区域の目標人口 243,285人	
■届出件数 居住誘導区域に関する届出件数(都市再生特別措置法第88条第1項) 7件 都市機能誘導区域に関する誘導施設の届出件数(都市再生特別措置法第108条第1項) 0件 都市機能誘導区域に関する誘導施設休廃止の届出件数(都市再生特別措置法第108条の2第1項) 39件			



直接指標



間接指標



6. 財政関連

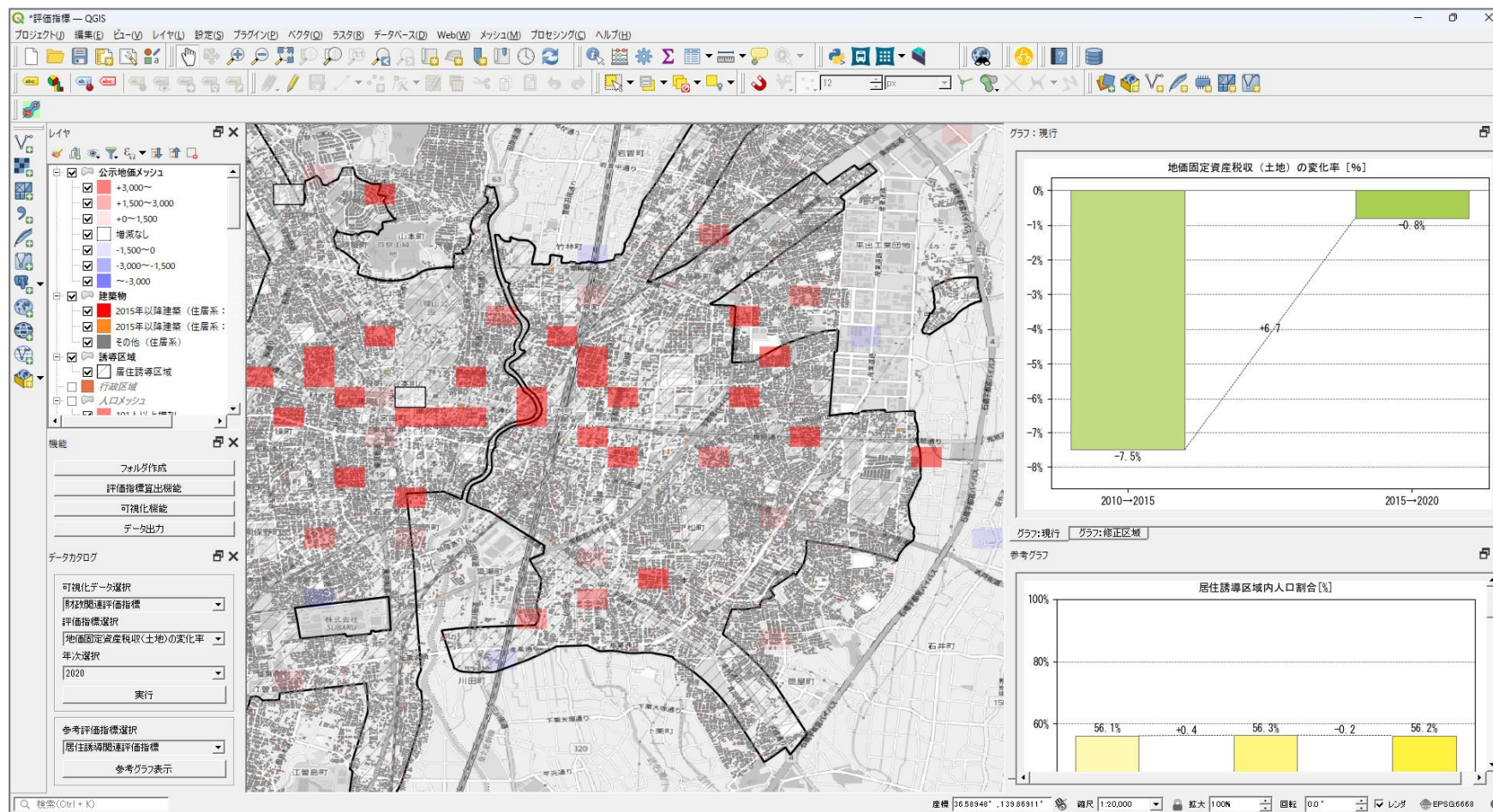
間接指標④ 地価固定資産税収（土地）の変化

【まちづくりの健康診断での確認ポイント】

都市機能誘導施設や公共交通が整備された周辺地域では地価が増加しているか？

【本ツールでの確認方法】

「居住誘導区域」と「メッシュ単位の公示地価」「都市機能誘導施設」「公共交通圏域」を重ね合わせることで、**公共施設整備と地価向上の関係性をメッシュ単位で把握**できます。



参考. インputデータの収集・格納方法

本マニュアルは「都市構造評価ツール 操作マニュアル」の補足資料です。

都市構造評価ツールを利用する際には、様々なインputデータの準備（ダウンロード）が必要です。

この資料では、各インputデータの入手先およびダウンロードまでの道程を説明します。

※ 注意事項①

- 本マニュアルに掲載するリンク先は**2026年1月末時点**の情報です。
各Webサイトの更新等により直接アクセスできない場合があります。
- 本マニュアルでは「宇都宮市」のインputデータを例に挙げ、手順や格納イメージを掲載しています。
従って、インputデータのファイル名は、収集する対象自治体や対象年度等でファイル名が異なります。
実際にご自身で収集する際は、**ご自身で収集したファイル名に置き換えてお読みください。**

※ 注意事項② シェープファイルについて。

- 都市構造評価ツールのインputデータの種類として、シェープファイル（Shapeファイル）があります。

シェープファイル（Shapeファイル）とは、地図を構成する図形情報と属性情報をもった地理空間データを収めるファイル形式のことです。シェープファイルは以下の6つの拡張子のファイル群で構成されています。

shp : 図形の情報を格納する主なファイル。**(必須ファイル)**

shx : 図形のインデックス情報を格納するファイル。**(必須ファイル)**

dbf : 図形の属性情報を格納するテーブル。**(必須ファイル)**

prj : 図形の持つ座標系の定義情報を格納するファイル。

sbn および sbx : 空間インデックスを格納するファイル。

参考 : esriジャパンホームページ

<https://www.esri.com/gis-guide/esri-dataformat/shapefile/>

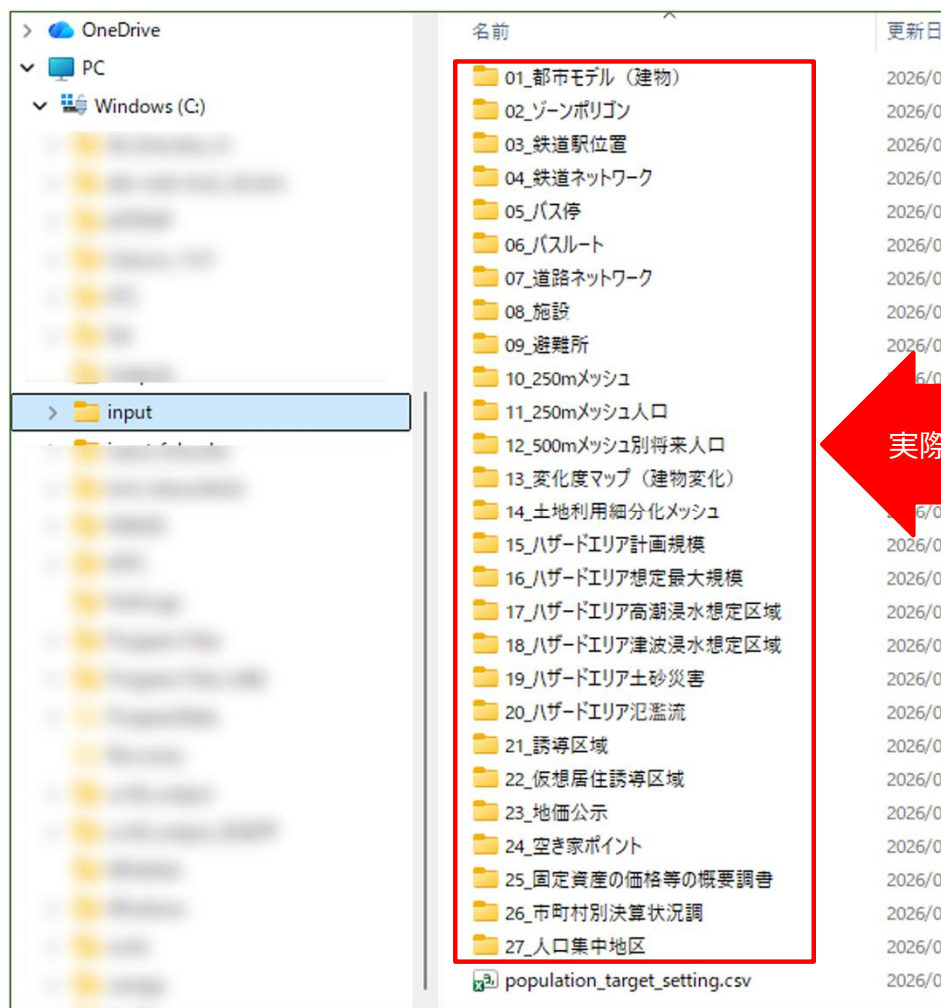
- 本マニュアルでは、これらのファイル群を「**shapeファイル一式**」と表記します。
- Inputフォルダに「shapeファイル一式」を格納する場合、上記に挙がっている**必須ファイルは全て格納**してください。

No.	格納フォルダ名	入手先	インプットデータ
1	01_都市モデル (建物)	G空間情報センター	Plateau GISコンバーターでbldgデータを「Geopackage形式」へ変換を行ったデータ
2	02_ゾーンポリゴン	国土数値情報	「行政区域」
3	03_鉄道駅位置	国土数値情報	「鉄道」
4	04_鉄道ネットワーク	国土数値情報	「鉄道」
5	05_バス停	国土数値情報	「バス停留所」
6	06_バスルート	国土数値情報	「バスルート」
7	07_道路ネットワーク	OpenStreetMap	gis_osm_roads_free_1.shp
8	08_施設	国土数値情報, 各自治体保有データ	「市区町村役場」,「市町村役場等及び公的集会施設」,「文化施設」,「福祉施設」,「医療機関」,「学校」
9	09_避難所	国土数値情報	「避難施設」
10	10_250mメッシュ	e-stat	「境界データ>5次メッシュ (250mメッシュ) >世界測地系緯度経度・Shapefile」
11	11_250mメッシュ人口	e-stat	「統計データ>国勢調査>2010年>5次メッシュ (250mメッシュ) >男女別人口総数及び世帯総数」 「統計データ>国勢調査>2015年>5次メッシュ (250mメッシュ) >その1 人口等基本集計に関する事項>第1次地域区画」 「統計データ>国勢調査>2020年>5次メッシュ (250mメッシュ) >人口及び世帯 (JGD2011) >第1次地域区画」
12	12_500mメッシュ別将来人口	国土数値情報	「500mメッシュ別将来推計人口」
13	13_変化度マップ (建物変化)	国より提供	自自治体に関連する1次メッシュ単位で格納
14	14_土地利用細分化メッシュ	国土数値情報	「土地利用細分化メッシュ」
15	15_ハザードエリア計画規模	国土数値情報	「洪水浸水想定区域 (1次メッシュ単位) >10_計画規模」
16	16_ハザードエリア想定最大規模	国土数値情報	「洪水浸水想定区域 (1次メッシュ単位) >20_想定最大規模」
17	17_ハザードエリア高潮浸水想定区域	国土数値情報	「高潮浸水想定区域」
18	18_ハザードエリア津波浸水想定区域	国土数値情報	「津波浸水想定」
19	19_ハザードエリア土砂災害	国土数値情報	「土砂災害警戒区域」
20	20_ハザードエリア氾濫流	国土数値情報	「洪水浸水想定区域 (1次メッシュ単位) >41_家屋倒壊等氾濫想定区域_氾濫流」
21	21_誘導区域	国土交通省_都市計画決定 GISオープンデータ	「都市計画情報」
22	22_仮想居住誘導区域	自治体保有データ	居住誘導区域データがない (策定していない) 場合ユーザーにて作成
23	23_地価公示	国土数値情報	「地価公示」
24	24_空き家ポイント	各自治体保有データ	
25	25_固定資産の価格等の概要調書	総務省	「平成22年度・平成27年度・令和2年度 固定資産の価格等の概要調書」
26	26_市町村別決算状況調	総務省	「平成24年度～令和4年度 市町村別決算状況調」
27	27_人口集中地区	国土数値情報	「人口集中地区データ」

「都市構造評価ツール」のフォルダ生成機能から、インputデータの格納フォルダが自動生成されます。

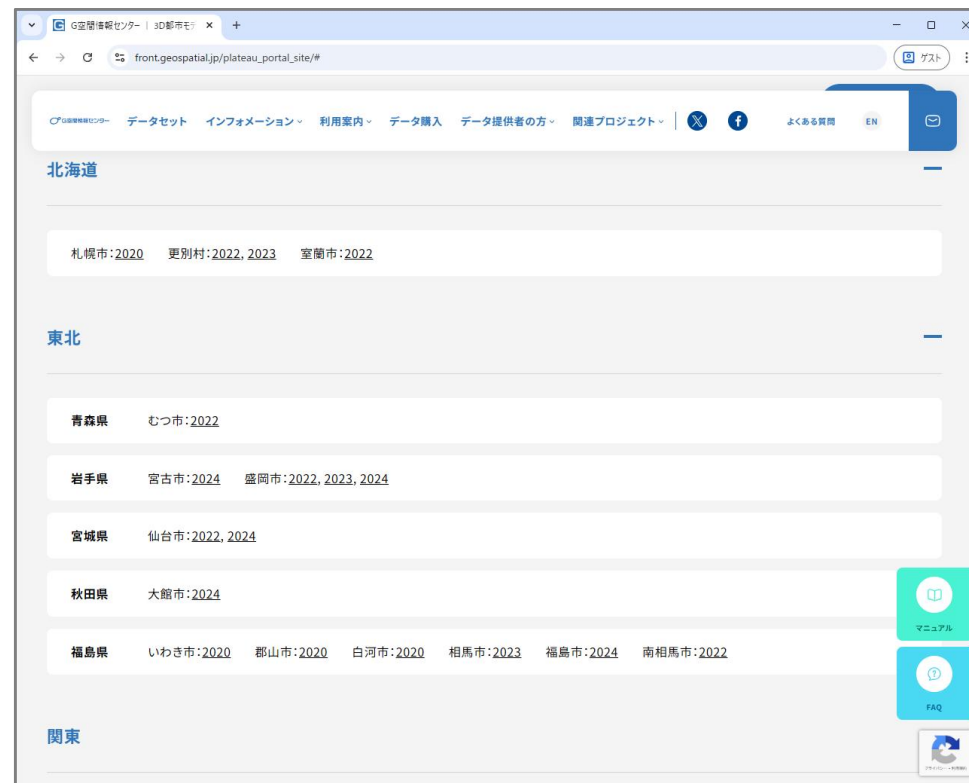
自動生成されたフォルダに、各インputデータを格納します。

本マニュアルではCドライブ直下に「input」フォルダを作成しています。



No.	格納フォルダ名
1	01_都市モデル (建物)
2	02_ゾーンポリゴン
3	03_鉄道駅位置
4	04_鉄道ネットワーク
5	05_バス停
6	06_バスルート
7	07_道路ネットワーク
8	08_施設
9	09_避難所
10	10_250mメッシュ
11	11_250mメッシュ人口
12	12_500mメッシュ別将来人口
13	13_変化度マップ (建物変化)
14	14_土地利用細分化メッシュ
15	15_ハザードエリア計画規模
16	16_ハザードエリア想定最大規模
17	17_ハザードエリア高潮浸水想定区域
18	18_ハザードエリア津波浸水想定区域
19	19_ハザードエリア土砂災害
20	20_ハザードエリア氾濫流
21	21_誘導区域
22	22_仮想居住誘導区域
23	23_地価公示
24	24_空き家ポイント
25	25_固定資産の価格等の概要調書
26	26_市町村別決算状況調
27	27_人口集中地区

- 【格納フォルダ名】** 01_都市モデル (建物)
- 【入手先】** G空間情報センター
- 【URL】** https://front.geospatial.jp/plateau_portal_site/
- 【データ作成年度】** 各自治体保有の最新年度
- 【DLファイル名称】** XXXXX (市町村コード) _市町村名_city_XXXX (年度) _citygml_4_op.zip
- 【格納データ名称】** plateaugisconverter_result.gpkg (データ名称は変換時に任意で指定)



- 【格納フォルダ名】 02_ゾーンポリゴン
- 【入手先】 国土数値情報「行政区域」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2025.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 N03-20230101_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 N03-23_XX（都道府県コード）_230101.shp



- 【格納フォルダ名】 03_鉄道駅位置
- 【入手先】 国土数値情報「鉄道」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N02-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 N02-23_GML.zip
- 【格納データ名称】 N02-23_Station.shp



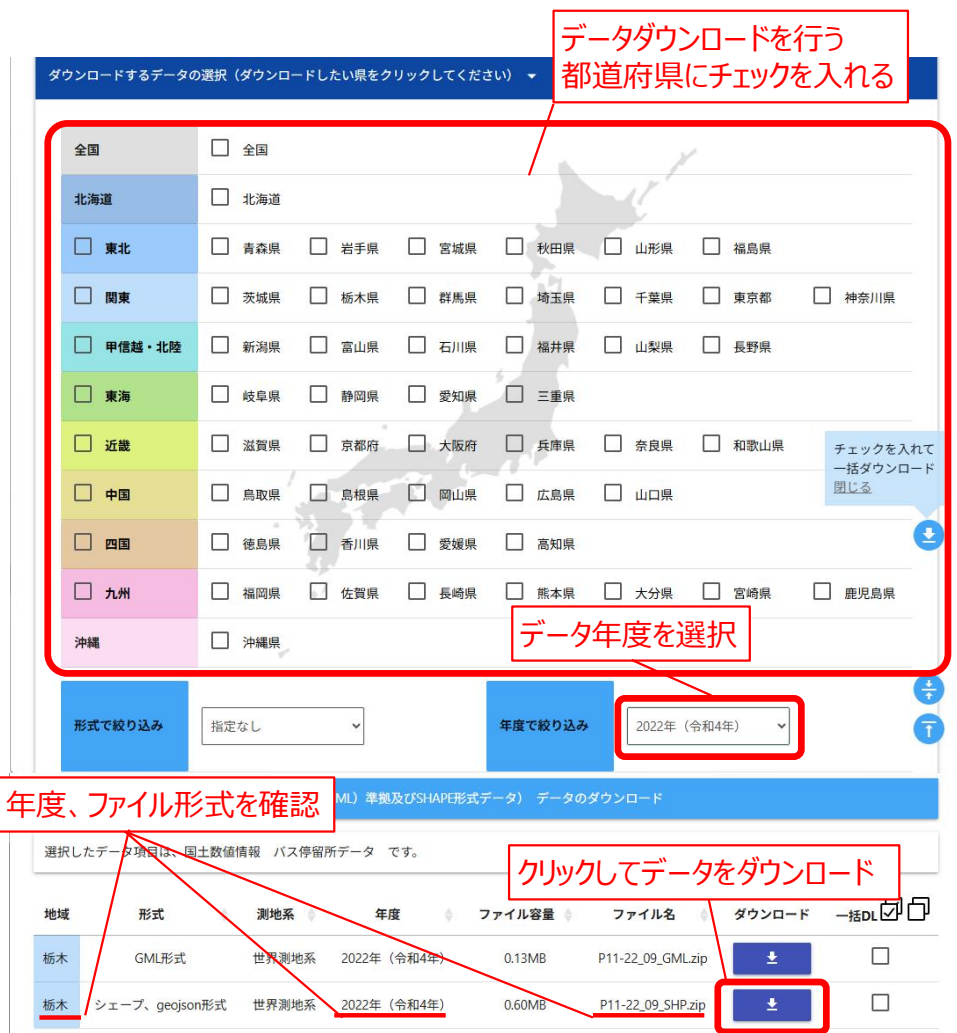
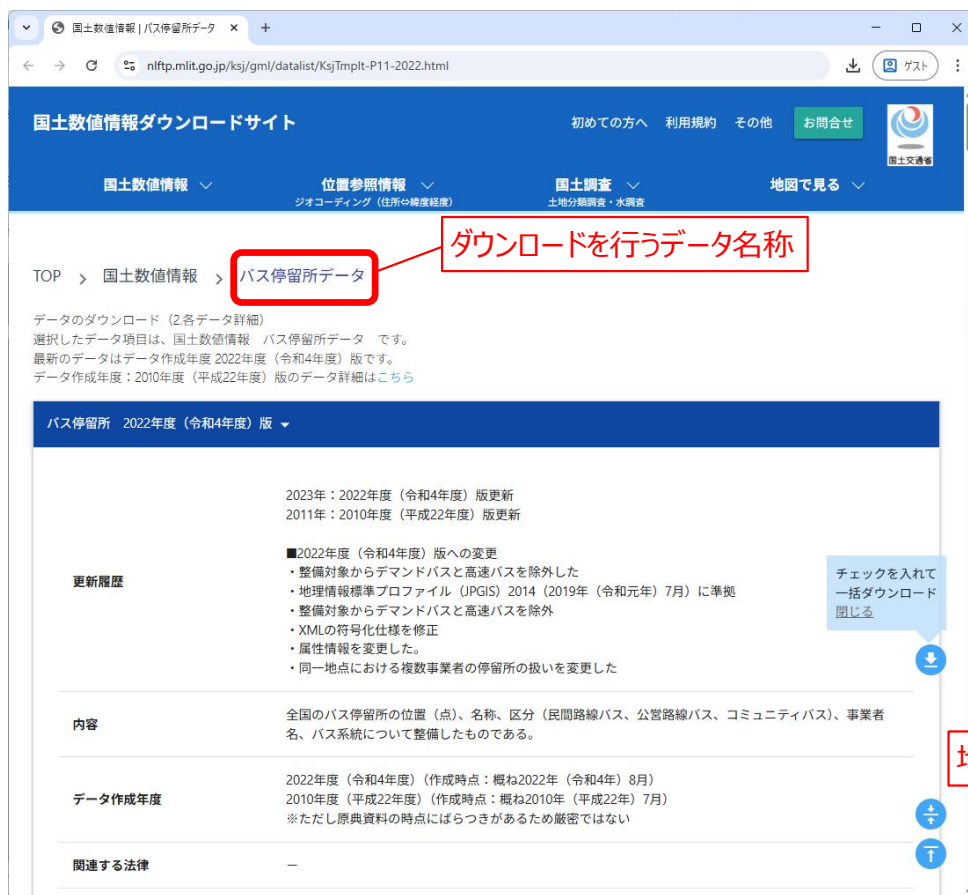
- 【格納フォルダ名】 04_鉄道ネットワーク
- 【入手先】 国土数値情報「鉄道」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N02-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 N02-23_GML.zip
- 【格納データ名称】 N02-23_RailroadSection.shp



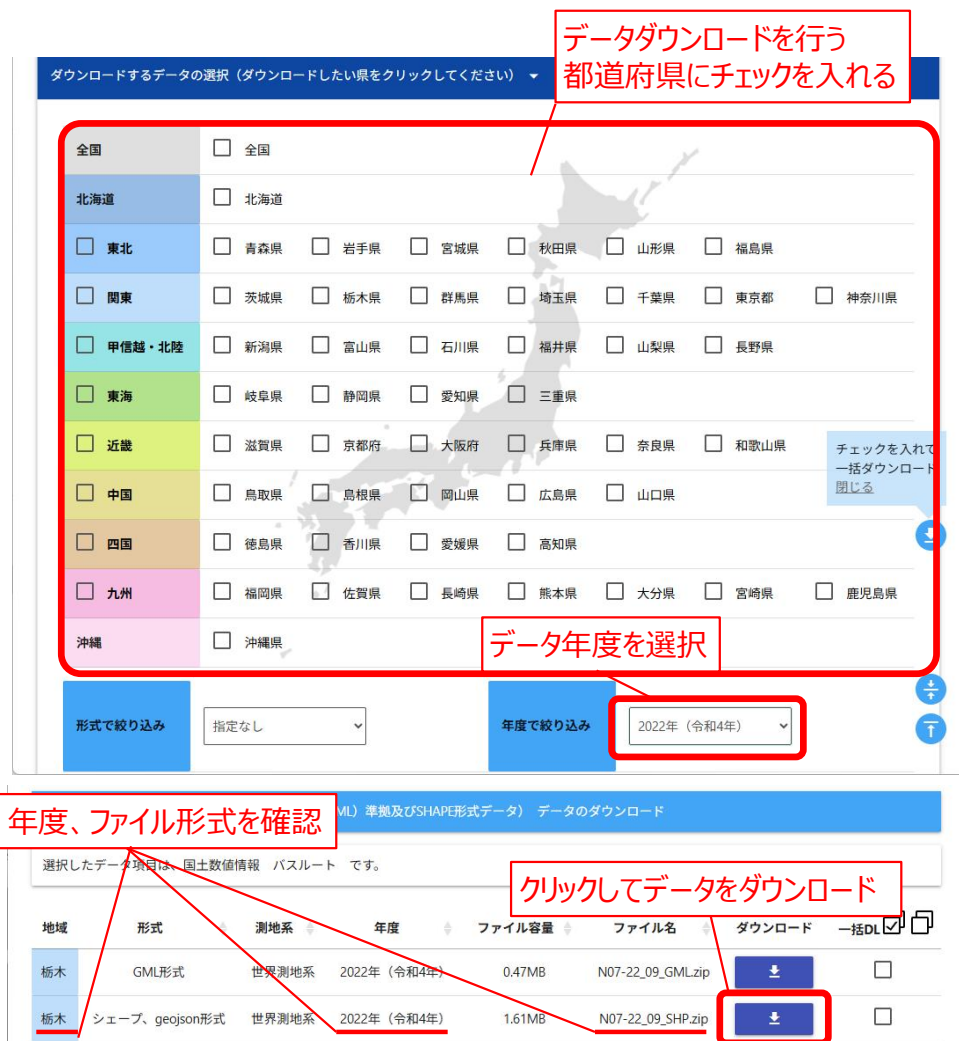
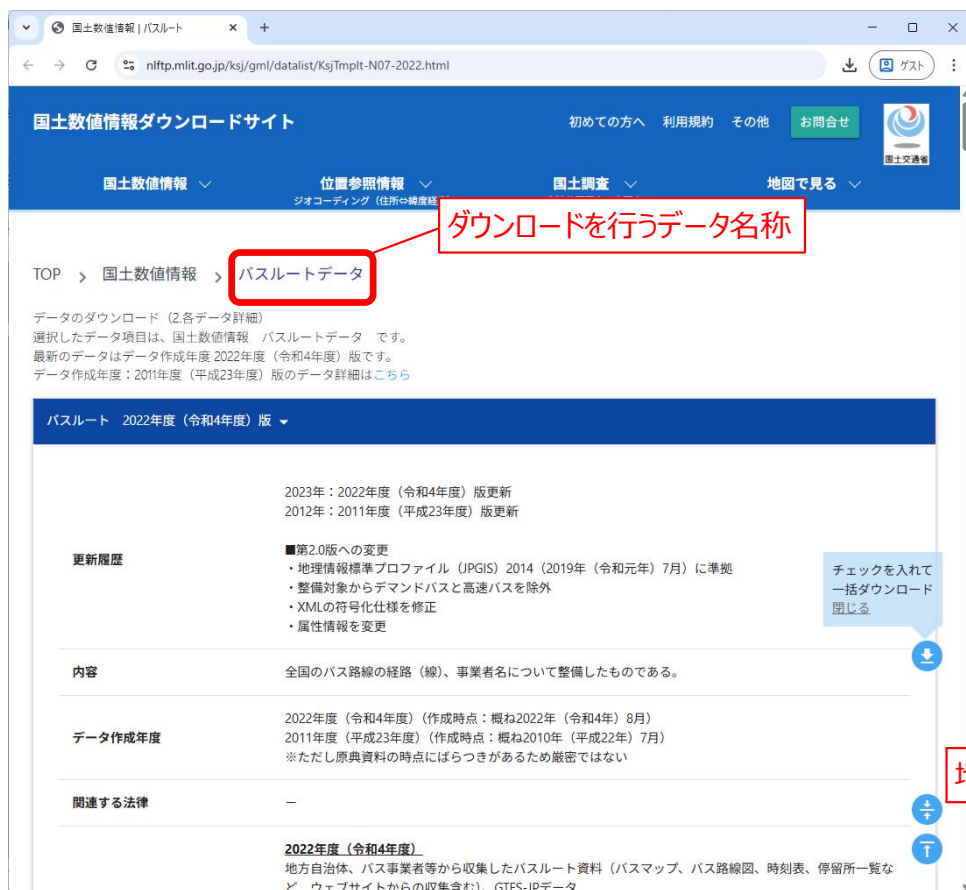
年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

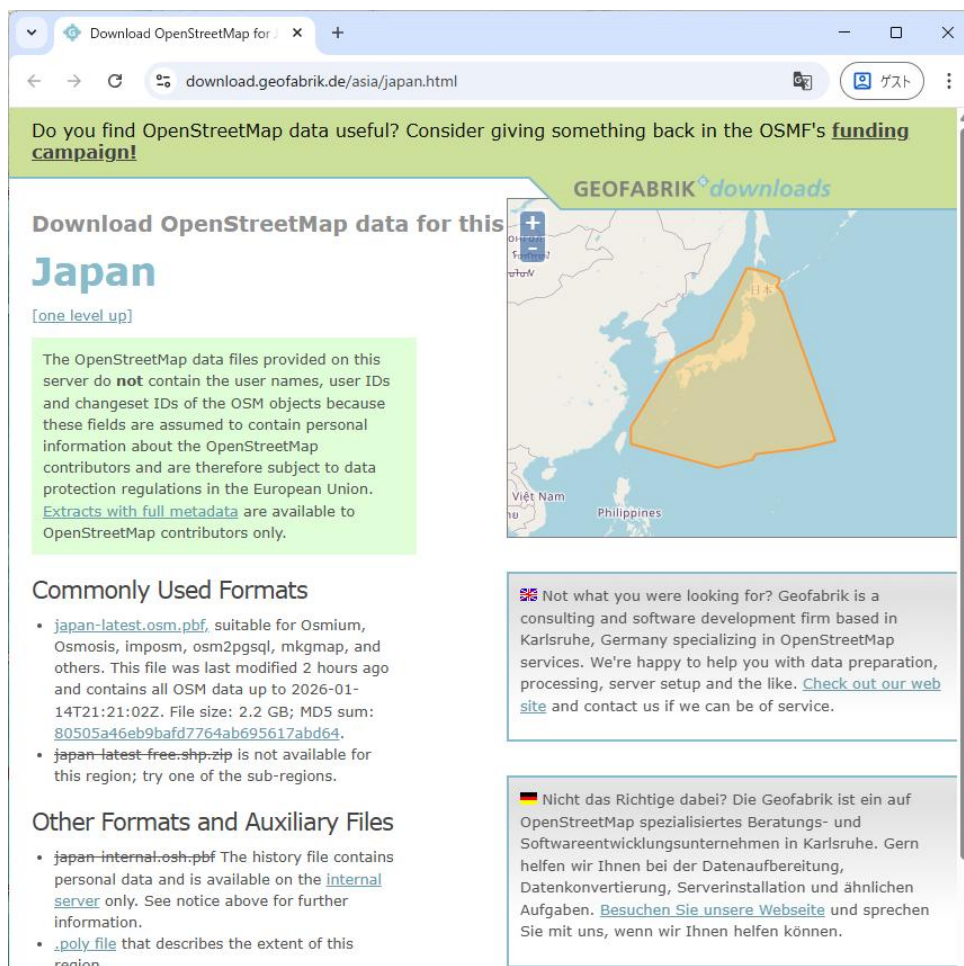
- 【格納フォルダ名】 05_バス停
- 【入手先】 国土数値情報「バス停留所」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P11-2022.html>
- 【データ作成年度】 2022年（令和4年）
- 【DLファイル名称】 P11-22_XX（都道府県コード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 P11-22_XX（都道府県コード）.shp



- 【格納フォルダ名】 06_バスルート
- 【入手先】 国土数値情報「バスルート」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N07-2022.html>
- 【データ作成年度】 2022年（令和4年）
- 【DLファイル名称】 N07-22_XX（都道府県コード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 N07-22_XX（都道府県コード）.shp



- 【格納フォルダ名】 07_道路ネットワーク
- 【入手先】 OpenStreetMap
- 【URL】 <https://download.geofabrik.de/asia/japan.html>
- 【データ作成年度】 公表されている最新データ
- 【DLファイル名称】 (地方名) -251111-free.shp.zip
- 【格納データ名称】 gis_osm_roads_free_1.shp



自治体が属する地方か確認

「.shp.zip」をクリックしてデータをダウンロード

Sub Regions

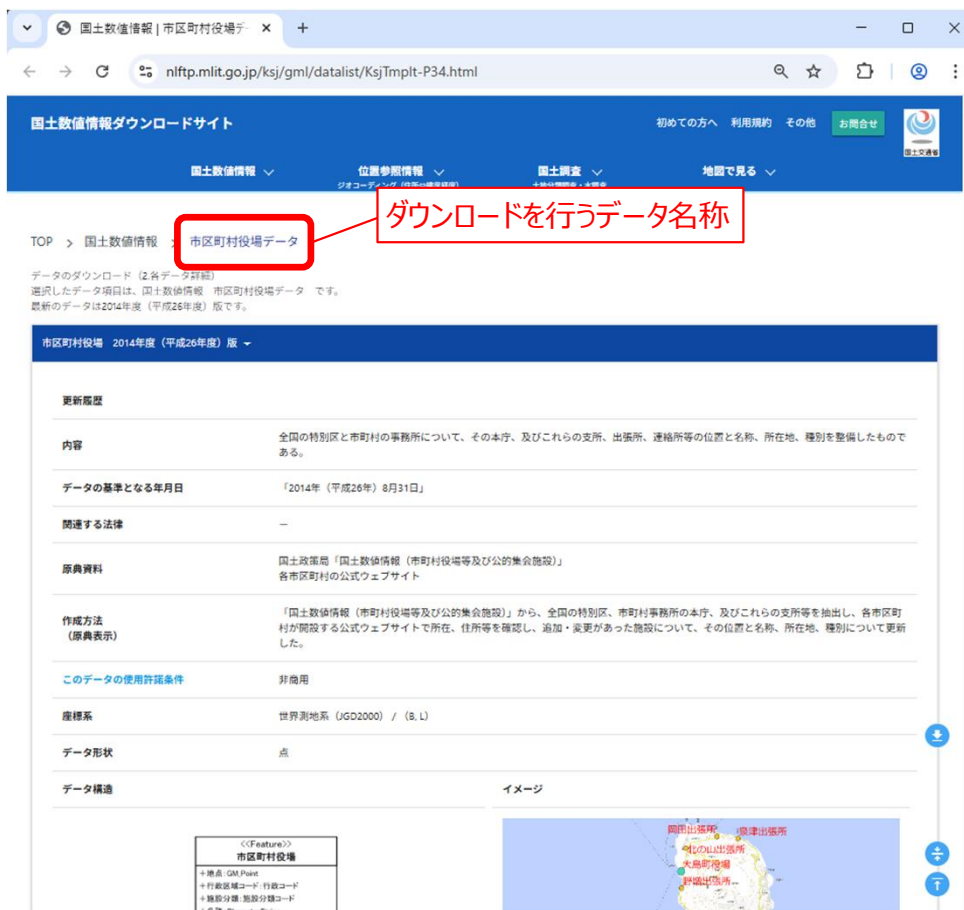
Click on the region name to see the overview page for that region, or select one of the file extension links for quick access.

Sub Region	Quick Links	
	.osm.pbf	.shp.zip
Chūbu region	[.osm.pbf] (452 MB)	[.shp.zip]
Chūgoku region	[.osm.pbf] (191 MB)	[.shp.zip]
Hokkaidō	[.osm.pbf] (176 MB)	[.shp.zip]
Kansai region (a.k.a. Kinki region)	[.osm.pbf] (321 MB)	[.shp.zip]
Kantō region	[.osm.pbf] (432 MB)	[.shp.zip]
Kyūshū	[.osm.pbf] (282 MB)	[.shp.zip]
Shikoku	[.osm.pbf] (82 MB)	[.shp.zip]
Tōhoku region	[.osm.pbf] (282 MB)	[.shp.zip]

- gis_osm_roads_free_1.cpg
- gis_osm_roads_free_1.dbf
- gis_osm_roads_free_1.prj
- gis_osm_roads_free_1.shp
- gis_osm_roads_free_1.shx

「gis_osm_roads_free_1」名称ファイルのみを格納

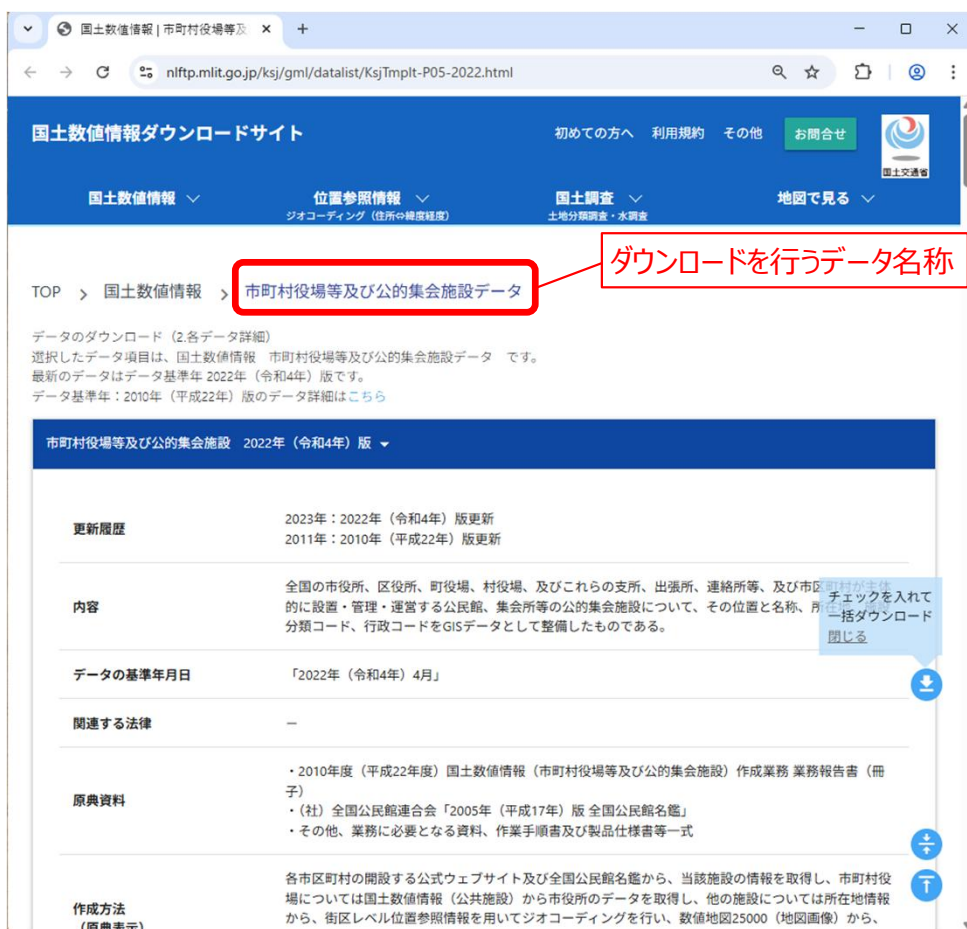
- 【格納フォルダ名】 08_施設>1_行政機能>設定年
- 【入手先】 国土数値情報「市区町村役場」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P34.html>
- 【データ作成年度】 2014年（平成26年度）
- 【DLファイル名称】 P34-14_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 P34-14_XX（都道府県コード）.shp



地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 08_施設>1_行政機能>最新年
- 【入手先】 国土数値情報「市町村役場等及び公的集会施設」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P05-2022.html>
- 【データ作成年度】 2022年（令和4年）
- 【DLファイル名称】 P05-22_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 P05-22_XX（都道府県コード）.shp



ダウンロードを行うデータ名称



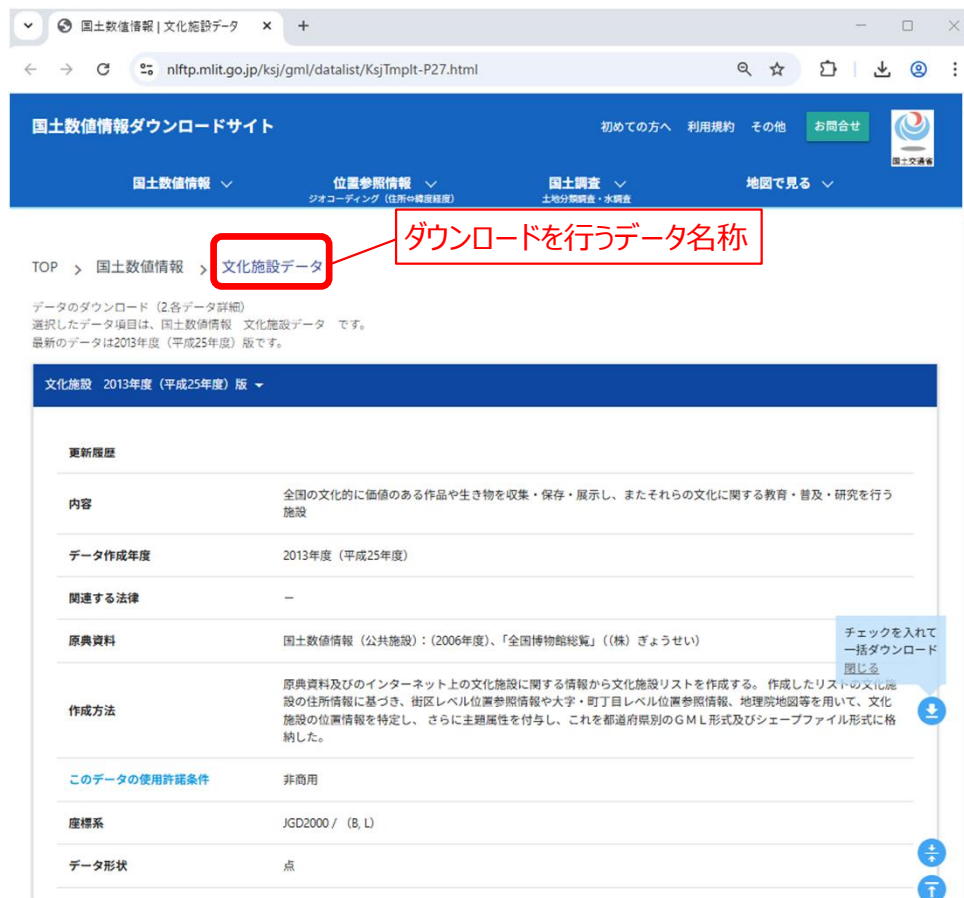
データダウンロードを行う都道府県にチェックを入れる

データ年度を選択

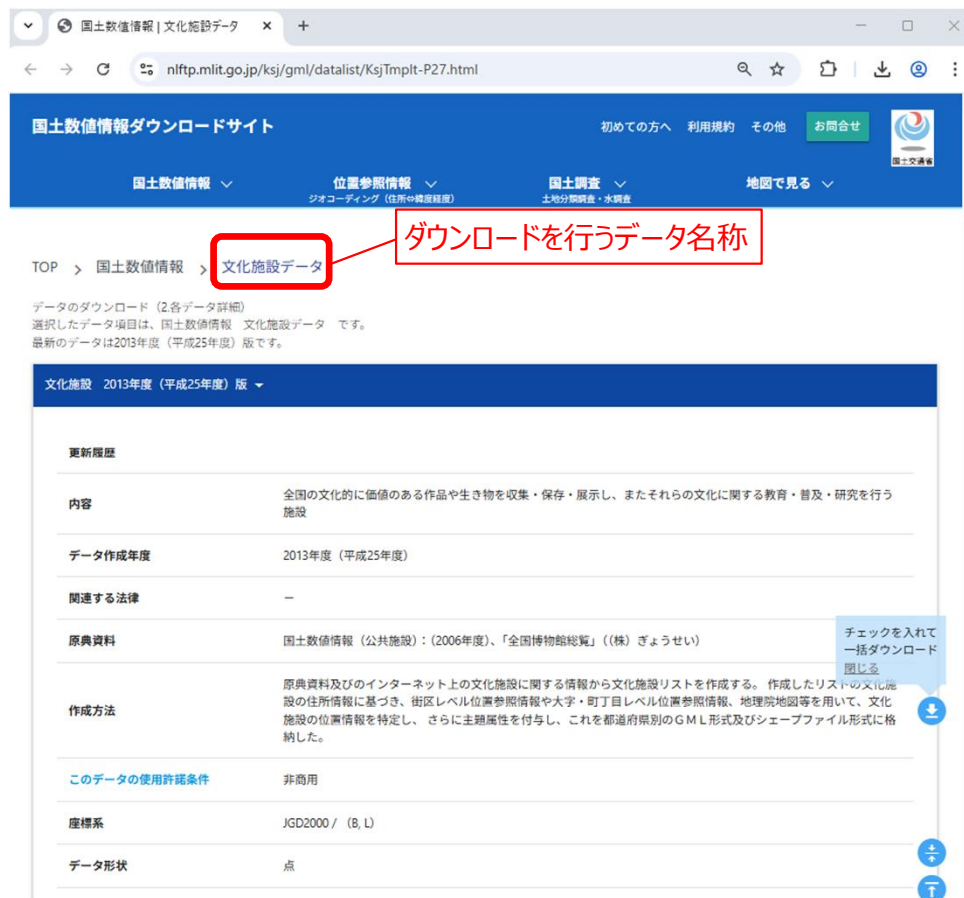
地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 08_施設>2_文化交流機能>設定年
- 【入手先】 国土数値情報「文化施設」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P27.html>
- 【データ作成年度】 2013年（平成25年）
- 【DLファイル名称】 P27-13_XX（都道府県コード）.zip
- 【格納データ名称】 P27-13_XX（都道府県コード）.shp



- 【格納フォルダ名】 08_施設>2_文化交流機能>最新年
- 【入手先】 国土数値情報「文化施設」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P27.html>
- 【データ作成年度】 2013年（平成25年）
- 【DLファイル名称】 P27-13_XX（都道府県コード）.zip
- 【格納データ名称】 P27-13_XX（都道府県コード）.shp



【格納フォルダ名】 08_施設>3_介護福祉機能>設定年

【入手先】 国土数値情報「福祉施設」

【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P14-2023.html>

【データ作成年度】 2015年度（平成27年度）

【DLファイル名称】 P14-15_XX（都道府県コード）_GML.zip

【格納データ名称】 P14-15_XX（都道府県コード）.shp

国土数値情報ダウンロードサイト

福祉施設データ

ダウンロードを行うデータ名称

福祉施設 2023年度（令和5年度）版

更新履歴

2024年6月：2023年度（令和5年度）版に更新
2022年6月：2021年度（令和3年度）版に更新
2017年7月：2015年度（平成27年度）版に更新

内容

高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉に関する施設のポイントデータに、各施設の住所や管理主体等を属性データとして付加したものである。

データ基準年度

2023年度（令和5年度）

関連する法律

老人福祉法（昭和38年7月11日法律第133号）
生活保護法（昭和25年5月4日法律第144号）
身体障害者福祉法（昭和24年12月26日法律第283号）
児童福祉法（昭和22年12月12日法律第164号）
社会福祉法（昭和26年3月29日法律第45号）
学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）ほか

原典資料

2021年度（令和3年度）国土数値情報（福祉施設）
都道府県・市町村から提供された福祉施設等に関する資料（一覧表等）
国土地理院 地理院タイル（標準地図）

ダウンロードするデータの選択（ダウンロードしたい県をクリックしてください）

全国 全国

北海道 北海道

東北 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県

関東 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県

甲信越・北陸 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県

東海 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県

近畿 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県

中国 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県

四国 徳島県 香川県 愛媛県 高知県

九州 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県

沖縄 沖縄県

年度で絞り込み

2015年（平成27年）

データ年度を選択

国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS2.1（GML）準拠及びSHAPE形式データ） データのダウンロード

選択したデータ項目は、国土数値情報 福祉施設データ です。

地域	測地系	年度	ファイル容量	ファイル名	ダウンロード
栃木	世界測地系	2015年（平成27年）	0.18MB	P14-15_09_GML.zip	<input type="button" value="ダウンロード"/>

地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

【格納フォルダ名】 08_施設>3_介護福祉機能>最新年

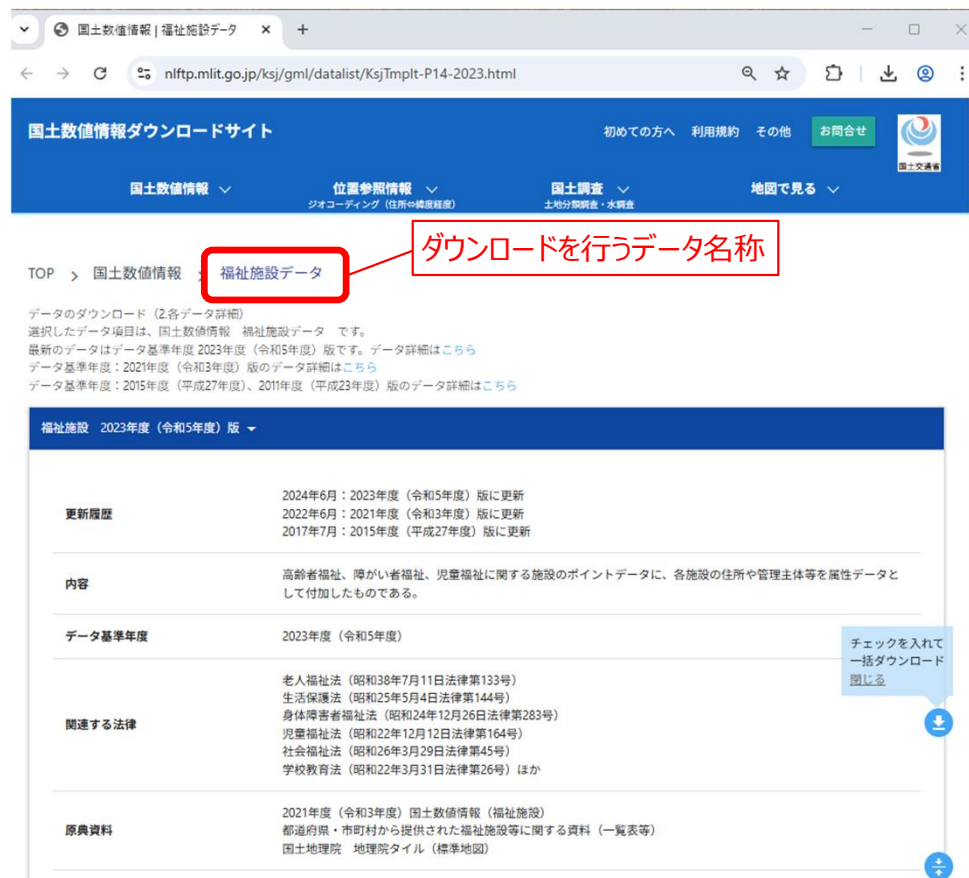
【入手先】 国土数値情報「福祉施設」

【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P14-2023.html>

【データ作成年度】 2021年度（令和3年度）

【DLファイル名称】 P14-21_XX（都道府県コード）_GML.zip

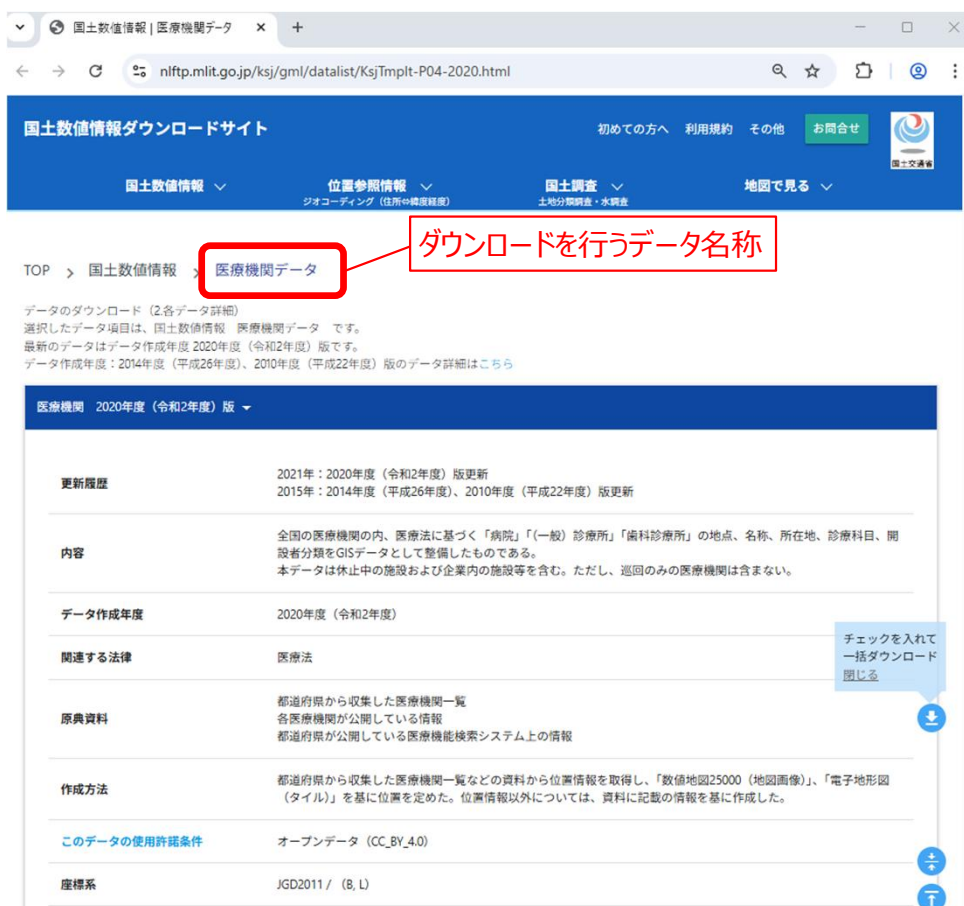
【格納データ名称】 P14-21_XX（都道府県コード）.shp



地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 08_施設>4_医療機能>設定年
- 【入手先】 国土数値情報「医療機関」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P04-2020.html>
- 【データ作成年度】 2014年（平成26年度）
- 【DLファイル名称】 P04-14_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 P04-14_XX（都道府県コード）.shp



【格納フォルダ名】 08_施設>4_医療機能>最新年

【入手先】 国土数値情報「医療機関」

【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P04-2020.html>

【データ作成年度】 2020年（令和2年）

【DLファイル名称】 P04-20_XX（都道府県コード）_GML.zip

【格納データ名称】 P04-20_XX（都道府県コード）.shp

国土数値情報ダウンロードサイト

国土数値情報 > 位置参照情報 > 国土調査 > 地図で見る

TOP > 国土数値情報 > **医療機関データ**

データのダウンロード（2各データ詳細）
 選択したデータ項目は、国土数値情報 医療機関データ です。
 最新のデータはデータ作成年度 2020年度（令和2年度）版です。
 データ作成年度：2014年度（平成26年度）、2010年度（平成22年度）版のデータ詳細はこちら

医療機関 2020年度（令和2年度）版

更新履歴
 2021年：2020年度（令和2年度）版更新
 2015年：2014年度（平成26年度）、2010年度（平成22年度）版更新

内容
 全国の医療機関の内、医療法に基づく「病院」「（一般）診療所」「歯科診療所」の地点、名称、所在地、診療科目、開設者分類をGISデータとして整備したものである。
 本データは休止中の施設および企業内の施設等を含む。ただし、巡回のみの医療機関は含まない。

データ作成年度
 2020年度（令和2年度）

関連する法律
 医療法

原典資料
 都道府県から収集した医療機関一覧
 各医療機関が公開している情報
 都道府県が公開している医療機能検索システム上の情報

作成方法
 都道府県から収集した医療機関一覧などの資料から位置情報を取得し、「数値地図25000（地図画像）」、「電子地形図（タイル）」を基に位置を定めた。位置情報以外については、資料に記載の情報を基に作成した。

このデータの使用許諾条件
 オープンデータ（CC_BY_4.0）

座標系
 JGD2011 / (B, L)

ダウンロードを行うデータ名称

データダウンロードを行う都道府県にチェックを入れる

ダウンロードするデータの選択（ダウンロードしたい県をクリックしてください）

北海道	<input type="checkbox"/> 北海道
東北	<input type="checkbox"/> 青森県 <input type="checkbox"/> 岩手県 <input type="checkbox"/> 宮城県 <input type="checkbox"/> 秋田県 <input type="checkbox"/> 山形県 <input type="checkbox"/> 福島県
関東	<input type="checkbox"/> 茨城県 <input checked="" type="checkbox"/> 栃木県 <input type="checkbox"/> 群馬県 <input type="checkbox"/> 埼玉県 <input type="checkbox"/> 千葉県 <input type="checkbox"/> 東京都 <input type="checkbox"/> 神奈川県
甲信越・北陸	<input type="checkbox"/> 新潟県 <input type="checkbox"/> 富山県 <input type="checkbox"/> 石川県 <input type="checkbox"/> 福井県 <input type="checkbox"/> 山梨県 <input type="checkbox"/> 長野県
東海	<input type="checkbox"/> 岐阜県 <input type="checkbox"/> 静岡県 <input type="checkbox"/> 愛知県 <input type="checkbox"/> 三重県
近畿	<input type="checkbox"/> 滋賀県 <input type="checkbox"/> 京都府 <input type="checkbox"/> 大阪府 <input type="checkbox"/> 兵庫県 <input type="checkbox"/> 奈良県 <input type="checkbox"/> 和歌山県
中国	<input type="checkbox"/> 鳥取県 <input type="checkbox"/> 島根県 <input type="checkbox"/> 岡山県 <input type="checkbox"/> 広島県 <input type="checkbox"/> 山口県
四国	<input type="checkbox"/> 徳島県 <input type="checkbox"/> 香川県 <input type="checkbox"/> 愛媛県 <input type="checkbox"/> 高知県
九州	<input type="checkbox"/> 福岡県 <input type="checkbox"/> 佐賀県 <input type="checkbox"/> 長崎県 <input type="checkbox"/> 熊本県 <input type="checkbox"/> 大分県 <input type="checkbox"/> 宮崎県 <input type="checkbox"/> 鹿児島県
沖縄	<input type="checkbox"/> 沖縄県

年度で絞り込み
 2020年（令和2年）

国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS2.1（GML）準拠及びSHAPE形式データ）データのダウンロード

選択したデータ項目は、国土数値情報 医療機関データ です。

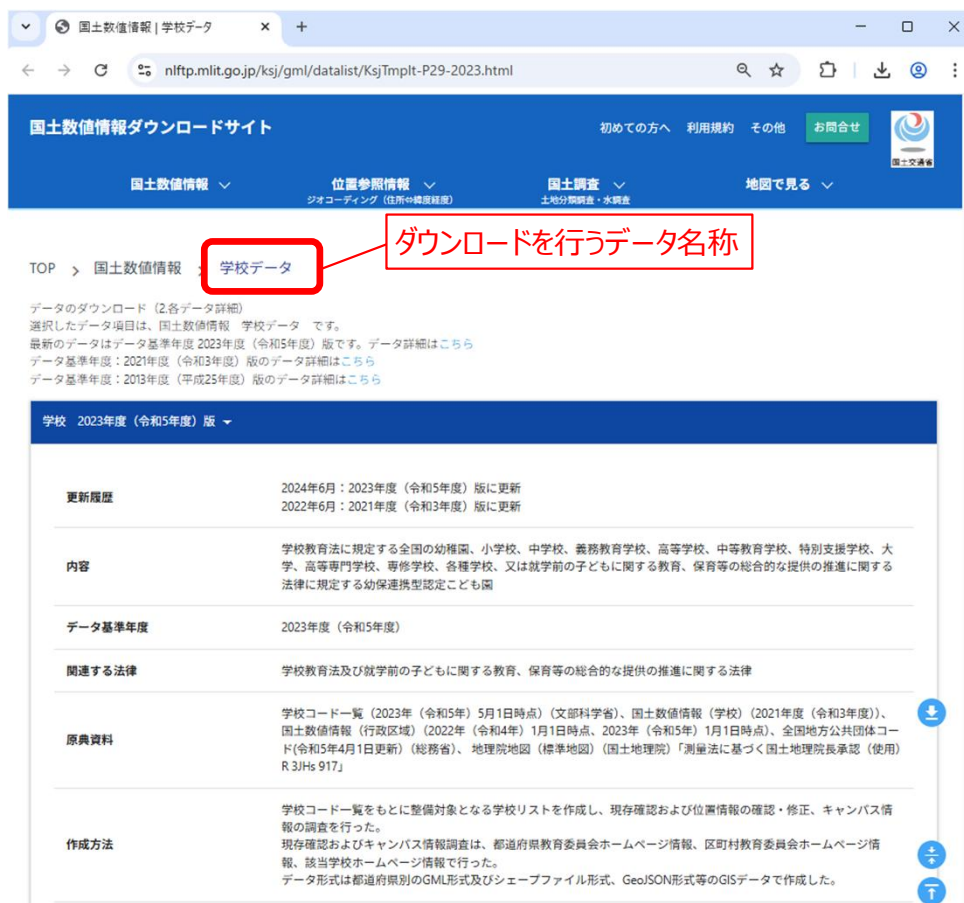
地域	測地系	年度	ファイル容量	ファイル名	ダウンロード
栃木	世界測地系	2020年（令和2年）	0.36MB	P04-20_09_GML.zip	<input checked="" type="checkbox"/>

データ年度を選択

地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

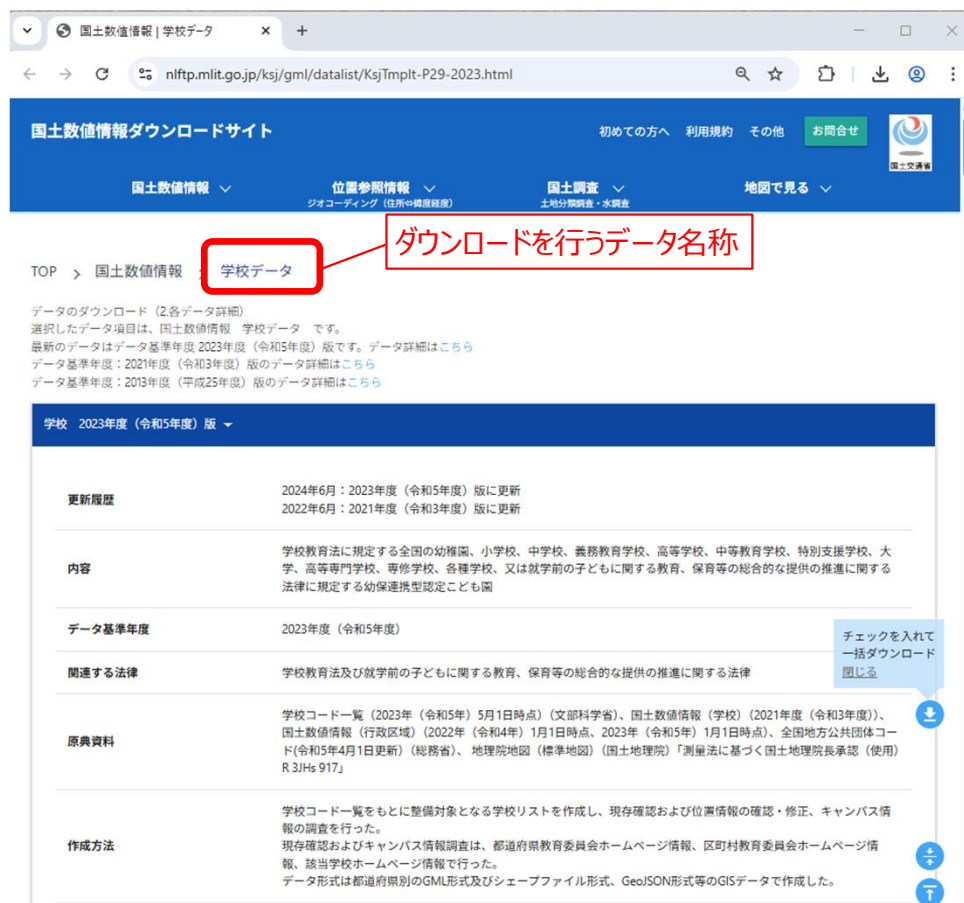
- 【格納フォルダ名】 08_施設>5_教育機能>設定年
- 【入手先】 国土数値情報「学校」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P29-2023.html>
- 【データ作成年度】 2013年（平成25年）
- 【DLファイル名称】 P29-13_XX（都道府県コード）.zip
- 【格納データ名称】 P29-13_XX（都道府県コード）.shp



地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 08_施設>5_教育機能>最新年
- 【入手先】 国土数値情報「学校」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P29-2023.html>
- 【データ作成年度】 2021年（令和3年）
- 【DLファイル名称】 P29-21_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 P29-21_XX（都道府県コード）.shp



地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

【格納フォルダ名】 08_施設>6_子育て機能>設定年
【入手先】 —
【URL】 —
【データ作成年度】 —
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※有償データのため、収集の必要はありません

【格納フォルダ名】 08_施設>6_子育て機能>最新年
【入手先】 —
【URL】 —
【データ作成年度】 —
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※有償データのため、収集の必要はありません

【格納フォルダ名】 08_施設>7_商業機能>設定年
【入手先】 —
【URL】 —
【データ作成年度】 —
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※有償データのため、収集の必要はありません

【格納フォルダ名】 08_施設>7_商業機能>最新年
【入手先】 —
【URL】 —
【データ作成年度】 —
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※有償データのため、収集の必要はありません

【格納フォルダ名】 08_施設>8_都市機能誘導施設>設定年
【入手先】 自治体保有データ
【URL】 —
【データ作成年度】 立地適正化計画作成年度
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※各自治体の担当課にご確認ください

【格納フォルダ名】 08_施設>8_都市機能誘導施設>最新年
【入手先】 自治体保有データ
【URL】 —
【データ作成年度】 立地適正化計画作成年度
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※各自治体の担当課にご確認ください

- 【格納フォルダ名】 09_避難所
- 【入手先】 国土数値情報「避難施設」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P20.html>
- 【データ作成年度】 2012年度（平成24年度）
- 【DLファイル名称】 P20-12_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 P20-12_XX（都道府県コード）.shp

国土数値情報ダウンロードサイト

TOP > 国土数値情報 > **避難施設データ** (ダウンロードを行うデータ名称)

データのダウンロード (2名データ詳細)
 選択したデータ項目は、国土数値情報 避難施設データ です。
 最新のデータは2012年度（平成24年度）版です。

避難施設 2012年度（平成24年度）版

更新履歴	
内容	災害対策基本法に基づき都道府県及び市町村により作成された地域防災計画に示される避難施設
データ作成年度	2012年度（平成24年度）
関連する法律	災害対策基本法
原典資料	都道府県地域防災計画、市町村地域防災計画、地方公共団体のWebページ
作成方法	原典資料である地域防災計画より避難施設に関する情報から避難施設リストを作成する。作成したリストの避難施設の住所情報に基づき、街区レベル位置参照情報や大字・町丁目レベル位置参照情報、電子国土等を用いて、避難施設の位置情報を特定及び主題属性を付与し、これを都道府県別のGML形式データ及びshape形式データに格納した。
このデータの使用許諾条件	非商用
座標系	JGD2000 / (B, L)

ダウンロードするデータの選択 (ダウンロードしたい県をクリックしてください)

北海道	<input type="checkbox"/> 北海道
東北	<input type="checkbox"/> 青森県 <input type="checkbox"/> 岩手県 <input type="checkbox"/> 宮城県 <input type="checkbox"/> 秋田県 <input type="checkbox"/> 山形県 <input type="checkbox"/> 福島県
関東	<input type="checkbox"/> 茨城県 <input type="checkbox"/> 栃木県 <input type="checkbox"/> 群馬県 <input type="checkbox"/> 埼玉県 <input type="checkbox"/> 千葉県 <input type="checkbox"/> 東京都 <input type="checkbox"/> 神奈川県
甲信越・北陸	<input type="checkbox"/> 新潟県 <input type="checkbox"/> 富山県 <input type="checkbox"/> 石川県 <input type="checkbox"/> 福井県 <input type="checkbox"/> 山梨県 <input type="checkbox"/> 長野県
東海	<input type="checkbox"/> 岐阜県 <input type="checkbox"/> 静岡県 <input type="checkbox"/> 愛知県 <input type="checkbox"/> 三重県
近畿	<input type="checkbox"/> 滋賀県 <input type="checkbox"/> 京都府 <input type="checkbox"/> 大阪府 <input type="checkbox"/> 兵庫県 <input type="checkbox"/> 奈良県 <input type="checkbox"/> 和歌山県
中国	<input type="checkbox"/> 鳥取県 <input type="checkbox"/> 島根県 <input type="checkbox"/> 岡山県 <input type="checkbox"/> 広島県 <input type="checkbox"/> 山口県
四国	<input type="checkbox"/> 徳島県 <input type="checkbox"/> 香川県 <input type="checkbox"/> 愛媛県 <input type="checkbox"/> 高知県
九州	<input type="checkbox"/> 福岡県 <input type="checkbox"/> 佐賀県 <input type="checkbox"/> 長崎県 <input type="checkbox"/> 熊本県 <input type="checkbox"/> 大分県 <input type="checkbox"/> 宮崎県 <input type="checkbox"/> 鹿児島県
沖縄	<input type="checkbox"/> 沖縄県

年度で絞り込み: 2012年（平成24年） (データ年度を選択)

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS2.1 (GML) 準拠及びSHAPE形式データ) データのダウンロード

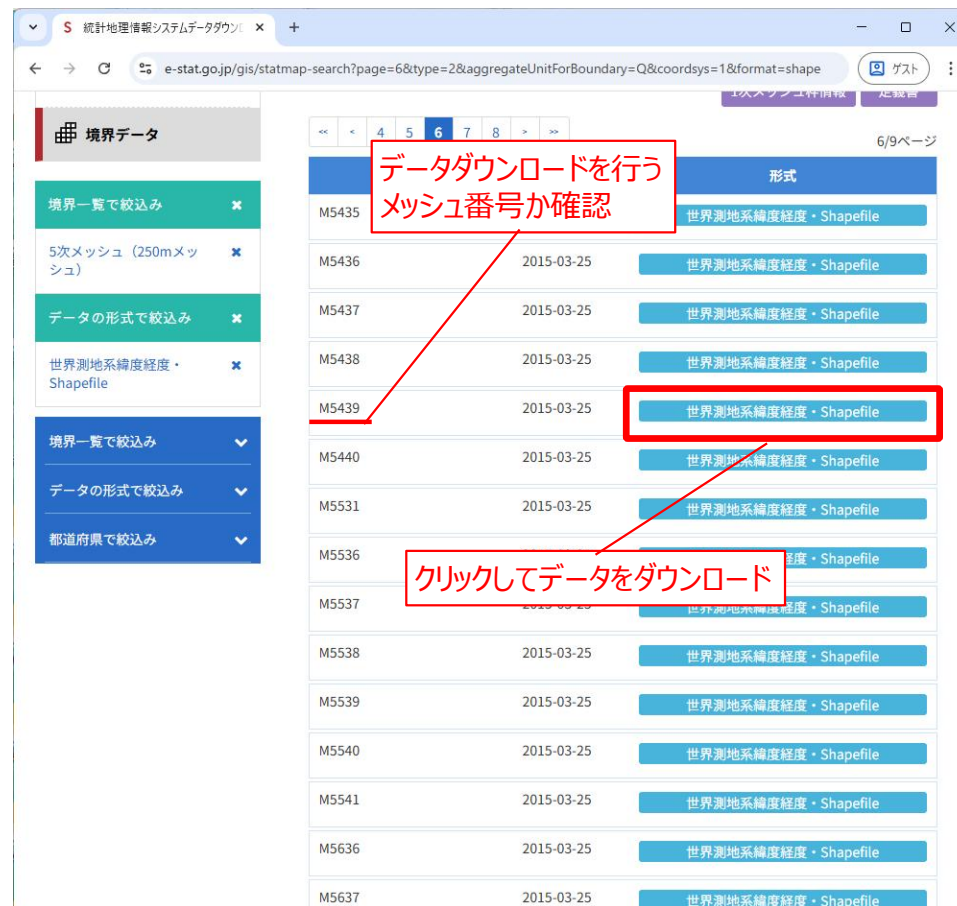
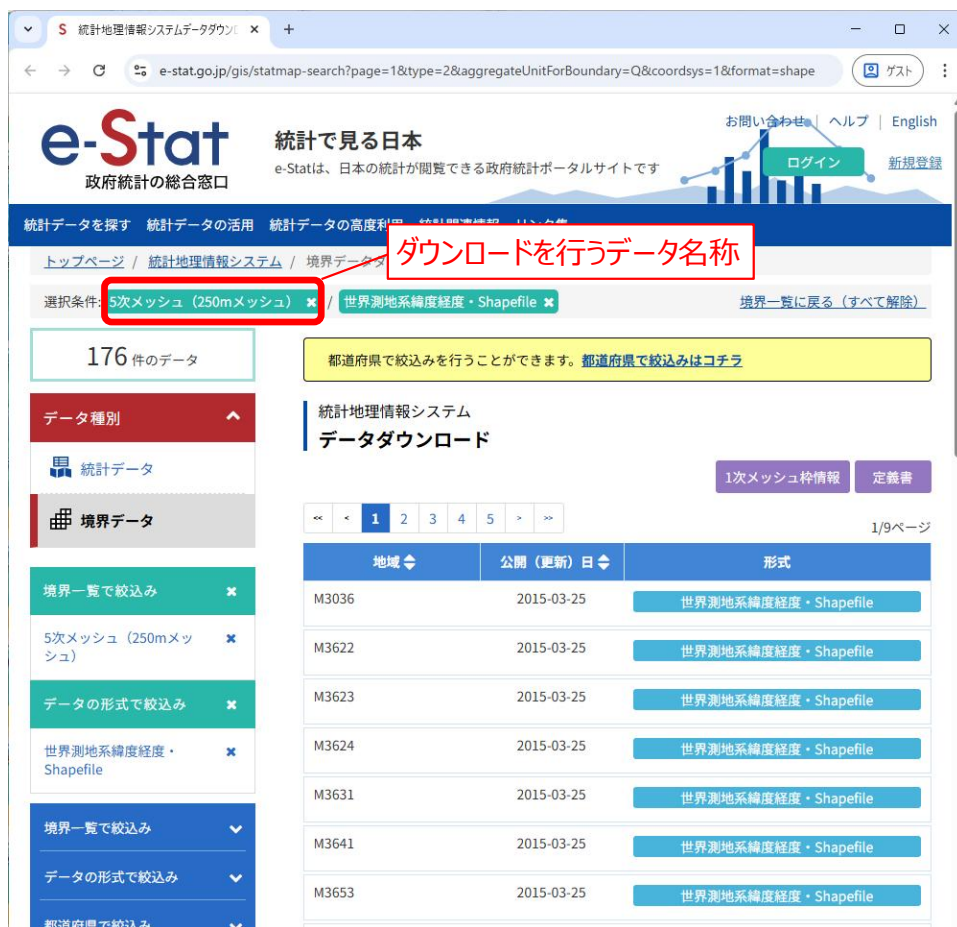
選択したデータ項目は、国土数値情報 避難施設データ です。

地域	測地系	年度	ファイル容量	ファイル名	ダウンロード	一括DL
栃木	世界測地系	2012年（平成24年）	0.14MB	P20-12_09_GML.zip	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="checkbox"/>

地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 10_250mメッシュ
- 【入手先】 e-stat「境界データ>5次メッシュ (250mメッシュ) >世界測地系緯度経度・Shapefile」
- 【URL】 <https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=2&aggregateUnitForBoundary=Q&coordsys=1&format=shape>
- 【データ作成年度】 公表されている最新データ
- 【DLファイル名称】 QDDSWQXXXX (一次メッシュコード) .zip
- 【格納データ名称】 MESH0XXXX (一次メッシュコード) .shp



【格納フォルダ名】 11_250mメッシュ人口

【入手先】 e-stat

「統計データ>国勢調査>2010年>5次メッシュ（250mメッシュ）>男女別人口総数及び世帯総数」

【URL】

<https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=1&toukeiCode=00200521&toukeiYear=2010&aggregateUnit=Q&serveyId=Q002005112010&statsId=T000649>

【データ作成年度】 2010年（平成22年）

【DLファイル名称】 tbIT000649QXXXX（一次メッシュコード）.zip

【格納データ名称】 tbIT000649QXXXX（一次メッシュコード）.txt

ダウンロードを行うデータ名称

年度を確認

統計表	地域	公開（更新）日	形式
男女別人口総数及び世帯総数	M3927	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4630	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4730	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4731	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4829	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4830	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4831	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M4929	2015-03-25	CSV

データダウンロードを行うメッシュ番号を確認

クリックしてデータをダウンロード

統計表	地域	公開（更新）日	形式
男女別人口総数及び世帯総数	M5438	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M5439	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M5440	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M5526	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M5537	2015-03-25	CSV
男女別人口総数及び世帯総数	M5538	2015-03-25	CSV

【格納フォルダ名】 11_250mメッシュ人口

【入手先】 e-stat

「統計データ>国勢調査>2015年>5次メッシュ（250mメッシュ）>その1 人口等基本集計に関する事項>第1次地域区画」

【URL】 <https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=1&toukeiCode=00200521&toukeiYear=2015&aggregateUnit=Q&serveyId=Q002005112015&statsId=T000876>

【データ作成年度】 2015年（平成27年）

【DLファイル名称】 tbIT000876QXXXX（一次メッシュコード）.zip

【格納データ名称】 tbIT000876QXXXX（一次メッシュコード）.txt

ダウンロードを行うデータ名称

年度を確認

151件のデータ

都道府県で絞り込みを行うことができます。都道府県で絞り込みはコチラ

データ種類

統計データ

境界データ

政府統計名で絞り込み

国勢調査

調査年で絞り込み

2015年

集計単位で絞り込み

5次メッシュ（250mメッシュ）

統計表で絞り込み

その1 人口等基本集計に関する事項

統計表	地域	公開（更新）日	形式
その1 人口等基本集計に関する事項	M3622	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3623	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3624	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3653	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3724	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3725	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3741	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M3831	2018-01-04	CSV

5/8ページ

統計表	地域	公開（更新）日	形式
その1 人口等基本集計に関する事項	M5339	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5340	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5432	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5433	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5435	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5436	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5437	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5438	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5439	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5440	2018-01-04	CSV
その1 人口等基本集計に関する事項	M5536	2018-01-04	CSV

データダウンロードを行うメッシュ番号が確認

クリックしてデータをダウンロード

【格納フォルダ名】 11_250mメッシュ人口

【入手先】 e-stat

「統計データ>国勢調査>2020年>5次メッシュ（250mメッシュ）>人口及び世帯（JGD2011）>第1次地域区画」

【URL】 <https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?page=1&type=1&toukeiCode=00200521&toukeiYear=2020&aggregateUnit=Q&serveyId=Q002005112020&statsId=T001142&datum=2011>

【データ作成年度】 2020年（令和2年）

【DLファイル名称】 tbIT001142QXXXX（一次メッシュコード）.zip

【格納データ名称】 tbIT001142QXXXX（一次メッシュコード）.txt

ダウンロードを行うデータ名称

年度を確認

統計表	地域	公開(更新)日	形式
人口及び世帯 (JGD2011)	M3622	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M3623	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M3624	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M3653	2024-03-14	CSV

データダウンロードを行うメッシュ番号が確認

クリックしてデータをダウンロード

統計表	地域	公開(更新)日	形式
人口及び世帯 (JGD2011)	M5339	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5340	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5432	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5433	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5435	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5436	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5437	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5438	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5439	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5440	2024-03-14	CSV
人口及び世帯 (JGD2011)	M5536	2024-03-14	CSV

- 【格納フォルダ名】 12_500mメッシュ別将来人口
- 【入手先】 国土数値情報「500mメッシュ別将来推計人口」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-mesh500r6.html>
- 【データ作成年度】 2024年（令和6年）
- 【DLファイル名称】 500m_mesh_2024_XX（都道府県コード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 500m_mesh_2024_XX（都道府県コード）.shp



- 【格納フォルダ名】 13_変化度マップ (建物変化)
【入手先】 国土交通省都市局ホームページ
【URL】 https://www.mlit.go.jp/en/toshi/city_plan/compactcity_network.html
【データ作成年度】 2024年 (令和6年)
【DLファイル名称】 XXXX (一次メッシュコード) _変化度マップ.zip
【格納データ名称】 XXXX (一次メッシュコード) _変化度マップ_建物変化-新築.shp

国土交通省

都市計画

コンパクト・プラス・ネットワーク

立地適正化計画とコンパクト・プラス・ネットワーク

立地適正化計画制度

我が国の都市における今後のまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが大きな課題です。こうした中、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまぎらって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、『コンパクト・プラス・ネットワーク』の考えを進めていくことが重要です。

このため、都市再生特別措置法が改正され、行政と住民や民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため、立地適正化計画制度が創設されました。

「まちづくりの健康診断」について

→まちづくりの健康診断の概要
→先進的な取組事例集

立地適正化計画の意義と役割

(参考資料)

◇立地適正化計画作成の手引き別冊「立地適正化計画の目標・KPI事例集」

◇取組成果の「見える化」(コンパクトシティ化の評価指標)

市町村が立地適正化計画を作成・実施するに当たって、目標設定や効果検証を行いやすくするために、コンパクトシティ化に係る評価指標の開発・提示など、取組成果の「見える化」を進めています。併せて、「見える化」を通じ、市町村の取組の進捗状況や効果等について、「コンパクトシティ形成支援チーム」における継続的なモニタリングを行っています。

- ・都市構造の評価に関するハンドブックの策定 (平成26年8月)
- ・まちづくりにおける健康増進効果を把握するための歩行量(歩数)調査のガイドラインの策定 (平成29年3月)
- ・まちの活性化を測る歩行者量調査のガイドラインの策定 (平成30年6月)

◇都市モニタリングシート

◇都市構造評価ツール (Project PLATEAUで開発した立地適正化計画の評価等に用いる都市構造を可視化するツール)

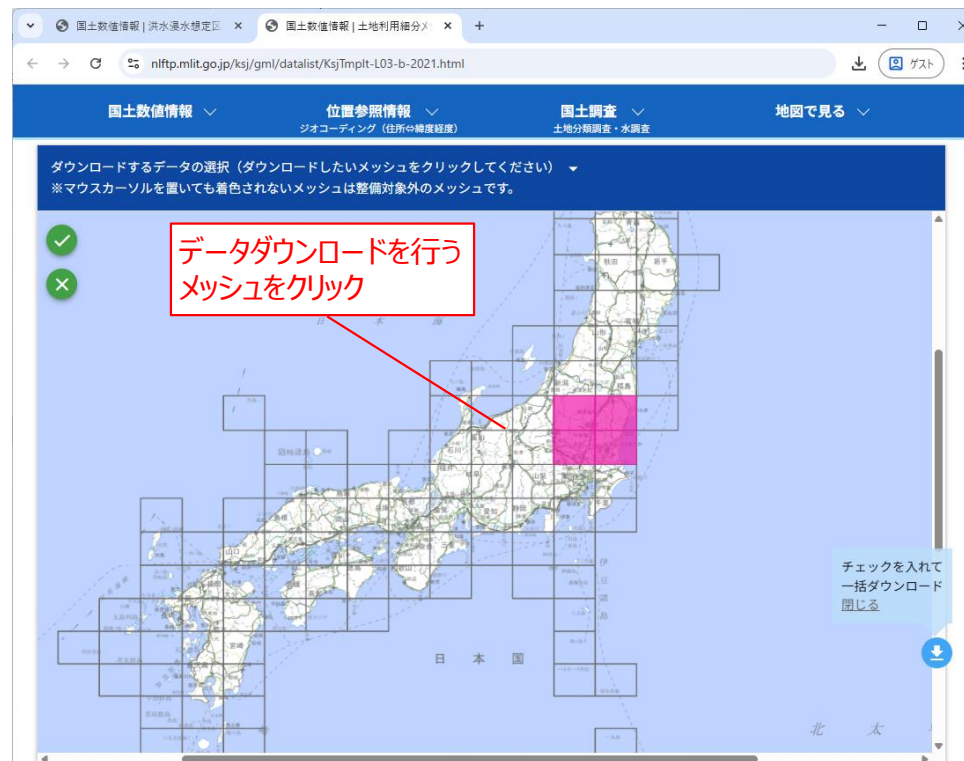
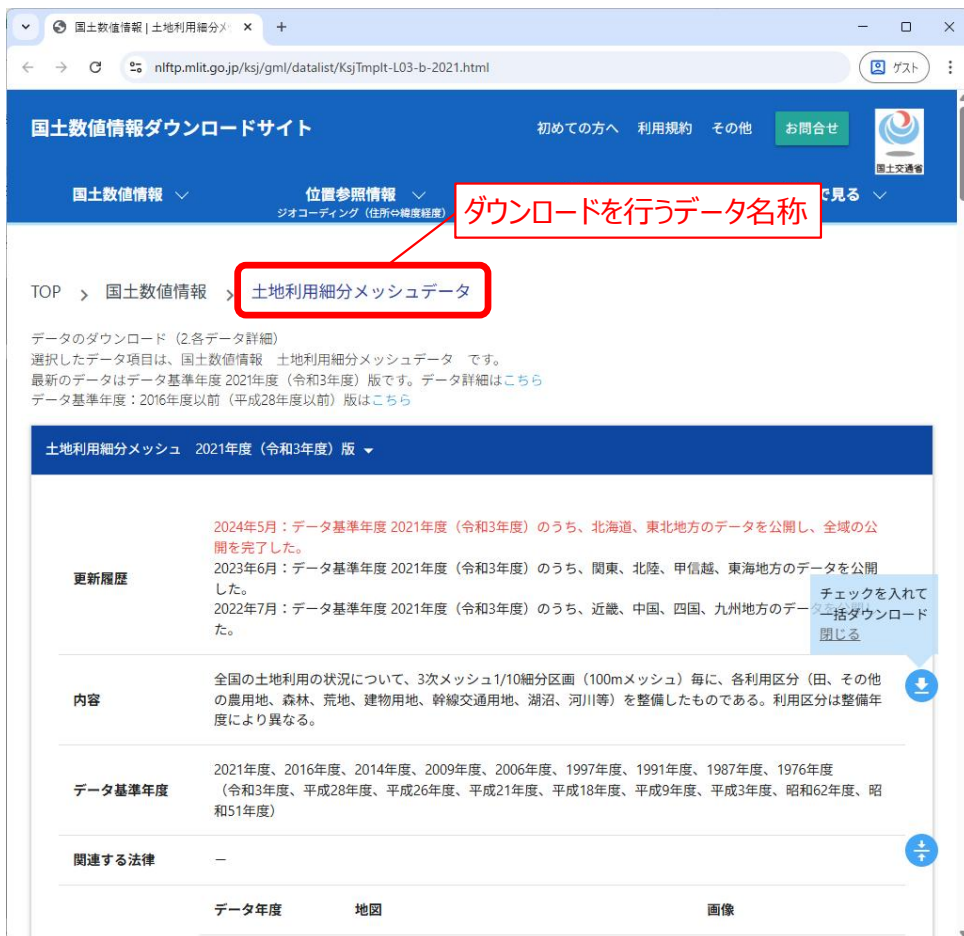
・変化度マップ (建物変化) [1]・[2]・[3]・[4]・[5]

※本ツールにおいて使用可能な情報の一つである「変化度マップ (建物変化)」は、精度の観点から参考情報としてご利用ください。

(過去の改訂履歴)

- ・立地適正化計画作成の手引き (令和5年11月版) 改訂箇所明示
- ・立地適正化計画作成の手引き (令和5年3月版) 改訂箇所明示
- ・立地適正化計画作成の手引き (令和4年4月版) 改訂箇所明示
- ・立地適正化計画作成の手引き (令和3年10月版) 改訂箇所明示

- 【格納フォルダ名】 14_土地利用細分化メッシュ
- 【入手先】 国土数値情報「土地利用細分化メッシュ」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b-2021.html>
- 【データ作成年度】 2021年（令和3年）
- 【DLファイル名称】 L03-b-21_XXXX（一次メッシュコード）-jgd2011_GML.zip
- 【格納データ名称】 L03-b-21_XXXX（一次メッシュコード）.shp



- 【格納フォルダ名】 14_土地利用細分化メッシュ
- 【入手先】 国土数値情報「土地利用細分化メッシュ」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b-2021.html>
- 【データ作成年度】 2021年（令和3年）
- 【DLファイル名称】 L03-b-21_XXXX（一次メッシュコード）-jgd2011_GML.zip
- 【格納データ名称】 L03-b-21_XXXX（一次メッシュコード）.shp

「世界測地系」を選択

データ年度を選択

測地系で絞り込み

年度で絞り込み

世界測地系

2021年（令和3年）

国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS2014（GML）準拠及びSHAPE形式データ）データのダウンロード

選択したデータ項目は、国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ です。

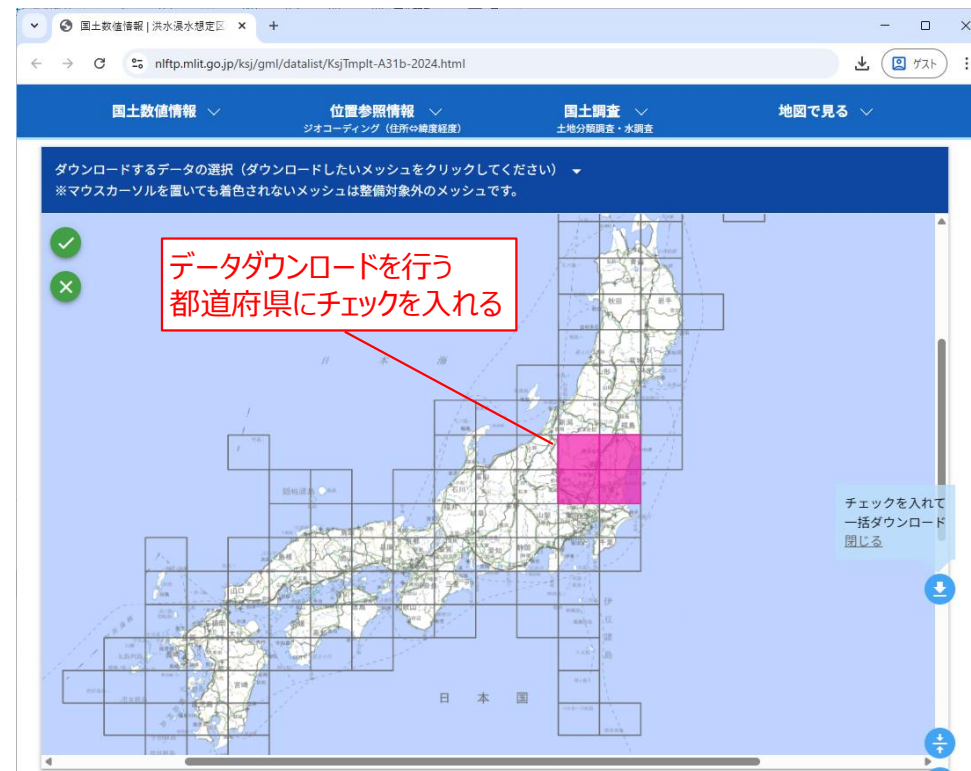
地域（1次メッシュコード）と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

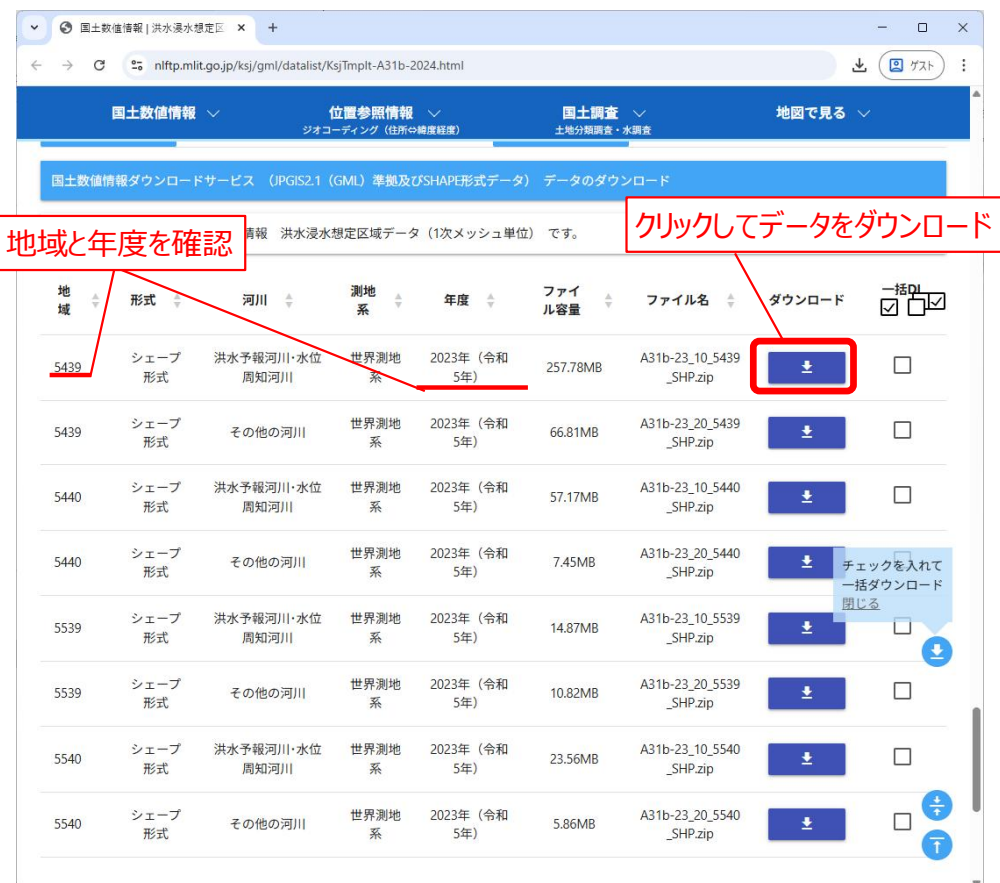
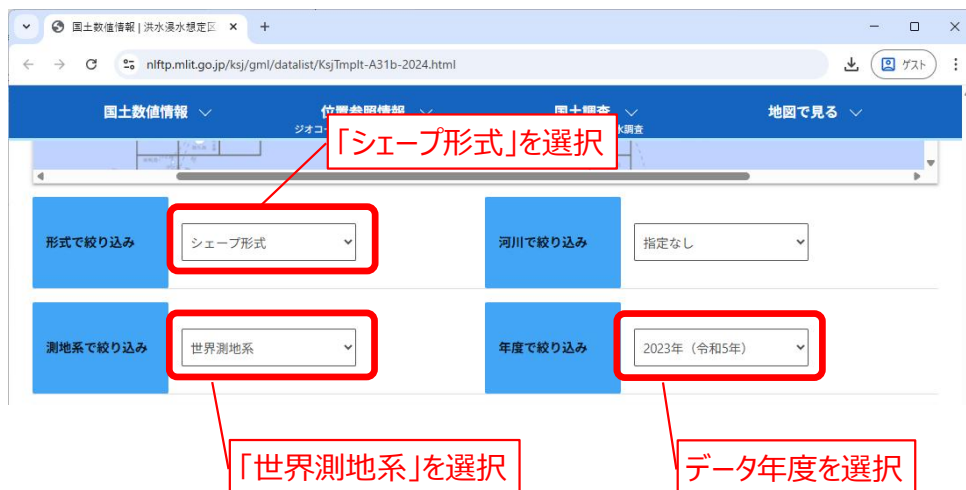
地域	測地系	年度	ファイル容量	ファイル名	ダウンロード	一括DL
5439	世界測地系	2021年（令和3年）	22.90MB	L03-b-21_5439-jgd2011_GML.zip	↓	<input type="checkbox"/>
5440	世界測地系	2021年（令和3年）	16.13MB	L03-b-21_5440-jgd2011_GML.zip	↓	<input type="checkbox"/>
5539	世界測地系	2021年（令和3年）	22.46MB	L03-b-21_5539-jgd2011_GML.zip	↓	<input type="checkbox"/>
5540	世界測地系	2021年（令和3年）	21.65MB	L03-b-21_5540-jgd2011_GML.zip	↓	<input type="checkbox"/>

チェックを入れて一括ダウンロード閉じる

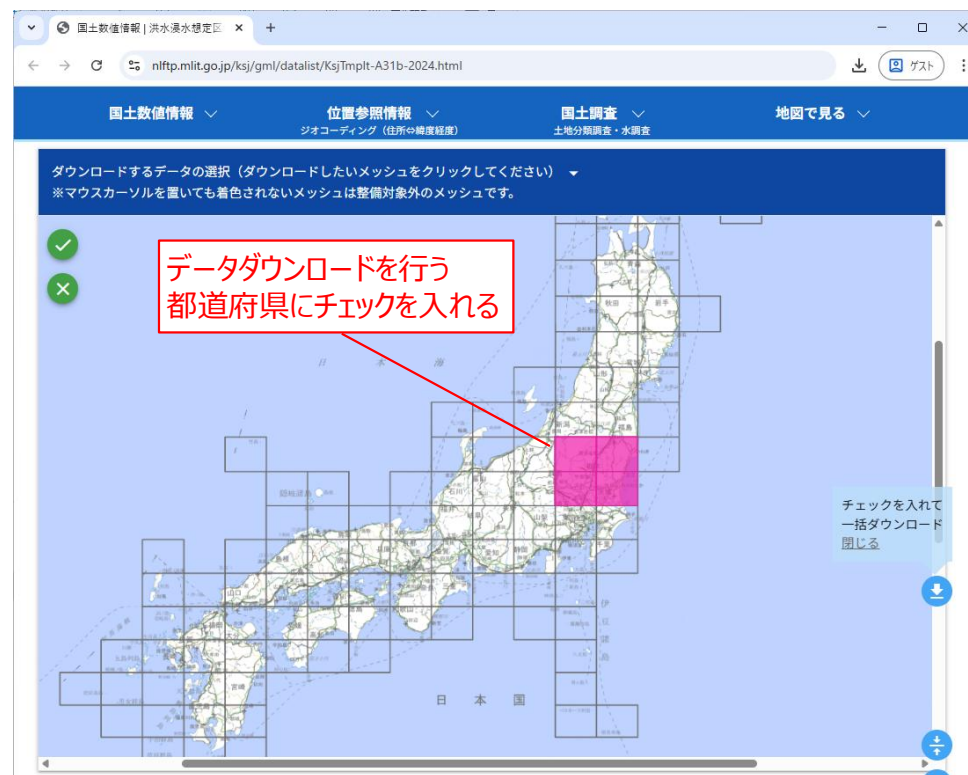
- 【格納フォルダ名】 15_ハザードエリア計画規模
- 【入手先】 国土数値情報「洪水浸水想定区域（1次メッシュ単位）」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31b-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 A31b-23_10_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
A31b-23_20_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 「10_計画規模」フォルダ内
A31b-10-23_10_XXXX（一次メッシュコード）.shp
A31b-10-23_20_XXXX（一次メッシュコード）.shp



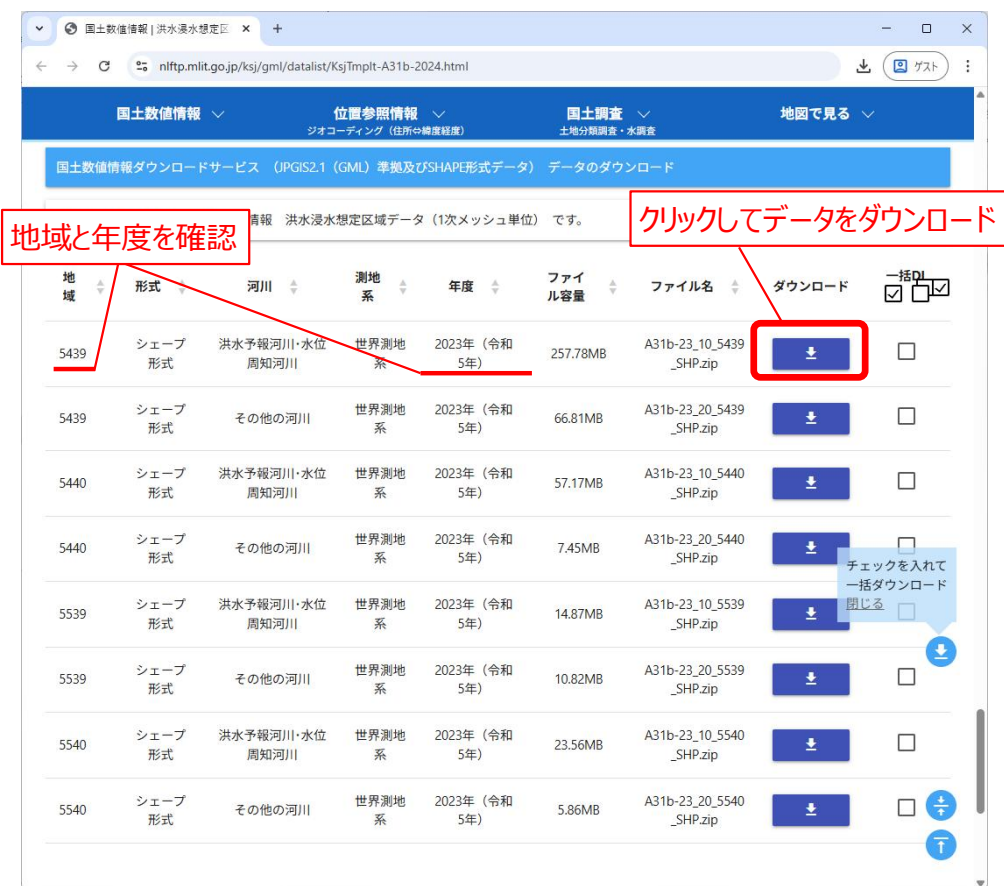
- 【格納フォルダ名】 15_ハザードエリア計画規模
- 【入手先】 国土数値情報「洪水浸水想定区域（1次メッシュ単位）」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31b-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 A31b-23_10_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
A31b-23_20_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 「10_計画規模」フォルダ内
A31b-10-23_10_XXXX（一次メッシュコード）.shp
A31b-10-23_20_XXXX（一次メッシュコード）.shp



- 【格納フォルダ名】** 16_ハザードエリア想定最大規模
- 【入手先】** 国土数値情報「洪水浸水想定区域（1次メッシュ単位）」
- 【URL】** <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31b-2024.html>
- 【データ作成年度】** 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】** A31b-23_10_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
A31b-23_20_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】** 「20_想定最大規模」フォルダ内
A31b-20-23_10_XXXX（一次メッシュコード）.shp
A31b-20-23_20_XXXX（一次メッシュコード）.shp



- 【格納フォルダ名】 16_ハザードエリア想定最大規模
- 【入手先】 国土数値情報「洪水浸水想定区域（1次メッシュ単位）」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31b-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 A31b-23_10_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
A31b-23_20_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 「20_想定最大規模」フォルダ内
A31b-20-23_10_XXXX（一次メッシュコード）.shp
A31b-20-23_20_XXXX（一次メッシュコード）.shp



- 【格納フォルダ名】 17_ハザードエリア高潮浸水想定区域
- 【入手先】 国土数値情報「高潮浸水想定区域」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A49-2024.html>
- 【データ作成年度】 公表データ最新年次
- 【DLファイル名称】 A49-XX (データ年次) _XX (都道府県コード) _GML.zip
- 【格納データ名称】 A49-XX (データ年次) _XX (都道府県コード) .shp



地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード

【格納フォルダ名】 18_ハザードエリア津波浸水想定区域

【入手先】 国土数値情報「津波浸水想定」

【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A40-2024.html>

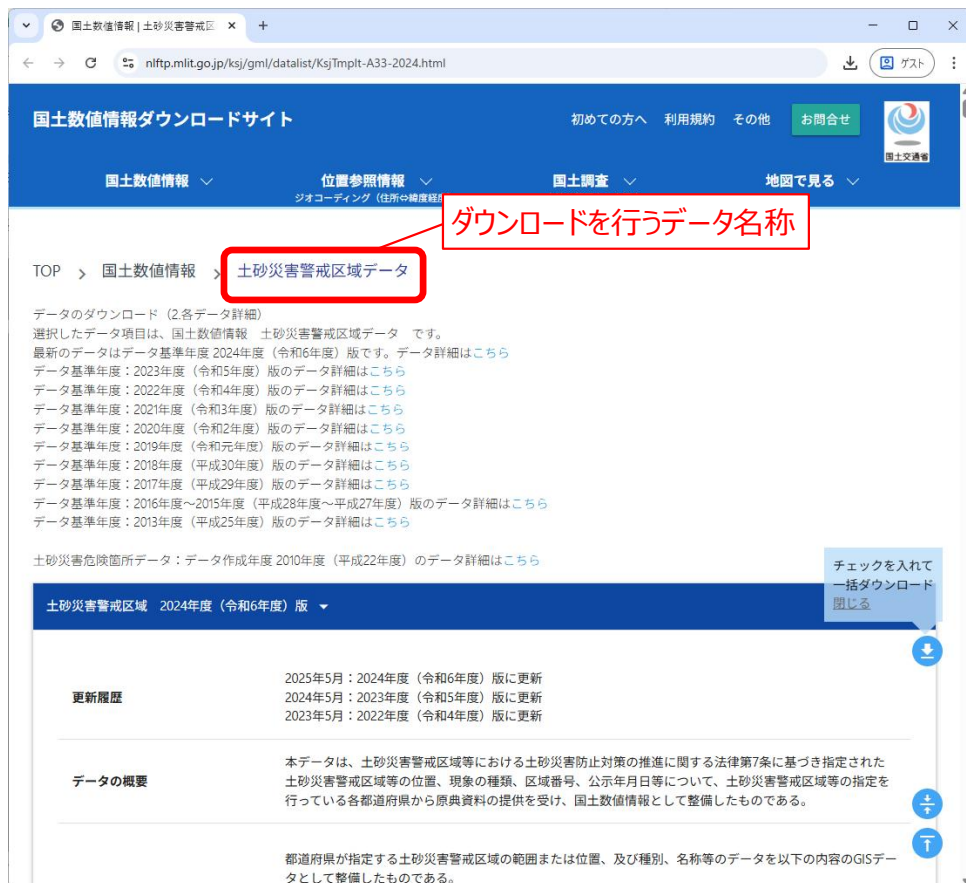
【データ作成年度】 公表データ最新年次

【DLファイル名称】 A40-XX (データ年次) _XX (都道府県コード) _GML.zip

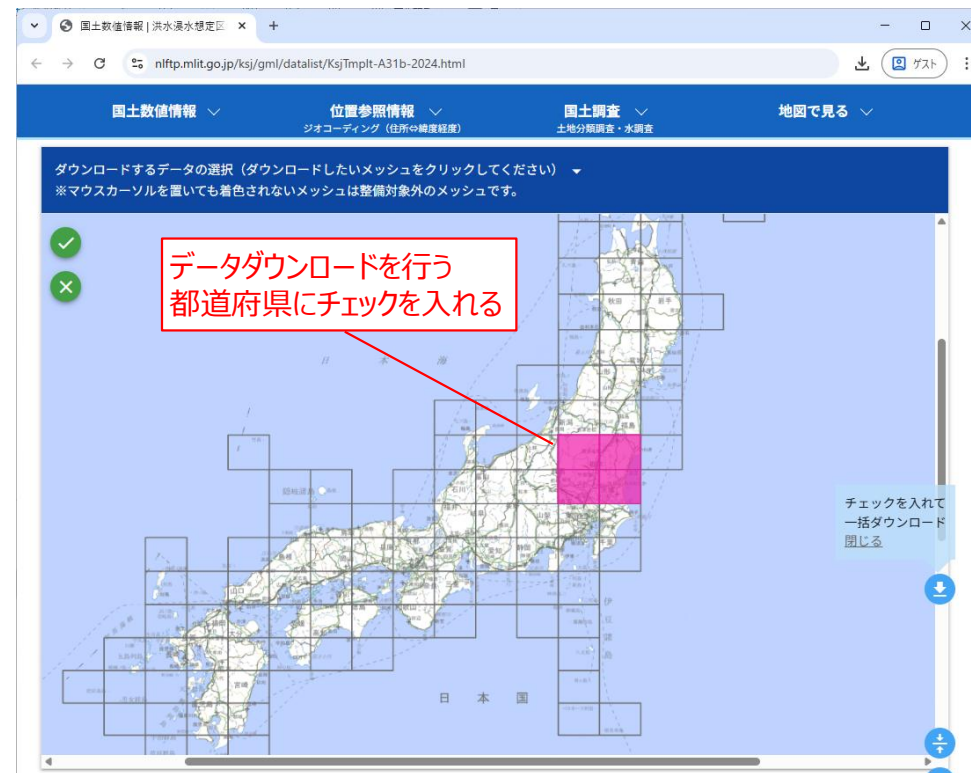
【格納データ名称】 A40-XX (データ年次) _XX (都道府県コード) .shp



- 【格納フォルダ名】 19_ハザードエリア土砂災害
- 【入手先】 国土数値情報「土砂災害警戒区域」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A33-2024.html>
- 【データ作成年度】 公表データ最新年次
- 【DLファイル名称】 A33-XX (データ年次) _XX (都道府県コード) _SHP.zip
- 【格納データ名称】 A33-XX (データ年次) _XX (都道府県コード) Polygon.shp



- 【格納フォルダ名】 20_ハザードエリア氾濫流
- 【入手先】 国土数値情報「洪水浸水想定区域（1次メッシュ単位）」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31b-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 A31b-23_10_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
A31b-23_20_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 「41_家屋倒壊等氾濫想定区域_氾濫流」フォルダ内
A31b-41-23_10_XXXX（一次メッシュコード）.shp
A31b-41-23_20_XXXX（一次メッシュコード）.shp



- 【格納フォルダ名】 20_ハザードエリア氾濫流
- 【入手先】 国土数値情報「洪水浸水想定区域（1次メッシュ単位）」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A31b-2024.html>
- 【データ作成年度】 2023年（令和5年）
- 【DLファイル名称】 A31b-23_10_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
A31b-23_20_XXXX（一次メッシュコード）_SHP.zip
- 【格納データ名称】 「41_家屋倒壊等氾濫想定区域_氾濫流」フォルダ内
A31b-41-23_10_XXXX（一次メッシュコード）.shp
A31b-41-23_20_XXXX（一次メッシュコード）.shp



- 【格納フォルダ名】 21_誘導区域
- 【入手先】 国土交通省「都市計画情報」
- 【URL】 https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000182.html
- 【データ作成年度】 2024年（令和6年）
- 【DLファイル名称】 001752XXX.zip
- 【格納データ名称】 自自治体「市町村コード_市町村名」フォルダ

国土交通省

都市交通調査・都市計画調査

ダウンロードするデータの選択

都道府県	年度	シェープファイル形式	CityGML形式	GeoJSON形式
北海道	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
青森県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
岩手県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
宮城県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
秋田県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
山形県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
福島県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
茨城県	令和6年	ダウンロード (R7.10.16修正)	ダウンロード (R7.10.16修正)	ダウンロード (R7.10.16修正)
栃木県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
群馬県	令和6年	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード

地域と年度を確認

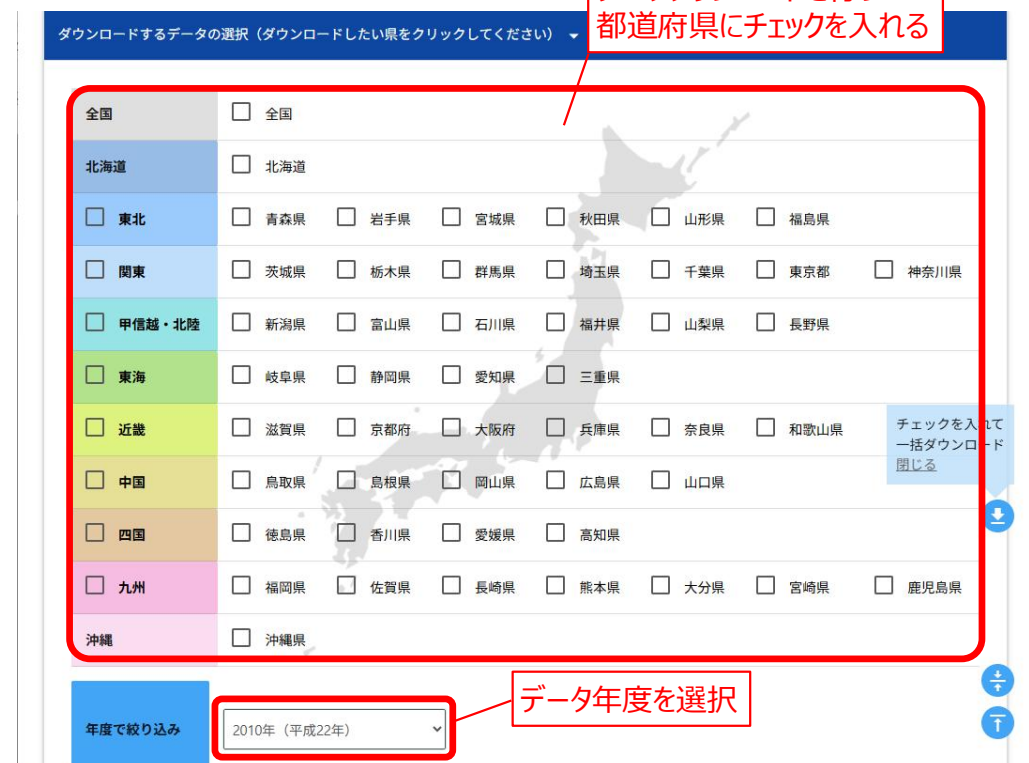
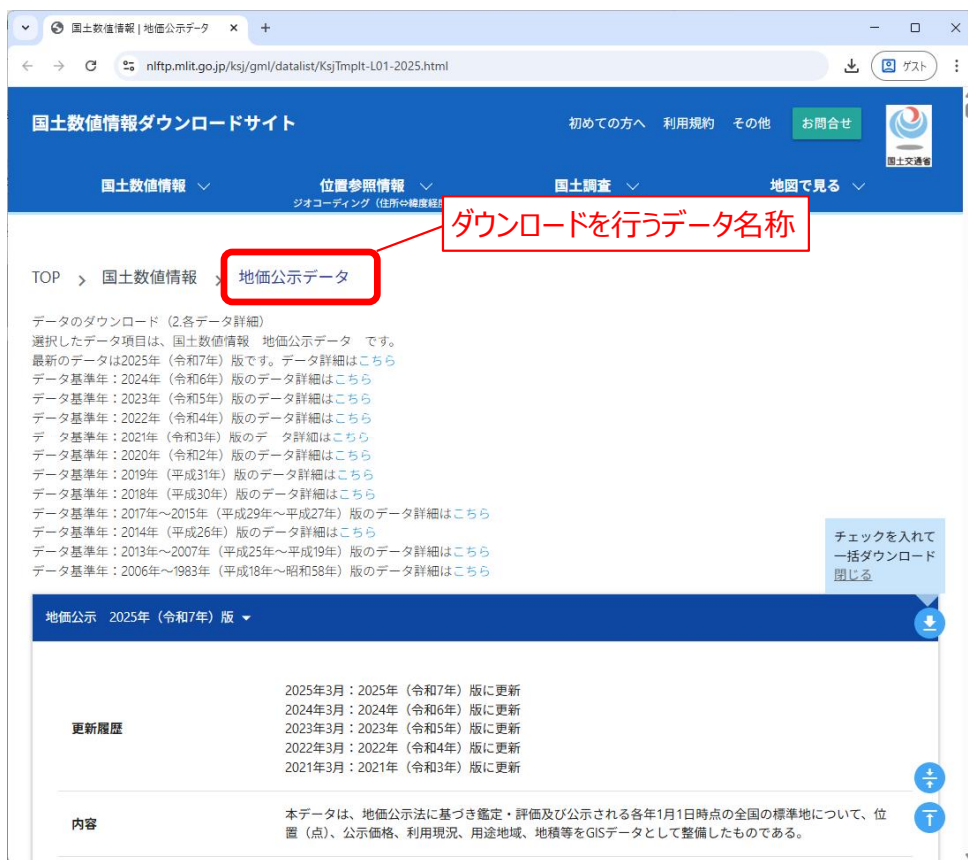
「ダウンロード」をクリックしてデータをダウンロード

ファイル形式を確認

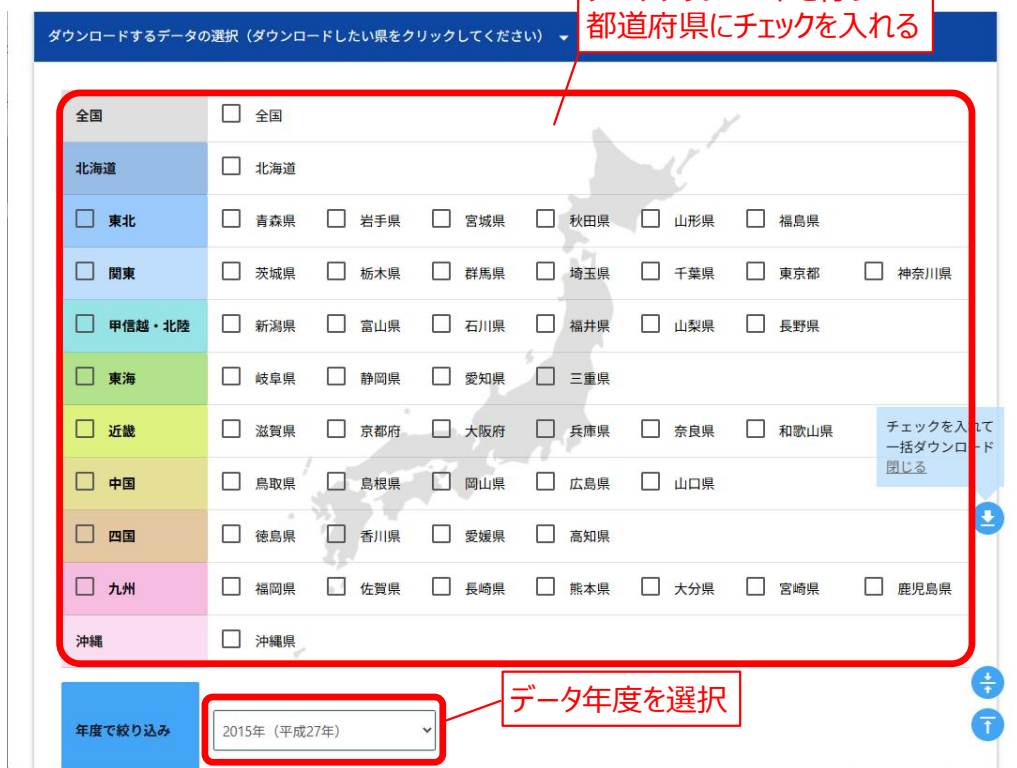
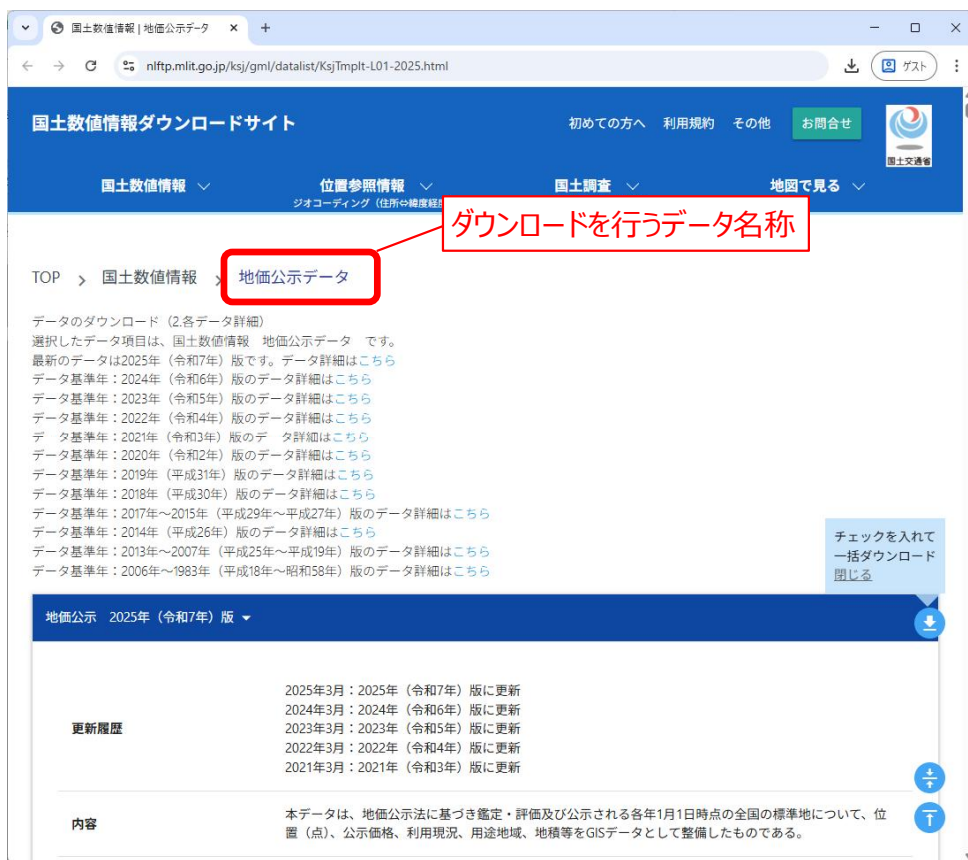
【格納フォルダ名】	22_仮想居住誘導区域
【入手先】	自治体保有データ
【URL】	—
【データ作成年度】	—
【DLファイル名称】	—
【格納データ名称】	—

※立地適正化計画を作成していない自治体は、仮想の居住誘導区域を設定の上、shapeファイルを格納してください。

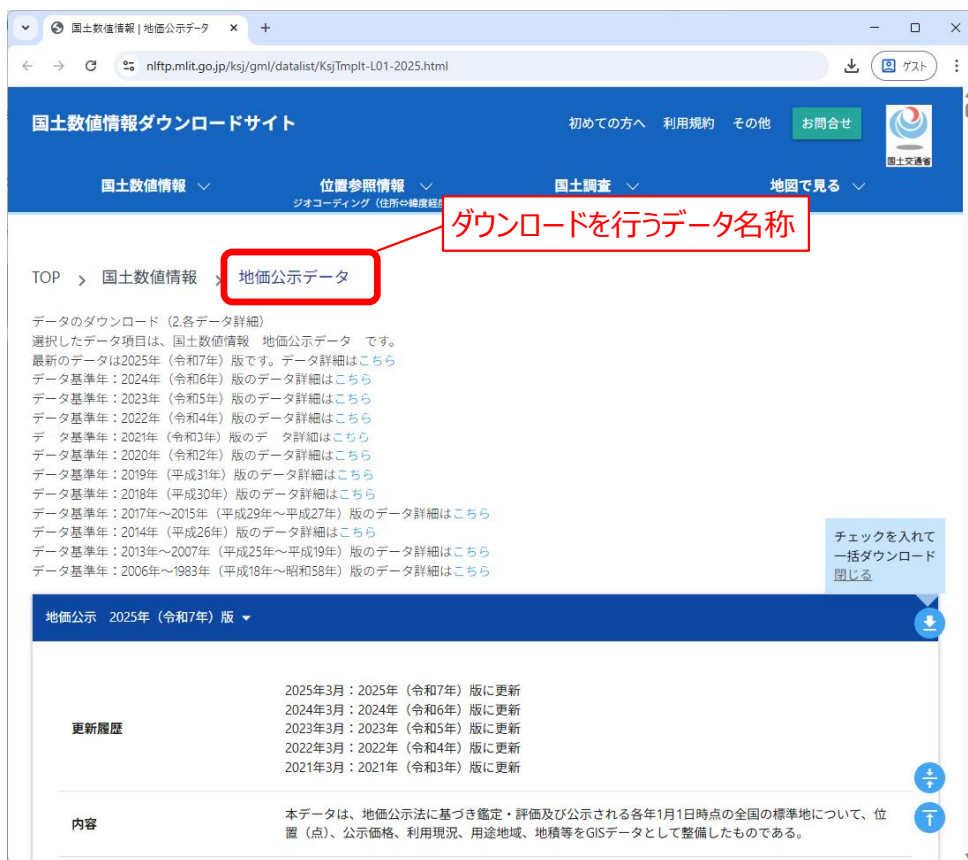
- 【格納フォルダ名】 23_地価公示
- 【入手先】 国土数値情報「地価公示」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L01-2025.html>
- 【データ作成年度】 2010年度
- 【DLファイル名称】 L01-10_XX (都道府県コード) _GML.zip
- 【格納データ名称】 L01-10_XX (都道府県コード) -g_LandPrice.shp



- 【格納フォルダ名】 23_地価公示
- 【入手先】 国土数値情報「地価公示」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L01-2025.html>
- 【データ作成年度】 2015年度
- 【DLファイル名称】 L01-15_XX (都道府県コード) _GML.zip
- 【格納データ名称】 L01-15_XX (都道府県コード) .shp



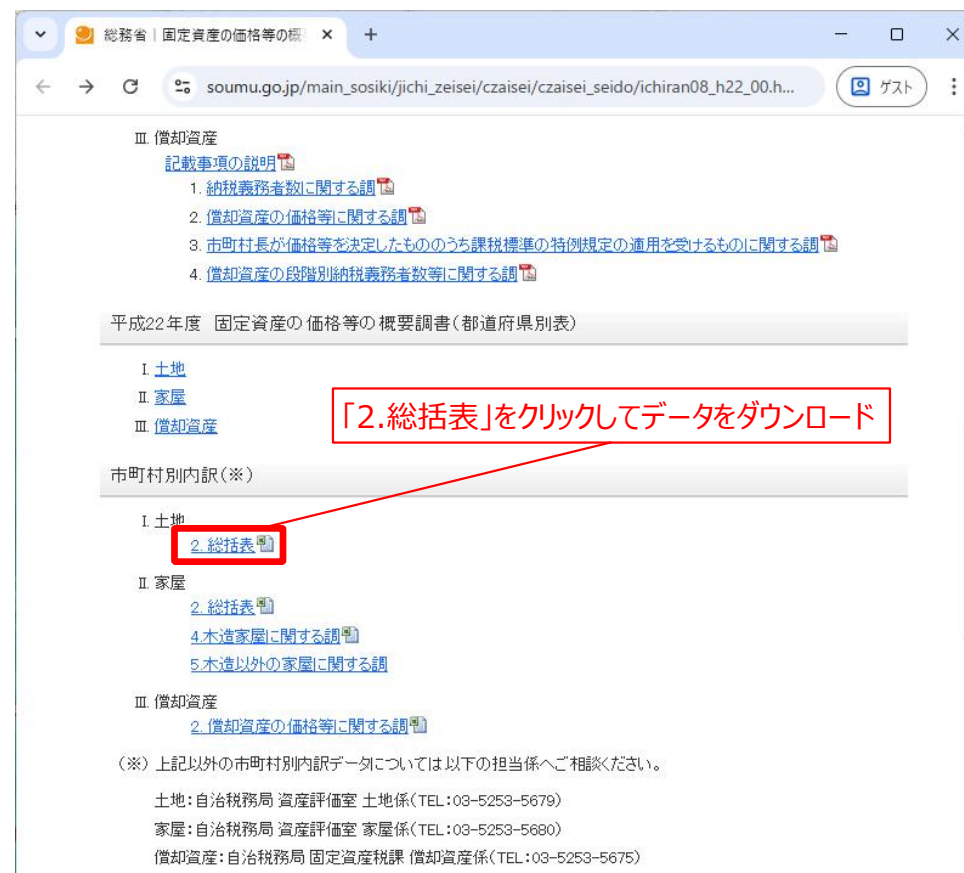
- 【格納フォルダ名】 23_地価公示
- 【入手先】 国土数値情報「地価公示」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L01-2025.html>
- 【データ作成年度】 2020年度
- 【DLファイル名称】 L01-20_XX (都道府県コード) _GML.zip
- 【格納データ名称】 L01-20_XX (都道府県コード) .shp



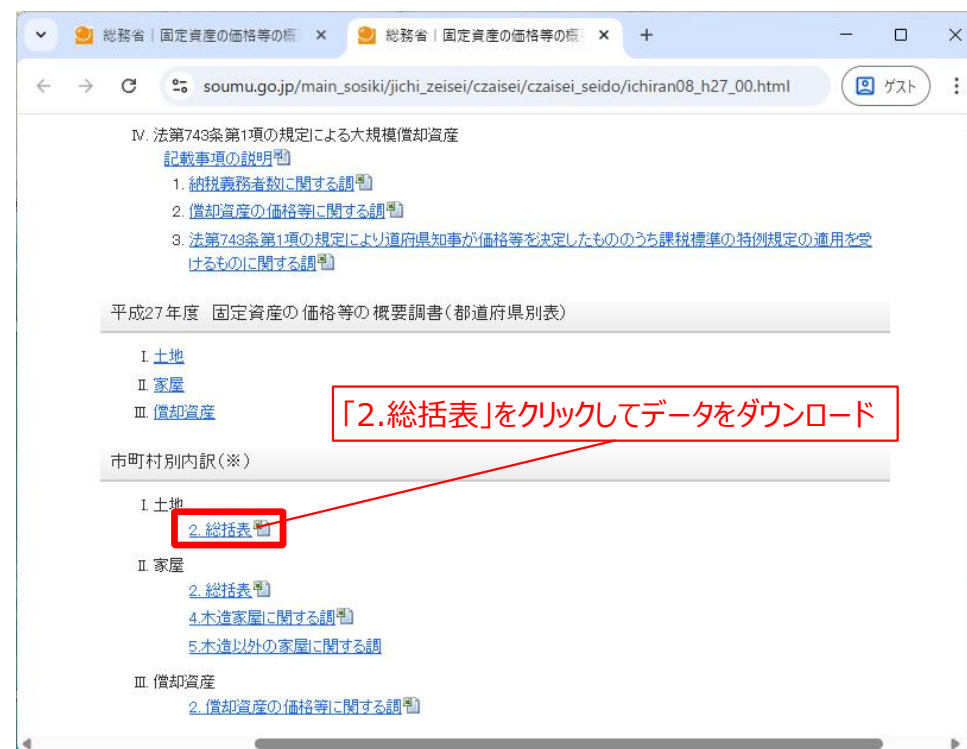
【格納フォルダ名】 24_空き家ポイント
【入手先】 自治体保有データ
【URL】 —
【データ作成年度】 —
【DLファイル名称】 —
【格納データ名称】 —

※各自治体の担当課にご確認ください

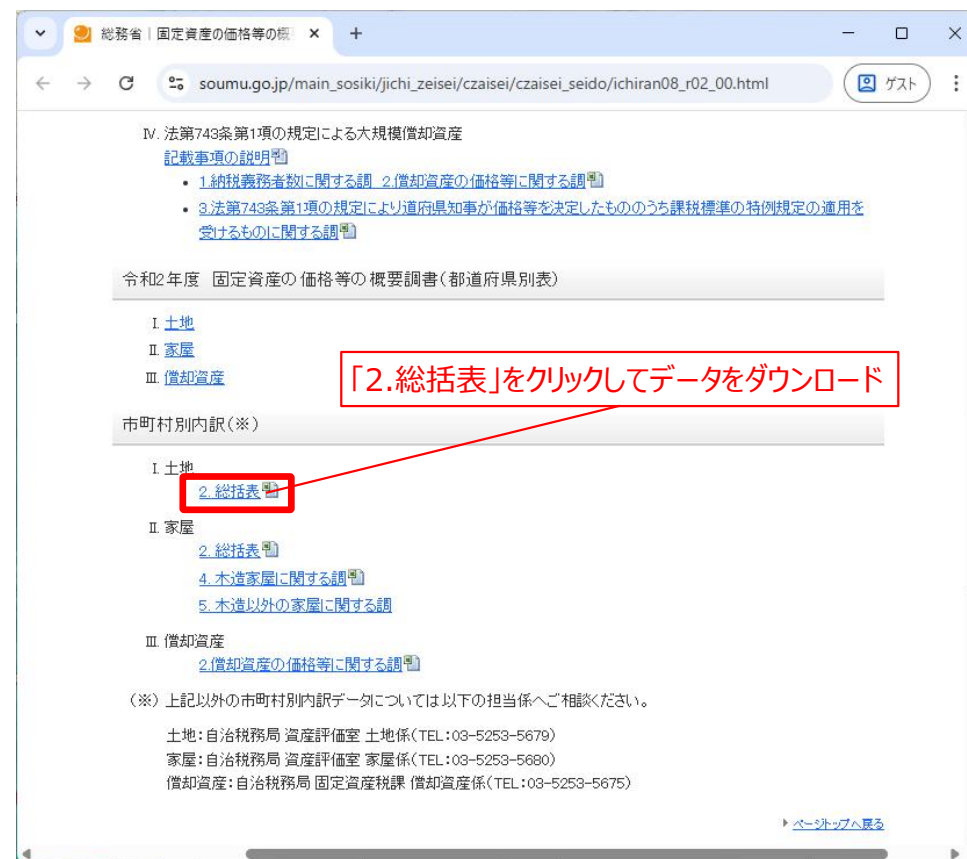
- 【格納フォルダ名】 25_固定資産の価格等の概要調書
- 【入手先】 総務省「平成22年度 固定資産の価格等の概要調書」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/ichiran08_h22_00.html
- 【データ作成年度】 2010年度（平成22年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 000404166.xlsx



- 【格納フォルダ名】 25_固定資産の価格等の概要調書
- 【入手先】 総務省「平成27年度 固定資産の価格等の概要調書」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/ichiran08_h27_00.html
- 【データ作成年度】 2015年度（平成27年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 000419495.xlsx



- 【格納フォルダ名】 25_固定資産の価格等の概要調書
- 【入手先】 総務省「令和2年度 固定資産の価格等の概要調書」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/ichiran08_r02_00.html
- 【データ作成年度】 2020年度（令和2年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 000762507.xlsx



- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成24年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h24_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2012年度（平成24年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000280101.XLS
町村の場合：000280106.XLS



- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成25年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h25_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2013年度（平成25年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000348614.xls
町村の場合：000348619.xls



- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成26年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h26_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2014年度（平成26年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000402330.xls
町村の場合：000402335.xls

The screenshot shows the website for the Ministry of Internal Affairs (総務省) with the URL [soumu.go.jp/iken/zaisei/h26_shichouson.html](https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h26_shichouson.html). The page title is '平成26年度 市町村別決算状況調' (Fiscal Year 2014 Municipalities and Villages Fiscal Status Survey). The main content area is titled '地方財政状況調査関係資料' (Local Fiscal Status Survey Related Materials). Under '1 資料のみかた' (List of Materials), there are two main categories: '1 都市別' (By City) and '2 町村別' (By Municipality/Village). Under '1 都市別', there are five sub-items: '(1) 概況' (Overview), '(2) 歳入内訳' (Breakdown of Revenue), '(3) 目的別歳出内訳' (Breakdown of Expenditure by Purpose), '(4) 性質別歳出内訳' (Breakdown of Expenditure by Nature), and '(5) 地方債現在高等' (Current Status of Local Bonds). Under '2 町村別', there are also five sub-items, with '(1) 概況' (Overview) being the first. Red boxes highlight the '(1) 概況' links for both '1 都市別' and '2 町村別'. Red arrows point from these boxes to external text boxes. The external text box for cities says '市の場合：1 都市別> (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード' (In the case of cities: 1 City> (1) Overview, click to download data). The external text box for municipalities says '町村の場合：2 町村別> (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード' (In the case of municipalities/villages: 2 Municipality/Village> (1) Overview, click to download data).

- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成27年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h27_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2015年度（平成27年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000473891.xls
町村の場合：000473896.xls

The screenshot shows a web browser window displaying the page 'soumu.go.jp/iken/zaisei/h27_shichouson.html'. The page header includes the Ministry of Internal Affairs and Communications logo and navigation links. The main content area is titled '平成27年度 市町村別決算状況調' and contains a list of links. Two red boxes with arrows point to specific links:

- A red box highlights the link '(1) 概況' under the '1 都市別' section, with the text: **市の場合：1 都市別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード**
- A red box highlights the link '(1) 概況' under the '2 町村別' section, with the text: **町村の場合：2 町村別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード**

- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成28年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h28_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2016年度（平成28年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000539364.xls
町村の場合：000539369.xls

The screenshot shows the website [soumu.go.jp/iken/zaisei/h28_shichouson.html](https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h28_shichouson.html). The page title is "平成28年度 市町村別決算状況調". The navigation menu includes "総務省の紹介", "広報・報道", "政策", "組織案内", "所管法令", "予算・決算", "申請・手続", and "政策評価".

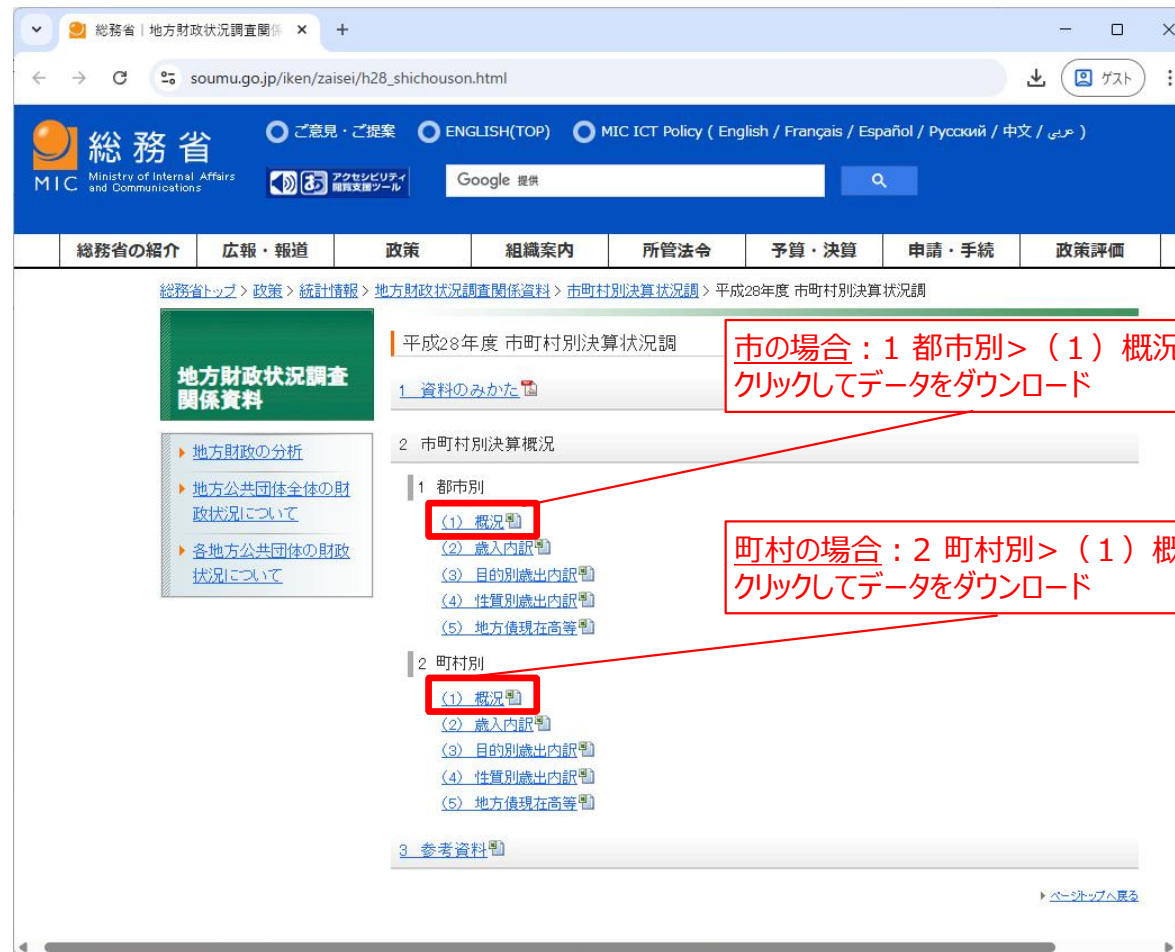
The main content area is titled "地方財政状況調査関係資料". Under "1 資料のみかた", there are two main sections: "1 都市別" and "2 町村別".

Under "1 都市別", the first item is "(1) 概況", which is highlighted with a red box. A red callout box points to it with the text: "市の場合：1 都市別> (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード".

Under "2 町村別", the first item is "(1) 概況", which is also highlighted with a red box. A red callout box points to it with the text: "町村の場合：2 町村別> (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード".

At the bottom, there is a section "3 参考資料".

- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成29年度市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h29_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2017年度（平成29年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000607403.xlsx
町村の場合：000607408.xlsx



- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「平成30年度市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h30_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2018年度（平成30年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000676020.xlsx
町村の場合：000676025.xlsx

The screenshot shows the website [soumu.go.jp/iken/zaisei/h30_shichouson.html](https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/h30_shichouson.html). The breadcrumb trail is: 総務省トップ > 政策 > 統計情報 > 地方財政状況調査関係資料 > 市町村別決算状況調 > 平成30年度 市町村別決算状況調.

The main content area is titled "平成30年度 市町村別決算状況調". It contains a list of items:

- 資料のみかた
- 市町村別決算概況
 - 都市別
 - (1) 概況
 - (2) 歳入内訳
 - (3) 目的別歳出内訳
 - (4) 性質別歳出内訳
 - (5) 地方債現在高等
 - 町村別
 - (1) 概況
 - (2) 歳入内訳
 - (3) 目的別歳出内訳
 - (4) 性質別歳出内訳
 - (5) 地方債現在高等
- 参考資料

Red callout boxes provide instructions:

- 市の場合：1 都市別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード
- 町村の場合：2 町村別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「令和元年度市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/r01_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2019年度（令和元年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000738076.xlsx
町村の場合：000738081.xlsx

総務省 | 地方財政状況調査関係

soumu.go.jp/iken/zaisei/r01_shichouson.html

総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

ご意見・ご提案 ENGLISH(TOP) MIC ICT Policy (English / Français / Español / Русский / 中文 / عربي)

アクセシビリティ 関係支援ツール Google 提供

総務省の紹介 広報・報道 政策 組織案内 所管法令 予算・決算 申請・手続 政策評価

総務省トップ > 政策 > 統計情報 > 地方財政状況調査関係資料 > 市町村別決算状況調 > 令和元年度 市町村別決算状況調

地方財政状況調査 関係資料

- ▶ 地方財政の分析
- ▶ 地方公共団体全体の財政状況について
- ▶ 各地方公共団体の財政状況について

令和元年度 市町村別決算状況調

1 資料のみかた

2 市町村別決算概況

1 都市別

(1) 概況

(2) 歳入内訳

(3) 目的別歳出内訳

(4) 性質別歳出内訳

(5) 地方債現在高等

2 町村別

(1) 概況

(2) 歳入内訳

(3) 目的別歳出内訳

(4) 性質別歳出内訳

(5) 地方債現在高等

3 参考資料

ページトップへ戻る

市の場合：1 都市別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード

町村の場合：2 町村別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード

- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「令和2年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/r02_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2020年度（令和2年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000800819.xlsx
町村の場合：000800826.xlsx



- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「令和3年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/r03_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2021年度（令和3年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000871018.xlsx
町村の場合：000871023.xlsx

The screenshot shows the website interface for the '令和3年度 市町村別決算状況調' (Fiscal Year 2021 Municipalities and Villages Fiscal Status Survey). The main content area is titled '令和3年度 市町村別決算状況調' and contains a list of links. Two red boxes highlight the '(1) 概況' (Overview) links under the '1 都市別' (Municipalities) and '2 町村別' (Municipalities and Villages) sections. Red callout boxes with white text provide instructions: '市の場合：1 都市別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード' (For cities: click on (1) Overview under Municipalities to download data) and '町村の場合：2 町村別 > (1) 概況をクリックしてデータをダウンロード' (For municipalities and villages: click on (1) Overview under Municipalities and Villages to download data).

- 【格納フォルダ名】 26_市町村別決算状況調
- 【入手先】 総務省「令和4年度 市町村別決算状況調」
- 【URL】 https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/r04_shichouson.html
- 【データ作成年度】 2022年度（令和4年度）
- 【DLファイル名称】 —
- 【格納データ名称】 市の場合：000937287.xlsx
町村の場合：000937292.xlsx



- 【格納フォルダ名】 28_人口集中地区
- 【入手先】 国土数値情報「人口集中地区データ」
- 【URL】 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A16-2020.html>
- 【データ作成年度】 2020年度（令和2年度）
- 【DLファイル名称】 A16-20_XX（都道府県コード）_GML.zip
- 【格納データ名称】 A16-20_XX（都道府県コード）_DID.shp



地域と年度を確認

クリックしてデータをダウンロード